Peter David Beter · SD01–SD19 · 日本語

特別資料集

図解資料全19編のテキスト版

史料で確認できる出来事、ベター自身の主張、後年の解釈を区別している。機械翻訳を補助に用い、原版全153ページに沿って本文と各コマの解説を収録した。各ページのリンクから英語版PDFの対応する図版を閲覧できる。資料名の一部は原語で表記した。

目次

SD01 権力者の替え玉
SD02 コスモスフィア
SD03 宇宙の三本柱
SD04 「中秋の満月の戦い」という主張
SD05 米国の兵器体系
SD06 ベターが語るロックフェラー派
SD07 ベターのいう「ボリシェヴィキ」
SD08 「クレムリンの新たな支配者」
SD09 フォークランド諸島とサウスジョージア島
SD10 ガイアナとジョーンズタウン
SD11 フォートノックス、金、ドル
SD12 1976年の「海底ミサイル危機」という主張
SD13 革命と危機の間のイラン
SD14 気象は兵器になりうるか
SD15 大韓航空902便
SD16 スペースシャトル・コロンビア
SD17 スリーマイル島とタイタンII
SD18 声の主、ピーター・デイヴィッド・ベター
SD19 ジョン・F・ケネディとキューバをめぐる情勢

SD01 · ページ 1/6

権力者の替え玉

替え玉をめぐる争い

3つのカテゴリー。ライバルプログラム。借りたアイデンティティのための闘争。

1 1979年:物語が変わる

1979年5月、ベターの 音声書簡 46は、有機ロボットを秘密情報兵器として導入した。6月、AL47は提案された技術説明を拡大し、10月のAL51はライバル技術を導入している。

2 この資料の読み方

この漫画はベターの語った内容を追う。研究室の場面は作画による再構成で、発見された写真や設計図ではない。用語はベターが存在を主張した技術を指し、確立した科学上の分類ではない。

3 人間の替え玉

人間の替え玉はあくまで人間である。ベターの話では、容姿の似た人物が周囲の手引きと訓練を受け、別人として公の役割を演じる。これは彼が語る人工生命とは別の分類である。

4 有機ロボトイド

ベターはこのプログラムをロシア側に割り当てます。その製品は、製造された生物学的身体とプログラム可能な脳を通して、大人の外観と行動を再現していると主張される。金属製のロボットではありません。

5 合成オートマトン

AL51では、ベターは、彼がボリシェヴィキと呼ぶアメリカの派生物によって開発された別の生物学的模倣について説明している。「アメリカン・シンセティック」は、簡単に言えば、彼の物語は、秘密主義派に匹敵するものである。

6 争われるのは権限

この物語では、説得力のある代用者が、命令を発行するためのアクセス、認識、および権限を継承します。したがってベターの主なテーマは、頭の人物のアイデンティティを通じて機関をコントロールすることです。

出典 · AL46 (28.05.1979), 項目 1; AL47 (28.06.1979), 項目 1; AL51 (27.10.1979), 項目 3.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD01 · ページ 2/6

有機ロボトイド

本体:ベターのアカウントの起源、製造、運用上の制限。

1 代表的なブレークスルー

AL46は1975年初頭よりロシアの研究所ロボコイドを成功させた。ベターは、この突破口を部分的に偶然の産物として描き、アメリカの努力は1979年にはまだずっと遅れていたと言います。

2 生物学的パターン

AL46によれば、いくつかの細胞はコピーされた人の外観に遺伝的パターンを提供する。ベターは、彼の過程を通常のクローンと明確に区別する。写本は再現可能な製造手順を提供していません。

3 大人の形態は時間で

ベターは、体は数時間で生産できると主張しています。彼のロボコイドは成体に成長したり繁殖したりはしない。

4 生きた模造

彼の説明では、ロボットイドは呼吸し、食べ、飲み、出血します。通常の検査は人間の結果に似ている。彼らの目的は、超人的な強さや機械的脆弱性ではなく、信頼できる人間のパフォーマンスである。

5 不安定性のコスト

AL46は数週間または数ヶ月の寿命を主張します。代謝が非効率なことは、身体的および精神的悪化につながる。代入間の冷却はプロセスに遅くなるはずだ。これらは検証済みの仕様ではなく、ベターの主張だ。

6 交換が再発する理由

短い人生と不完全なコピーは、ベターの物語の中で繰り返される置換を説明する。彼は外見や行動の小さな変化を指摘する。しかし、このような変化だけでは、本当の人が置き換えられたという証拠は得られない。

出典 · AL46 (28.05.1979), 項目 1; AL47 (28.06.1979), 項目 1.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD01 · ページ 3/6

ホログラムとしての脳

文書化された光学系がベターの提案されたメモリコピー機構と一致する。

1 実質の科学的な背景

ホログラフィーは本物です。デニス・ガバーは1971年のホログラフィック法でノーベル物理学賞を受賞した。ベターはこの歴史を、ロボトイドの脳の説明の出発点として挙げている。

2 アナログが主張する

AL47は分散メモリとホログラムを比較し、神経科学者のKarl Pribramに言及している。ベターは、ノヴォシビルスクの研究に決定的な秘密の応用をアトリビュートした。アナロジー自体はそのような応用を示さない。

3 割り当てられたスキャン

ベターは、提案したキャプチャーを超音波脳ホログラムと呼びます: 高周波音は、おそらく被験者が知らないまま、損傷することなく、脳の3次元構造を記録すると考えられます。これは彼の説明であり、確立された記憶読み法ではない。

4 2つの異なる入力

AL47では、遺伝サンプルが身体パターンを提供し、脳記録は記憶と知識を提供すると仮定されている。入力を分離しておくことは不可欠です。ベターでさえ、DNAだけをメモリアーカイブとは説明していません。

5 簡略化のない家族

ロボロイドに古い友達を認識しさせ、不随意のマナーを再現させる、と彼は主張する。そのハンドラは割り当てを提供し、借用されたメモリは説得力のあるパフォーマンスの詳細を提供する。

6 欠落したデモ

実際のホログラムと人間の心は異なる主張である。引用されているノーベル記録は、光の歴史を裏付けており、ベターの脳スキャン、記憶伝達、またはプログラム可能な二重機構を検証していない。

出典 · AL47 (28.06.1979), 項目 1. External reference: NobelPrize.org, Physics 1971, Dennis Gabor.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD01 · ページ 4/6

合成オートマトンによる対抗策

1979年10月: 競合する生物技術が登場。

1 別々の開発

AL51は、ロシアの優位性に対応する合成物を提供する。ベターによれば、メーカーはロボットイディオムのプロセスをマスターしていないという。

2 別の開始材料

ベターは、組換えDNA作用に関連するロボコイド過程と牛組織から始まる合成過程とを対比する。どちらもヒトの遺伝子サンプルを使用している。これらの記述は要求であり、実用的な実験室プロトコルではない。

3 鴨体験のストーリー

AL51は1959年のフランスのアヒル実験にこのアイデアがとどまっていることを、ゴードン・ラットレー・テイラーの『生物時間爆弾』で再確認している。これはベターの引用した起源ストーリーとして記録されているが、独立してサポートが検証されていない。

4 出現の対の性能

合成は視覚的に近い模倣であるが、ロボットイドより精神的に劣っていると説明されている。AL53はこのコントラストを繰り返す。したがって、2つのカテゴリは、互換性のある機能を備えた同一マシンとして描かれるべきではありません。

5 9オクトーバー:カーターケース

AL51によると、キャルターロボイドNo.18と予想される数字は、プレス会議で予期しない敵対応答を与えた。ピーター・ベターは検査を主張し、合成代替体としてその図を識別しました。

6 コピーのコピー

AL51は、ロボティクス18号の合成遺伝子を重要なものとして挙げています。彼の話には、そのロボコイドとその合成置換の両方が含まれている。'No. 18 = synthetic' という単純なリストは、この区別を失っている。

出典 · AL51 (27.10.1979), 項目 3; AL53 (21.01.1980), 項目 1.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD01 · ページ 5/6

現場で使われる偽の身元

音声書簡から選択したケース - 疑惑に帰着し、検証済み交換は行わない。

1 政治的目的

ベターの展開はホワイトハウス、外交、閣僚に届くと主張する。彼は政策転換を、オフィス保有者に対する隠れコンテストの兆候と解釈している。これが、氏の個々の置換ストーリーの背後にある組織的主張です。

2 ジミー・カーター — AL46、AL51

カーターは、繰り返し番号が付けられたケースになります。AL51は、ロボット型17号と18号の代替品に言及している。これらの数字はベターの物語に属しており、製造された組織の検証済み在庫ではない。

3 サイラス・ヴァンス — AL46

ベターは国務長官を、外交行動とロシア支配を結びつける代わりに、その存在であると述べている。彼のアカウントは、他の役人の名前も付けている。写本内の名前のリストは、何が起こっていたのかではなく、疑わしいことを確立する。

4 ジョージ s. ブラウン — AL46

Brown氏は、なぜカテゴリーが重要なのかを説明している。両方を「成功したロボトイド」に組み合わせることで、彼の物語を誤解させる。

5 シャー — AL53

ベターはデヴィッド・フロストのテレビインタビューで見たシャーを合成と呼んでいる。彼は、ためらうことや記憶障害を手がかりとして扱う。インタビューのパフォーマンスだけでは、人工的な代替物の存在を確立することはできません。

6 SALT II: 2つの証拠レベル

1979年6月18日、ウィーンでカルターとブレジネフがSALT IIに調印した。ベターはこの外交について二重に説明します。文書化された署名は、その隠れメカニズムを検証しない。

出典 · AL46, 項目 1-2; AL51, 項目 2-3; AL53, 項目 1. SALT II treaty: 18.06.1979, U.S. State Dept.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD01 · ページ 6/6

比較と証拠

カテゴリを明確にします。ソースに従ってください。追加請求をテストしてください。

1 人間の替え玉

ベターのカテゴリー: 別のものを装うように訓練された既存の人間。特徴:製造された生物学的ボディは不要です。特定の名前の置換が起きたかどうかは、独立した証拠が必要である。

2 有機ロボトイド

ベターのカテゴリー: ホログラフィックメモリパターンと限られた寿命で、急速に作られたと言われているロシアの人工生物学的レプリカ。遺伝的外観と捕獲メモリは、彼の提案システムとは別の部分である。

3 合成オートマトン

ベターのカテゴリー:アメリカで活動する派生物に関連するライバルの生物学的複製。牛由来の発育組織、視覚的な写しの密接な部分、精神的なパフォーマンスの低下について述べている。仕様の欠落は事実として記入するべきではありません。

4 クローニングが確立するもの

NHGRIはクローンを生物学的物質の遺伝的に同一のコピーを生成すると記述している。また、クローンは同じに見える必要はないことも記されている。この文書化された科学は、ベターの急速な成人複製や記憶伝達の主張を確立していない。

5 ホログラフィーが確立するもの

ノーベル文庫は、ガボルのホログラフィーにおける功績を記録している。政治的な二重製造は行われていない。真に科学的発見は、物語の並外れた拡張を検証せずに、物語の背景となることができる。

6 開いたファイル

音声書簡はベターのアカウントを登録します。ここで引用されている外部の情報源は、より狭い科学的または歴史的事実を確立する。誰も独自に疑わしい代替プログラムのデモをしません。次のステップは、ケースバイケースで追跡可能な証拠です。

出典 · AL46, AL47, AL51, AL53; NHGRI: Cloning Fact Sheet; NobelPrize.org: Physics 1971.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD02 · ページ 1/6

コスモスフィア

空に浮かぶ球体

1977年のホバリング・プラットフォームから、輸送機や軌道重リフターまで。

1 1977年12月(昭和27年)

AL29は、沿岸空襲を、ソ連のホバリング兵器プラットフォームと結びつけている。ベターは、音を新しい機能の意図的な信号として提示します。説明は彼の説明に属す; 説明されていないノイズは宇宙船の証拠ではありません。

2 単なる軌道ではなく、ホバーイング

彼の主張は、選ばれた場所よりも長く駅舎を保管している。通常の低軌道衛星が頭上を通過するのとは異なり、宇宙圏は浮上系を用いて位置を保持すると考えられている。この区別は、提案された軍事的役割の根底にある。

3 報告された最初のグループ

1977年12月22日、ベターは北アメリカとその周辺海域の7つのプラットホームについて記述した。クルー4人、リモートコントロールで精算している3人。これらはレポートされた数字であり、独立して確認されたデプロイメントではない。

4 セミパラチンスク/AL37

1978年8月、ベターはセミパラチノスクを組立てて取付センターと名付けた。彼は核発電所と粒子ビーム兵器を関連付けている。図示された工場は、認証された施設計画ではなく、解釈です。

5 ノヴォシビルスク — AL37

彼はノヴォシビルスクを作戦拠点と位置付け、サービス、物資、乗組員のサポートを強調している。彼の説明でも、異常な飛行能力は脆弱な地上ネットワークへの依存を排除しない。

6 続く3つのタイプ

パトロールプラットフォーム、高速輸送、ジャンボまたはスーパーヘビーを区別します。これらは文字から引き出された編集グループです。正確な直径、内部レイアウト、またはエンジニアリング仕様は確立していません。

出典 · AL29 (22.12.1977), 項目 1; AL37 (27.08.1978), 項目 1; AL46, AL64.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD02 · ページ 2/6

電気重力という考え方をめぐる二つの説明

歴史的電気推進糸とベターのはるかに広い浮上主張。

1 歴史の糸

トーマス・タウンゼント・ブラウンの高圧実験は、重力学の歴史の一部となっている。その後、NASAはベターのソ連計画と関係がないとして、関連キャパシタの調査を行った。

2 測定された電気推圧

2004年にNASAがホストした報告書では、キャパシタと推力の測定は、空気との衝突によって運動量が移動されるイオンと一致していることがわかった。気体中の電気的推力と重力の制御は、異なる物理命題である。

3 ピーター・ベターの縦の動き

AL29は、浮上場を通じて昇降する初期のプラットフォームについて記述している。試験フィールド式、建設マニュアル、測定エネルギーバランスを提供していません。ホバリング球面は彼の提案した能力を視覚化する。

4 サイドウェイ:小さなロケット

初期の説明では、垂直方向の浮上はすべての動きを提供していません。小型ロケットモーターが機体を横向きに移動します。最初の設計は、あらゆる方向に完全に電磁推進されているとは説明されていません。

5 後続の推進クレーム

AL46は、この輸送バージョンは横方向のロケットスラスターを消費し、地球の電磁場を引き寄せると言います。それがベターの主張する進歩です。塗られた輝きは芸術的な慣習であり、測定された分野や実証されたメカニズムではありません。

6 真空チェック

2004年の別のコンデンサスラスターは真空中で測定された力は記録していない。このような実験は、特定の装置を試験します。抗重力や宇宙圏を確立しません。宇宙飛行システムも、まだ証拠が必要です。

出典 · AL29, 項目 1; AL46, 項目 2. NASA/CR-2004-213312; NTRS 20040085936.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD02 · ページ 3/6

A型：兵器プラットフォーム

第1世代の役割:永続的な存在、脅迫とビーム武器。

1 ターゲットの上の駅

ベターのシナリオでは、プラットフォームは攻撃開始時にのみアプローチするのではなく、戦略領域よりも上に待機できる。AL37では、発射時にミサイルを攻撃する準備が整ったミサイルの設置の上にそのような船を置く。

2 クルーと制御

AL29は、リモートチェックマシンから乗ったプラットフォームを区別します。ここのクルーキャビンは想像してみてください。手紙の前の参照は、フォーティーパーソンのアメリカのプラットフォームの概念は、確認されたソ連のコスモスクルーの補完として扱われるべきではありません。

3 パワーと武装

AL37は、原子力発電所と粒子ビーム兵器の設置とアセンブリを関連付けます。ベターの幅広い説明です特定の原子炉形状、シールド厚さ、および武器出力は、引用された通路によって確立されません。

4 空気ブームの説明

AL29は、大気中にエネルギーを蓄積する粒子ビームショットを意図的にデフォーカスさせることをブームとみなしている。広い光コーンは視覚的な比比重です。ビームの写真や音の確認されたアカウントではありません。

5 口座の高度変更

AL29は最初の駅を560-821マイル(約900–1,320 km)にリストしている。AL60はその後、通常のパトロール高度として約100マイル(約161km)を走行する。これらは、1つの固定仕様ではなく、異なるレポート設定です。

6 ステルスと降下

AL60は、降下中の高高度とレーダーの外観では5-7マイルまで通常のレーダーの視認性がないと主張している。これらの主張はベターに帰せられる。球形だけではレーダーの視界が見えないわけではありません。

出典 · AL29 (22.12.1977), 項目 1; AL37 (27.08.1978), 項目 1; AL60 (30.11.1980), 項目 3.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD02 · ページ 4/6

B型：高速輸送機

AL46の第2世代:人、貨物、軌道速度への道。

1 ミッションの変更

1979年5月、AL46は高速輸送用に設計された第2世代のコスモスフィアを導入した。AL60は後に、武器を剥がしたと説明している。彼らの差別化目的は、武装パトロールを維持するのではなく、人と貨物を移動させることです。

2 ストーリーの乗客

ベターは、輸送機を使って、二重の疑いのある秘密の外交シャトルを説明します。接続は、この資料をパワーの倍にリンクします。イラストのシート、窓、搭乗設備は、技術的な図面を提供していない想像されます。

3 報告されたフライトプロファイル

AL46は100マイル以上、9,000mph付近の典型的な速度に登る:約161km、14,500km/h。 AL60は、必要に応じて軌道速度に到達する要求された能力を追加します。

4 従来の最初の足

AL46は、密かにカナダの上陸地点に向かって別の航空機を運んでから、ワシントンを出発してメイン州バンゴールへ向かう旅行者を描写している。物語では、通常の輸送インフラが秘密の高速ネットワークに供給されます。

5 quebec ハンドオーバー

ベターはマニコーガン湖の北端にあるカナダのランデブーに位置しています。そこから、コスモスフィアは、ロシアまたは他の密集した目的地に向かって乗客を運ぶと伝えられています。地形は、調査された着陸地点マップではなく、図示的です。

6 衛星キャプチャクレーム

AL60は1979年12月11日にサトコム3号の軌道と一致する輸送機を貨物船の中に引き込んだと主張している。これは、ベターがタイプを割り当てた拡張された役割を示しています。衛星の損失の原因は確立しません。

出典 · AL46 (28.05.1979), 項目 2; AL60 (30.11.1980), 項目 3.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD02 · ページ 5/6

C型：ジャンボ型と超重量型

1981年に記述された巨大な実験的な重リフター。

1 ボリュームで大きい

AL64は、1930年代のゼッペリンよりもボリュームが大きいスーパーヘビーを呼んでいます。その比較は、長さや飛行船の形ではなく、密閉されたボリュームについてです。この絵は球体を保持し、人間のスケールだけを使用します。

2 ペイロードクレーム

ベターは50トン以上のペイロードを積んでおり、このタイプは既に運用されている実験的なソビエトのシャトルであると説明している。我々は彼の単位を記したままであり、この節はそれらが計量的か短いトンであるかを規定しない。

3 軌道性能

AL64は強力な電磁推進力に軌道速度をアトリビュートする。AL70は後に、ジャンボはアメリカンシャトルを乗り切り、乗り越えられると述べています。パフォーマンス曲線が独立して検証されていない。

4 セブンクラフト、2つの役割

1981年4月、AL64は7つのジャンボについて述べている:5つは、中性子粒子ビーム兵器を装備した5つと2つは、中性子粒子ビーム兵器を搭載している。AL70は、12月に報告されている艦隊を少なくとも8に引き上げます。日付は、日付によって異なります。

5 比例した悲嘆操作

AL64では、5機のジャンボがコロンビアで分離した外燃タンクを捕獲し、リダイレクトした。この操作はベターの代替アカウントの一部であり、文書化された復旧ミッションではありません。絵のつかみのメカニズムは芸術的な再構築です。

6 文書化されたSTS-1レコード

NASAは1981年4月12日にコロンビアを打ち上げ、4月14日にジョン・ヤングとロバート・クリッペンと共に着陸した。これはベターの破滅と置換の記録と矛盾する。両方のアカウントは、等しく確立された履歴として提示してはいけません。

出典 · AL64 (27.04.1981), 項目 2; AL70 (27.12.1981), 項目 2. External reference: NASA, STS-1.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD02 · ページ 6/6

比較と残された疑問

実証済みの技術からレポートされた機能を分離する。

1 生成ラベルが異なる理由

AL46はその輸送を第二世代と呼んでいる。AL64はジャンボを第3版、AL70は第2世代のコスモスフィアと呼んでいる。我々は、一様I-II-III年代記を黙示的に課すのではなく、この矛盾を保っている。

2 A — パトロールと武器

役割: 静止脅威と発射の傍受。初期の移動:垂直浮上と横方向ロケットスラスターを主張した。武器:ベターの説明にある粒子ビーム。ここで使用されているコアパスに正確な直径が確立されていません。

3 B — 人や貨物

役割:高速旅客と貨物輸送;衛星捕獲疑惑。運動:電磁水平推進を主張する。AL60では、非武装型と表現されている。AL46の典型的な速度:約9,000 mph、記載されている普遍的な最大値ではありません。

4 C — 重度の軌道操作

役割:重い持ち上げ、抗力、および特定の構成ではビーム武器。AL64は50トン以上のペイロードと軌道速度を報告する。ゼッペリン体積の比較から、これ以上の仮定なしに正確な直径は得られない。

5 科学は自動確認ではありません

電気推進実験は独立して検討できる。彼らの存在は、ホバリング軍艦、レーダーの視界の悪さ、または疑わしい艦隊を確立しません。各追加機能には、再現可能な測定や独立して追跡可能な証拠が必要である。

6 次: スペースの三重

この文書は、機械とその役割の変化に従っています。次は、宇宙圏とベターの主張する軌道インターセプターと月基地をつなぐ。彼の公表した説明は研究の源であり、記述されたシステムが存在することを証明しているわけではない。

出典 · AL29, AL46, AL60, AL64, AL70; NASA/CR-2004-213312; NASA, STS-1.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD03 · ページ 1/7

宇宙の三本柱

一つの戦略をなす三つの要素

ベターの宇宙三脚物語、その年代と歴史的文脈へのガイド。

1 異なるトライアド

AL37では、ベターはミサイル、潜水艦、爆撃機をソ連の宇宙飛行場と区別している。この文書は、彼の3部構成とその内部論理に従っており、その体系を確立された歴史として扱うものではない。

2 I — 軌道インターセプター

AL42の最初のコンポーネントは、有人コスモスインターセプターの艦隊です。ベターは彼らに宇宙拒否の役割を割り当てます: 反対の軍事衛星を攻撃し、その後、その交換を防ぎます。彼の言葉は、武装車両の名称である。

3 II — 月間のインストール

2つ目のコンポーネントは、月面に粒子ビームを設置するネットワークです。彼の説明では、近辺の武器は地球を脅かすが、遠方の前置基地はネットワークをサポートする。戦略的な役割は、地球の軌道を回る衛星とは異なる。

4 III — コスモス

3つ目のコンポーネントは、エレクトログラビティホバリングプラットフォームから構成されます。インターセプターとは異なり、彼らは選ばれた地上目標の上にとどまる。Dossier 02は、それらのタイプを調べました。ここでの焦点は、組み合わせた戦略における彼らの場所です。

5 転換点: 1977年秋

1977年9月27日のハーベストムーンの戦いの後、AL42は軌道制御、月着陸、10月着陸、そして12月のホバリングプラットフォームキャンペーンの展開を行った。これらの日付はベターの年代記であり、検証済みの戦闘作戦ではない。

6 地球へのつながり

この特別な説明でも、三つの腕は、供給、交換乗組員、サービスという普通の必需品に依存します。AL37は、その依存関係をシステムの共有弱点として識別する。遠くの月の位置と地上のインフラをつなぐ。

出典 · AL37 (27.08.1978), 項目 1; AL42 (31.01.1979), 項目 1.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD03 · ページ 2/7

軌道上の迎撃機

AL30とAL37に記載されているように、乗組員パトロールクラフトと粒子ビーム武器。

1 パトロールの使命

AL37は、地球を周回するインターセプター、外国軍の衛星への攻撃、新しい打ち上げの監視について説明します。これは軌道パトロールの役割です。コスモスフィアに負の属性を持つ1つの位置の上の長時間のホバリングと混同しないでください。

2 乗組員が重要である理由

より良い繰り返しこれらのインターセプターを乗組員に呼び出す。そのため、AL37は、継続する作戦に乗組員の回転と補給を必須にします。イラスト付きのキャビンと船体は芸術的な解釈であり、引用された通路は認証された建設図面を提供していません。

3 コスモス929アカウントで

AL30は、荷電粒子ビームを武器とした早期インターセプターとしてコスモス929を識別している。ベター氏は、これらの武器によって、ターゲット衛星が火球に突出すると言います。衛星の指定は追跡可能であるが、乗組員と武器を割り当てるには、別の証拠が必要である。

4 反動および軌道修正

AL30は、発射はインターセプターの軌道を乱し、補助スラスターは補償すると述べています。ベターは、これらのスラスターの故障を使用してコスモス954の後のトラブルを説明します。図は、テスト済みのエンジニアリングモデルではなく、物語のメカニズムを示しています。

5 Cosmos 954: 特別な割り当て

AL30では、コスモス954はコペルニクスクレーターのアメリカ製インスタレーションへの攻撃の疑いがある中性子ビーム兵器を運んでいます。ベターはこのミッションを衛星攻撃と区別する。戦闘記録は資料04に帰属する。

6 名前は単一の設計ではないです

コスモス(コスモス、英: Cosmos)は、多くのミッションで用いられる衛星である。この文書はベターの条件を記し、名前付き宇宙船と、その役割と、独立したミッション記録とを区別している。アートワークは識別ガイドではありません。

出典 · AL30 (28.01.1978), 項目 3; AL37, 項目 1; AL42, 項目 1. NASA HEASARC: Cosmos series.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD03 · ページ 3/7

月面のネットワーク

AL28では7つの近辺武器と3つの遠方支援施設が配備されている。

1 ジュリーズ・ヴェルネ:始まり

AL42は1977年10月16日にソ連初の有人月面着陸を、遠くのジュール・ヴェルヌクレーターで行ったと推定されている。AL28は、これを操作の初期のベースと説明している。シーンは、その説明の再構築です。

2 近辺へ向かう

ベター氏は10月30日、ギブスクレーターへの最初の移動について情報を受けたと、AL28で述べています。当時、設備と人員は地球に面した兵器ネットワークを確立することになっていた。彼の物語は最初の足場の後、急速な拡大を描写している。

3 七つの武器の位置

1977年11月21日までに、AL28は、近くで7つの粒子ビーム位置をリストアップした。より良い座標と言語ランドマークを提供します。ページ7は、これらの記載された座標をプロットする。正確な位置もプロットされた点もインストールが存在することを証明しない。

4 3つのサポートサイト

AL28は、ジュール・ヴェルヌとパスチャクレーターとコンプトンクレーターに対して説明される位置という3つのバックアップ場所も命名している。これらは彼のアカウントにあるサポートサイトです。我々は、トランスクリプトのスペルパスを黙って置き換えるのではなく、保存する。

5 小さな乗組員、長い供給ライン

ベターは、月面の設置を、薄手のスタッフであり、自給自足でないと明確に表現している。地球からの定期的に送達が必要です強力な武器は乗組員の生命維持の必要性を排除しない。

6 座標をソースとして読み込む

アトラスは、7つの近辺位置にはN1-N7を使用し、遠辺位置にはF1-F3を使用する。数字は編集部です。座標はAL28から転写され、ジュール・ヴェルヌの全次位は近似として保たれる。

出典 · AL28 (21.11.1977), 項目 3; AL42 (31.01.1979), 項目 1. Atlas: 7.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD03 · ページ 4/7

三本柱の中のコスモスフィア

永続的なパトロールから、月とホバリング武器の協力の疑わしいまで。

1 静止した脅威

AL37では、コスモスフィアは戦略目標、特にミサイルの設置を上回っています。ベターは、抑止力として彼らの持続的な存在を提示します:相手が発射しようとするとすぐに脅威に直面します。これが武装パトロールプラットフォームの役割です。

2 起動時のインターセプション

同じ手紙には発射時のミサイルへの粒子ビーム攻撃と、陸地、海、空中での標的が書かれている。光線は漫画の慣例です。検証済みのターゲットデータやエンゲージメントエンベロープはここでは提供されません。

3 エアブームキャンペーン

AL42は、1977年12月2日にプラットフォームの公共効果をレトロスペクティブに発表しました。ピーター・ベターは、集中したビーム・フィリングにより、沿岸の空気ブームを刺激として解釈します。音と説明は、それぞれ異なる問題です。

4 一緒に働く2つの腕

AL54は、月面の光線が海に嵐の細胞を発生させるのに対して、宇宙圏はそれらを維持し、影響する。その緊急転写は提案されたシーケンスを記述する。これは気象戦争の主張であり、確立された気象機構ではない。

5 トランスポートサポートは、別の役割

資料02は、輸送用コスモスフィアと重リフトジャンボから優れた武装プラットフォーム。共通の姓はそれらの差を消してはいけません。AL37によって記載されている三部作では、直接軍事機能は武装したホバリングプラットフォームに属します。

6 3つの補完的な役割

この説明では、インターセプターは軌道への接近を否定し、月面兵器は地球を遠くから脅かす。これはベターのシステムについての編集的な合成であり、独立して確認された3つの武器計画ではない。

出典 · AL37, 項目 1; AL42, 項目 1; AL54 (24.02.1980), 項目 2 + Emergency Transcript.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD03 · ページ 5/7

共通する弱点

AL37の中心的な戦略は、宇宙軍は地上ネットワークに依存しているということです。

1 月の返信

食料、生命維持消耗品、交換機器は、月面乗組員を地球に結びつけます。AL28はすでに依存症を指摘しており、AL37は戦略的な脆弱性にしている。現場は、特定の着陸機や配達スケジュールを主張することなく、物流を示しています。

2 軌道乗組員の回転

AL37によると、インターセプターは乗組員を解隊し、補給を更新する必要があります。艦隊は、下層の発射能力に応じて軌道上で優勢に見える可能性がある。図示されたランデブーは概念的であり、文書化されたインターセプターミッションではない。

3 地上サービス

AL37は、コスモスフィアの組み立てと備品をセミパラチノスクに、運用支援をノヴォシビルスクに配置します。これらの場所は、この文書を前の文書と結びつけます。メンテナンスと供給は空輸艦隊を持続させる:ここで彼らの重要性は機能的です。

4 ピーター・ベターの偽造品

AL37は、支援する打ち上げとサービスインフラを無効にするアメリカ軍の計画と、さらに広範囲な攻撃について説明している。その前提は、供給ラインを切断することで3つを弱めることです。我々は検証された運用計画ではなく、議論を要約する。

5 AL37のレーザー応答

ベター氏はレーザーの役割を2つ主張する:ミサイル発射地点付近の宇宙圏を対抗し、海上の船から月面兵器を脅かす。これらは彼の予測された対立の要素である。アートワークは、写真システムを展開したことを意味していません。

6 劣化やエスカレーション?

発射を阻止すると約束した武器も、その攻撃を最初に無効にしようとする試みを誘発する。その緊張感が三人組に物語の力を与える。その結果は、計画室の遠く離れた人々に降りかかります。

出典 · AL28, 項目 3; AL37 (27.08.1978), 項目 1.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD03 · ページ 6/7

ベターの説明と記録

実名と論争のある役割を組み合わせたストーリーを読むための独立した参照ポイント。

1 コスモス 954 — 1978年4月24日

カナダの保健省は、核燃料で動くソ連の監視衛星が墜落し、モーニングライト作戦が終了したと記録している。AL30は、生き残った乗組員カプセルを記述している。カナダの記録は、ベターの有人ビームミッションではなく、破片と放射線学的インシデントを支持しています。

2 Skylab — 2つの異なるクロノロジー

AL37は、1977年10月18日にスカイラブを破壊されたというベターの主張を繰り返す。NASAは1979年7月11日に、軌道崩壊とステーションの制御を試みた際に大気圏再突入を記録。両者は直接対立している。

3 実質の抗衛星の心配

1977年8月9日のアメリカ政府間機関間論文では、ソビエト連邦の軌道反衛星運用能力を記録し、武器対照の選択について論じている。本当の軍事的文脈を確立しますベターの有人ビームインターセプターや月面ネットワークは確立していない。

4 文書化された月面プログラム

NASAの月面ミッションの年代記には、1976年8月にソビエト連邦のロボットルナ24号が含まれていた。ベターが記述したソ連の月面基地は記録されていない。ロボットによる功績と軍事的解決が主張されている。

5 証拠チェーンを別々に保つ

音声書簡sはベターが言ったことを記録している。ミッション履歴と回収資料は、他の種類の証拠を文書化する。共有名や日付は調査を導くことができますが、それ自体は彼のアカウントに割り当てられた追加の秘密の役割を検証しません。

6 次 — 収穫月の戦い

Dossier 04は、アポロ、コペルニクス基地、ディエゴガルシア、スカイラブ、コスモス954という、疑わしい戦いとその設定に従っています。以下のアトラスは、まずAL28の10の月の位置を1つの場所に保管して参照する。

出典 · Health Canada: COSMOS 954; NASA: Skylab / Moon Missions; FRUS 1977-80, vol. XXVI, doc. 6; AL30, AL37.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD03 · ページ 7/7

AL28で示された座標の地図

1977年11月21日、ベターは文書で「設置は確認されていない」と記した。
ニアサイド/N1-N7
N
S
センター0°
N1
N2
N3
N4
N5
N6
N7
ファーサイド — F1-F3
N
S
センター180°
F1
F2
F3
リブレーションや地形のない正弦波半球。北上;東経度はプラス。N/F は編集IDであり、ベース名ではありません。
AL28緯度経度に記載されているID位置
N1 冷間55°54′N 51°00’Eの東側
危機の海の西のN2 16°33 " N 48°51 "E。
出生率31°53′S 73°09′EのN3SE
N4南西極域72°26′S 67°30′W
N5 ホスシリドクレーター 50°53′S 57°49′W 付近
海中のN6SW 9°26′ S 66°52′ W
アポロ14号のN7 NEサイト1°23′S 12°27′W
F1ジュールヴェルヌ(約)~36°S〜147°E
F2 SE of Pasture (AL28スペル) 13°36′ S 108°26′ E
コンプトンクレーター51°03′N 95°00′EのF3SW
このページを読んでみる方法
N = 近辺武器位置; F = 遠方バックアップ位置。N/Sは南北を意味し、E/Wは東/西。記号は、ジュール・ヴェルヌのおよそ位置を保っている。パスチュアはAL28で綴られるように保持される。点とは座標から派生し、構造の画像検出ではない。
この地図は、ソーステキストの確認を容易にします。軍事施設がこれらの場所に存在または存在することを確認していません。
出典: AL28, topic 3 (21.11.1977)。完全な参照はPDFに添付され、ZIPに含まれています。
位置はベターが述べた座標を示す。軍事施設の存在は確認されていない。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD04 · ページ 1/7

「中秋の満月の戦い」という主張

スプートニクからアポロへ

ベターの説明の前に記録された宇宙競争は、別の道をたどります。

1 4 オクトーバー 1957 — スプートニク

ソビエト連邦のスプートニク1号の打ち上げは宇宙時代の幕開けとなった。軌道における競争は、科学的、軍事的、政治的重要性を伴った。ベターは、月計画の解釈を導入する前に、この本当の歴史的背景に対してAL26を開始します。

2 Mercury - ジェムニーニ - アポロ

アメリカの進路はマーキュリー、ジェミニ、アポロを通り抜けた。ジェミニはランデブー、ドッキング、ロングフライト、スペースウォークをテストして、このプログラムをブリッジした。これらのスキルは、月ミッションを可能にするのに役立ちました。

3 1969年7月20日 — Apollo 11

アームストロングとオルドリンは月面に着陸し、コリンズは月周回軌道に留まった。ベターはAL26でアポロ計画の公共着陸を受け入れ、その計画は軍事目的も隠していたと主張している。その余分な主張には、別の証拠が必要です。

4 キャンセルされたミッション

1970年1月と9月にNASAはキャンセルを記録し、アポロ17号は最後の月面着陸ミッションとなった。残存便は番号が変更された。キャンセル記録は、行方不明のミッションが以前の番号で密かに飛んだ証拠ではない。

5 Apollo 17 — 2つの異なる日付

月面への上昇は1972年12月14日に起こり、12月19日に地球への降下が行われた。AL26は月面を19番に割り当てます。我々は、この特定の時系列エラーを訂正しながら、ベターのより広い議論を保持する。

6 ソ連の軌道

ソビエト連邦の計画では、1971年4月19日にサリュート1号が打ち上げられ、1977年にサリュート6号が打ち上げられた。後に、この記録化されたステーションプログラムは、ベター氏の月面作戦に関する説明とはかなり異なる重要な設定となる。

出典 · NASA: Sputnik; Project Gemini; Apollo 11; Apollo 18-20; Apollo 17; Salyut.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD04 · ページ 2/7

秘密計画があったという主張

AL26は、秘密の月面施設をディエゴ・ガルシアと接続し、AL37は、スカイラブの支援を主張する。

1 アポロの背後にある軍事目的

AL26は、月計画が秘密のビーム兵器基地の準備として描かれている。ベターは、このプロジェクトをロックフェラーズと呼ばれる支配層に委ねている。これは彼の意図解釈であり、アポロ計画の目的ではない。

2 サンディエゴ・ガルシア — 実際の拠点

正しい地名はディエゴ・ガルシアであり、インド洋のサンゴ礁である。1971年からアメリカ海軍の歴史記録に記録され、1973年3月20日に通信局が就役した。基地が存在し、月の役割が疑われることも問題である。

3 AL26の秘密宇宙港

ベターは、孤立した島を、月への秘密ミッションの発射点と呼び、観測者からの距離と、外洋への飛行を強調します。海軍建設記録は、彼の宇宙港の主張を検証していない。

4 文字がリストされていないもの

AL26は、継続的な飛行と建設について説明していますが、ここで使用されている通路は、アポロ計画後の月面飛行士と打ち上げの独立して検証可能なマニフェストを提供していません。そのため、発明したアポロ番号、宇宙飛行士名、正確な打ち上げスケジュールは追加しません。

5 Copernicus — 要求されたターゲット

より優れたアメリカ製装置をコペルニクスクレーターに配置し、地球を脅かす粒子ビーム兵器を組み立てます。実際のクレーターは軍事基地を建てていない。示されている建物と機械は芸術的な再建である。

6 スカイラボを道場として

AL37は後に、スカイラブを秘密の月計画における軌道上のステーションと呼んでいる。これはベターの記述の中で地球、軌道、月を結びつける。スカイラブがアメリカの研究研究機関として果たした役割とは区別しなければならない。

出典 · AL26 (30.09.1977), 項目 1; AL37, 項目 1. U.S. Navy: Diego Garcia history.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD04 · ページ 3/7

1977年：粒子ビームをめぐる競争

Cosmos 929とCosmos 954を別々に読んで、初期の説明と後の詳細を区別してください。

1 コスモス 929 — AL26

AL26は1977年7月17日に打ち上げられたコスモス929を、司令モジュールと個別のビーム兵器モジュールを備えた有人双対システムと記述している。この構成はベターの主張である。図面は宇宙船の認証された肖像画ではありません。

2 コミュニケーションの説明

ベターは、レーザーリンクが、なぜ通常のクルー無線トラフィックを聞き取れなかったのかを説明すると述べています。また、武器試験の前に広範囲にわたる点検についても述べている。これらの詳細は彼の物語をより具体的にするが、特異性だけでは、公開されていない乗組員や軍備を検証できない。

3 20セプテーマー — petrozavodsk

AL26はペトロザヴォツク付近の光現象を、コスモス929によるアメリカの衛星の破壊と解釈している。我々は、目撃者の光観をベターの提案された原因の証明に変身させることなく、報告された空の光景を説明する。

4 コスモス954 — 後者の識別

AL26はコスモス929と命名され、別のビーム衛星を指す。AL30は、コスモス954を、中性子ビーム兵器で月面攻撃に割り当てられた船と明確に識別している。後者の識別を最初の9月の報告に黙認してはなりません。

5 アメリカン・期限

AL26では、コペルニクスの施設はソビエトの攻撃開始時にまだ作戦準備に近づいています。月面兵器がほぼ準備できていますが、軌道上の相手が最初に行動します。

6 イベントの日付とレポートの日付

1977年9月27日に戦闘が終了し、9月30日にAL26が記録されている。AL30 はコスモス 954 が再突入した後、28年1月1978 に続くものである。これらの日付を区別すると、公開アカウントの経時的な発展が表示されます。

出典 · AL26, 項目 1 and 項目 2; AL30 (28.01.1978), 項目 3.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD04 · ページ 4/7

9月26〜27日：戦闘があったという主張

AL26とAL30の再建で、独立した記録は残っていない。

1 攻撃が始まります

AL26は、砲撃は9月26日遅くに始まると述べています。AL30は、地球軌道におけるコスモス954と識別されている。主張されている係争は月への軌道からのもので、クレーターを攻撃する着陸部隊ではない。

2 ニュートロン・ウェポンの主張

手紙は、基地内の人員に向けられた中性子放射が攻撃のきっかけである。目に見えるブラストパターンを発明するのではなく、警報制御室を示す。引用されているアカウントは、独立して検証された医療文書や損失文書を提供しません。

3 ラインの視力の中断

AL30は、地球が衛星の月のビューを遮るたびに、停戦を発射すると述べています。その制約はベター自身の記述に属す。画像は空間的なイラストであり、計算された軌道や検証された武器軌道ではない。

4 27 敗北者 — 主張された結果

ベター氏は、9月27日の終わりまでに、アメリカ人乗組員が殺害され、基地は行動を停止したと述べています。この文書は、死傷者数も発明されたアイデンティティも追加しません。空の廊下は、身体を描写することなく、請求された損失を伝達する。

5 収穫月のコントラスト

AL26は、どうやら平和な秋の月と、そこで起こっているという悲劇とを対比している。タイトルと感情的な力も物語に込められている。地球の上のお馴染みの空と隠れた争いが物語の中心的なコントラストを形成しています。

6 政治解釈

AL26は、宇宙での勝利の結果として、武器交渉に対するソ連の圧力を読みます。それがベターの因果解釈です。外交活動だけでも、彼が説明した戦闘の存在や結果を確立することはできません。

出典 · AL26 (30.09.1977), 項目 1 and 項目 2; AL30, 項目 3.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD04 · ページ 5/7

10月の二つの年表

ソユーズ25号、ソ連の月面着陸、スカイラブの紛争の運命。

1 Soyuz 25 — 記録されたミッション

NASAのミールハードウェア遺産は、ソユーズ25号の1977年10月9日から11日にかけての飛行を許可している。コヴァリョーノクとリューミンはサリュート6号との完全なドッキングに失敗し、帰還した。ドッキングの試みは記録されており、月への移動は記録に残っていない。

2 16 october — ピーター・ベターの代替品

AL27は、ドッキング失敗が月面推進装置との接続を隠蔽したと主張している。ジュール・ヴェルヌ・クレーターには10月16日に同じ宇宙飛行士がいる。これはソユーズ25号が地球に帰還した記録とは直接異なる。

3 18オクトーバー — 消防士の主張

ベターは、報告されているアメリカに対する火球を、コスモス・インターセプターによるスカイラブの破壊と解釈する。AL27は、米国の宇宙資産の削除としてこれを提示します。イラスト付きストリークはオブジェクトを識別したり、提案した攻撃を検証したりしない。

4 ミッションレコードのスカイラボ

NASAは1979年7月11日までスカイラブを軌道に残していた。その説明では、軌道崩壊、大気抵抗、地上コマンド、インド洋とオーストラリアへの再突入が説明されている。1977年10月、ベターは破滅の日付を公表した。

5 2つのアカウントは、1つの統合ストーリーではなく、

ベター氏は、軌道崩壊報告を表紙と呼んでいる。NASAは、後の制御と再突入を記録。両方のクレームを見える化することは、日付を1つのシーケンスにマージしたり、等しく証明したりすることよりも有益である。

6 スペースのトロードへのリンク

ソ連の迎撃機、月面兵器、宇宙空間が宇宙空間を形作る。資料03は、これらの主張された役割を説明します。ここでの戦いは、その新しい力のバランスの物語の原点となります。

出典 · AL27 (29.10.1977), 項目 1; AL37, 項目 1. NASA RP-1357; NASA: Skylab reentry.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD04 · ページ 6/7

カナダとコスモス954号の記録

1978年1月の再突入、後の乗組員の主張、およびスカイラブとスペースラブの区別。

1 1978年 月 24 日 — 実質の事件

カナダの保健省は、北西部領土で954号が墜落した記録を公表した。原子力発電は核ロケットエンジンと同じではない。

2 操作の朝ライト

カナダとアメリカの合同調査と清掃はモーニングライト作戦と呼ばれた。この文書では、放射性衛星破片に関する回復が記録されている。シーンは、写真や特定の回復した断片の再構築ではなく、その作品のイラストです。

3 AL30 — 生存するクルーの主張

4日後にベターは、生き残った乗組員カプセルと救助を待っている乗組員について説明します。月面攻撃の後、彼は降下を軌道修正ロケットにリンクする。カナダのインシデント記録では、その乗組員、武器、因果鎖は確認されません。

4 Skylabはスペースラボではありません

スカイラブは、アメリカ海軍の軌道ステーションで、AL27で議論された。スペースラブはスペースシャトルのペイロードベイで運ばれた実験室であった。初のSTS-9は1983年11月28日にコロンビアで打ち上げられた。類似の名前は、異なるハードウェアとプログラムを指します。

5 クレームはどのように接続しますか?

確認された打ち上げや実際のクレーターは、秘密任務の証拠ではなく、参照点を提供します。追加のリンクは、乗組員、飛行経路、ハードウェア、または疑わしい操作に関連する観察など、独立した追跡可能な記録が必要になる。引用された情報源はそれらを確立しません。

6 チェックできるストーリー

この文書はベターのシーケンスを保存し、後の追加とミッション記録との衝突をマークしている。最終年代記では、イベントの日付、報告日、証拠ステータスを区別します。読者は元の手紙に戻り、各リンクを個別に判断することができます。

出典 · AL30, 項目 3; Health Canada: COSMOS 954; ESA: Spacelab 1; AL26-27.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD04 · ページ 7/7

ベターの説明と公的記録の年表

イベントの日付、記録日、および歴史的資料との比較。

日付 ピーター・ベターの記述の歴史的記録 — コンテキスト

1970 AL26は、このキャンセルを継続する秘密プログラムのカバーとして解釈している。[A]

NASAは1970年1月と9月にミッションを中止し、再命名した。[H]

14 / 19 12.1972

AL26はアポロ17号が月を出発する12月19日を予定している。[A]

月面上昇期:12月14日。地球上:19 12月。[私は] [I]

20.03.1973 AL26は、ディエゴ・ガルシアを秘密の月面発射場と表現している。[A]

この日に海軍の通信局が置かれた。[K]

26–27 09.1977

AL26はこれらの日付に基づいてコペルニクスの攻撃を疑わしいものに配置する。[A]

引用されている外部記録は、この戦いを独自に確認していない。

30.09.1977 音声文字26の日付、この文書で使用されている主なアカウント。[A]

写本は、疑わしい出来事ではなく、請求の出版物を文書化する。

09–16 10.1977

AL27はソユーズ25号の乗組員が後に10月16日にジュール・ヴェルヌに到着したと主張している。[B]

ソユーズ25号は10月9日から11日にかけて飛行し、不完全なドッキングの後に戻った。[L]

18.10.1977 AL27は、報告されている火球をスカイラブの破壊と識別する。[B]

NASAは1979年7月11日にスカイラブの大気圏再突入を記録。[M]

24.01.1978 AL30は、コスモス954号が生き残った乗組員を運んだと主張する。[C]

原子炉で作動するソビエトの衛星がカナダ上空に落下し、モーニングライト作戦で破片が回収された。[いいえ] [N]

28.01.1978 AL30は、コスモス954を月面攻撃に明示的に割り当てている。[C]

これは後者のアカウントの日付であり、その役割の独立した確認ではありません。

28.11.1983 宇宙ラボは、以前のスカイラブステーションと区別するためにここに含まれている。

スペースラブ初のミッションはSTS-9でコロンビアで打ち上げられた。[O]

このページを読んでみる方法

ラベル [A] - [O] は、PDFに添付されているSources.txtを参照し、ZIPに含まれています。ALとは音声文字のこと。一致する日付や衛星の実在は、それ自体では秘密の軍事的役割を確立しない。

出典 · AL26, AL27, AL30; NASA, U.S. Navy, Health Canada, ESA. Full links: Sources.txt.

編集時間 - 疑惑と文書化されたイベントを比較する。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD05 · ページ 1/8

米国の兵器体系

ステルス技術の見える部分と隠れた部分

文書化された低可観測性航空機プログラムとベターのより広い解釈。

1 18 1981 年 7 月 — 初飛行

F-117Aは1981年6月18日に初飛行を行った。最初のユニットは1983年10月に初運用を開始した。これらの記録的なマイルストーンは、ベターがはるかに過激な航空機を説明した時代に真のステルス計画を確立しました。

2 ステルスは目に見えないという意味ではありません

F-117プログラムは敵レーダーによる検出に対処した。低レーダーシグネチャは、可視光線で消えるとは異なる特性である。そこで、実際の航空機を目に見える物体として描き、ベターのファントムのコンセプトとは切り離した状態にします。

3 Cover-programme 引数

AL73は、形状、コーティング、電子対策の研究を認めていますが、主により深い秘密のためのカバーと資金として描かれています。その解釈はベターの物語の中心であり、本当のステルス研究の存在は隠れたプログラムを確立しない。

4 1978/サブクラフトプレカー

AL37では、ベターはSubcraftに短縮されたSubmersible Aircraftを記述します。水に着陸し、潜水し、水中を移動し、再び離陸する可能性がある。海と空気を交互に並べることで、密かに接近できるという利点があった。

5 異なる種類の隠蔽

AL57は、サブクラフトが従来のセンシングを回避したが、ソ連のPRFシステムに対して失敗していたと述べています。AL73は、この以前の設計を失敗にしている。我々はそのシーケンスを保持する: 水陸両用マシンと後のフィールドクロークされたファントムは異なる概念である。

6 名前を別々に保って下さい

ファントムはベターのフィールドクロークしたと主張する航空機を意味する。確立されたF-4ファントムIIの指定ではなく、イラストは認証された設計ではありません。F-117、サブクラフト、ファントムは1機の機体にマージされるべきではない。

出典 · AL37; AL57; AL73, 項目 1. USAF Museum: F-117A.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD05 · ページ 2/8

ファントム機とされるものと不可視化の主張

AL73、31 March 1982: 請求されたメカニズム、約束された保護、およびコスト。

1 AL73の新しい武器

ベターはソ連による宇宙奪取疑惑の後に墜落計画が起きた結果、ファントムの軍用機を紹介した。プロトタイプは飛行しており、1982年の夏までに運用艦隊が完成する見込みだと彼は言います。日付の要求であり、検証済みのデプロイメントレコードではない。

2 超伝導磁石

アカウントは、絶対零度に近い冷却された超伝導磁石に中心的な役割を割り当てます。飛行場は、おそらくその航空機を囲む。AL73は口頭で説明しますが、運用上の不可視性システム用の独立してテスト可能なエンジニアリングドキュメントは提供しません。

3 航空機の周りの光が通過

AL73によれば、入射光は、フィールドの周りに分割し、それを超えて再結合し、その後に継続します。レーダー波も同様に振る舞う。私たちの絵の目に見える波紋は、疑惑を示す芸術的な方法です。

4 ボルダイン・アストリーム・アナログ

岩を流れる水を通して、このアイデアを説明します。すると、レーザーと荷電粒子兵器から保護するためにシールドを延長し、中性子に対して別々にシールドします。類推は彼の推論を描き、物理的メカニズムを示さない。

5 価格 — 飛行ブラインド

AL73は、外部光が航空機に届かない場合、コックピットにも到達できません。パイロットは盲目で飛ぶでしょう。これによりベターは慣性誘導と後に無人航空機に重点を置いている。

6 アインシュタイン — 理論とアトリビューション

ベターはアインシュタインの未完成の統一場理論に関するコンピュータ支援の研究を呼ぶ。アインシュタインのオンラインは歴史的統一の試みは失敗したと説明している。アインシュタインの名称を呼ぶと、完成した理論や航空機の視認性装置が得られたという証拠はない。

出典 · AL73, 項目 1. Einstein Online: unified field theory.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD05 · ページ 3/8

目視に頼らない航法

慣性ナビゲーションは本当の技術であり、その疑わしいPhantomアプリケーションは別の主張である。

1 内部見積り

慣性ナビゲーションシステムは、初期化後にオンボードセンサから動作を推定する。風景を継続的に見る必要はありません。だからこそベターは、外光を受信できないと疑われるファントムの答えとしてそれを選ぶ。

2 加速と回転

加速度計とジャイロスコープは補完的な測定を提供する。コンピュータは、開始状態に対する速度、方向、位置を推定するためにそれらを使用します。ジャイロスコープは、地図でも、ターゲット検出器でも、完全なナビゲーションシステムでもありません。

3 リングレーザージャイロスコープ

本物のリングレーザージャイロは、Sagnac効果を通して回転を感知し、密閉された光路の周りの反対方向を移動する光を比較します。ナビゲーションセンサーです。ここでのレーザーという言葉は、武器や外部スキャンビームを意味しません。

4 AL73 が追加するもの

ベター氏は、レーザージャイロは機械式ジャイロを置き換え、ファントムの長距離飛行誘導問題を解決すると述べています。彼はこれを、新たな偵察データの必要性に結びつけている。彼の話では、航空機がどこにあるかを知ることは、その目的地がどこにあるかを知ることとペアになる必要がある。

5 エラーが蓄積する

センサエラーが蓄積すると、実際の慣性推定ドリフトが蓄積される。NASA/JPLは、そのドリフトを制約するために追加の観測値を利用する。より良いセンサーは性能を向上させるが、レーザージャイロの存在はベターの主張の精度やフィールドクローク艦隊を確立できない。

6 AL78 — 無人版

1982年8月、AL78は事前プログラムされたガイダンス付きの無人ファントム航空機を記述した。これはAL73で紹介された物語の後の発展です。資料は、以前のファントムの説明がすべて同一であると仮定するのではなく、進行を目に見えるようにします。

出典 · AL73, 項目 1; AL78. NASA/JPL: inertial navigation; Honeywell: ring laser gyroscope.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD05 · ページ 4/8

赤外線と熱の痕跡

CEIR、熱感知、および後者の文字に記載されている極低温衛星。

1 パッシブセンシング

受動赤外線センサは、観察されたシーンから放射線を受信する。アクティブレンジ装置とは異なり、目標を独自のパルスで照らしません。熱シグネチャの検出、測定範囲、物体の損傷は、異なる機能である。

2 深層赤外線とはどういう意味ですか?

赤外線には複数の波長帯がある。NISTは赤外線および長波熱画像などを識別する。深赤外線というフレーズは、検出器を特定せず、優れた感度も証明しない。引用されたベター節では、関連する名前付きテクニックはCEIRである。

3 ジール — AL72

AL72は、コンピュータ拡張赤外線、発音シーラーと呼ばれる技術。ベターは、感度の高い熱検出により、米国のオペレーターはコスモスフィアを見つけ、高出力レーザーをそれらに向けることができます。検知器は情報を提供し、別個のレーザーは被疑の武器である。

4 要求されたテストの12のjanuary 1982 —

より優れたレーザー攻撃は、この日にニュージャージー州を攻撃し、その後大西洋近くの海に到着する宇宙圏を燃え上がらせる。我々のシーンはAL72のアカウントを表しており、引用されたソースは独立してこの識別や攻撃を確立するものではない。

5 AL79 — 隠すための冷却

AL79は、赤外線のシグネチャを抑制するために液体ヘリウムで冷却された攻撃確認センサー衛星について説明します。ベター氏は、米国のアナリストはソビエトの追跡も赤外線を使用したと誤って仮定したと言います。これは、ミッション記録ではなく、秘密衛星の脆弱性の説明です。

6 名前は仕様ではありません

CEIRはベターの説明では赤外線処理の強化について説明している。遠赤外線波長、ラダー、またはソ連のPRFと自動的に同義ではありません。特定のバンド、計器、測定記録がなければ、これらの名前は交換可能な技術として扱うことはできません。

出典 · AL72; AL78; AL79. NASA: Remote Sensing; NIST: Infrared Imaging.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD05 · ページ 5/8

LADARと「軌道上の要塞」説

AL62はレーザーセンシング、保護シェル、および武装偵察衛星を接続します。

1 1981年2月 ロボットバトルステーション

コロンビアが最初の打ち上げを行う前に、AL62はペイロードベイを意図した軍用衛星を記載している。ベターはそれを自らを防御できる偵察プラットフォームとして表現している。回転するバレル状の機械は、認証済みの宇宙船の図面ではなく、その説明に従っています。

2 3つの保護貝

アカウントは、中央衛星の周りに3つの別々のタングステンシェルを置きます。取り除けるセグメントは、その楽器を公開する。ベターはシェルにビーム攻撃に対する保護的役割を割り当てます。当社のカットアウェイは、検証された寸法やエンジニアリング性能のないイラストレーションモデルです。

3 LADAR はソースのスペルです。

AL62はレーザー方向と範囲としてLADARを展開します。攻撃者を見つけるために開口部をスキャンしたとされる。比較のために、本物のライダーはレーザーパルスを放出し、帰還光を測定する。実証済みのセンシング原理は、この特定の武装衛星を認証しない。

4 センサーと武器は別々に

AL62は、主張される二酸化炭素ガスダイナミックレーザー兵器と検出器をペアリングする。物体を見つけて破壊的なエネルギーを届けることは、異なる仕事です。真空中では、可視赤外線を光る光線として描画するのではなく、不活性開口を示す。

5 STS-1 — 文書化されたペイロード

NASAのSTS-1の記録では、コロンビアのペイロードベイにある開発飛行計器箱が描かれている。1981年4月 - 軌道飛行試験。文書化されたペイロードは、AL62が展開すると予測した武装ステーションとは異なります。

6 なぜこれはdossierに所属するのか

このエピソードは、ベターのアメリカ軍兵器庫で発見された同じ3つの問題を結びつける:情報を取得し、ソ連の探知を生き延び、ビーム兵器を撃退する。引用されたミッション記録が戦闘ステーションを検証していないにもかかわらず、物語のその位置は明らかです。

出典 · AL62, 項目 1. NASA: Remote Sensing; STS-1 mission history.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD05 · ページ 6/8

ミニットマンTXの鉄道配備説

トラベル・ミニットマン、初期の実現可能性試験、後のピースキーパー鉄道計画。

1 28 ジュン 1980 — TX アカウント

AL55は、移動時間分法と呼ばれるMinuteman TXを、密かに展開された移動式ICBMと記述している。北部州の鉄道に流し、MXに関する議論を転換として描き出すのがよい。展開の主張には、独自の証拠が必要です。

2 名前がここに何を意味するか

TXはベターが使用するとおりに保持されています。公式な拡張や指定は発明していません。彼の話では、カバーされた鉄道車両はソ連への攻撃を目的とした攻撃的なミサイルを運んでいます。対宇宙ミサイルではない。

3 モビリティと監視

AL55は、鉄道路線に沿った移動により発射機を目標にすることが難しくなり、ソビエトの宇宙圏では上空から見張ることになっていると述べています。結果として生じるジレンマは、物語の次の部分を推進する:攻撃の前に監視者を混乱させる必要があると主張している。

4 1960/オペレーティングビグスター

鉄道移動式の分母は、AL55よりもずっと前から研究の対象となった。空軍博物館の記録では、1960年の一連の実現可能性試験としてビッグスター作戦が特定されている。これらの試験の証拠は1980年にベターが運用していたTXの展開を立証していない。

5 1986–1991 — 平和者柵のgarrison

後に鉄道計画が文書化されたが、1986年12月に大統領の承認を得た。開発は1991年に終了し、アメリカ空軍博物館で試作車が現存している。ピースキーパー計画は、ベター氏のTX主張とは異なる日付とミサイル計画に属している。

6 離れる3つの歴史

実現可能性に関する試験、秘密の展開、そして後の開発プログラムは、3つの異なるものです。鉄道写真は、それらを接続できる前に追跡可能な日付と出所が必要です。外見だけでは、貨物やミッションを特定するには不十分です。

出典 · AL55, 項目 1; AL60. USAF: Operation Big Star; Peacekeeper Rail Garrison.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD05 · ページ 7/8

コスモスフィアへの対抗手段とされるACM

TXとACMは後者のアカウントで異なる役割を持ち、Project Zに供給される。

1 AL60 — 第二の鉄道車

AL60はTXに2台目の車両、アンチコスモスフィア・ミサイル(ACM)を追加した。ベターは、同社の車両は外側から見たTX車に似ているが、別のミサイルを運んでいると言う。区別は、同じ武器の2つの名前だけでなく、機能に関するものです。

2 要求されたイオン化の効果

ベターは、上層大気のコスモスフィアを乱すためのコバルトイオン化爆弾と呼ばれる装置をACMに割り当てている。これは歴史的主張と関連している。文字は、デバイスまたはその主張された効果を確立する独立した測定値を提供しません。

3 開口部としての破壊

アカウント内では、一時的な混乱は、個別のTXストライキの開口部を作成することを意味します。AL78は、起爆を電磁パルス効果と関連付ける。実際の物理現象の命名は、提案された反宇宙圏システムを検証するものではない。

4 AL60でカウンタ移動。

ベター氏は、ソ連の乗組員はACMを追いかけるのではなく、TX空母を攻撃することで対応できると述べています。彼の物語は、したがって、監視、破壊、脆弱性のコンテストを説明しています。イラストは、それを検証済みの戦闘イベントに回さずにその関係を示しています。

5 プロジェクト z — 戦略的接続

AL73は、ファントム航空機をプロジェクトZに配備し、核戦争計画:開始、離脱、支配という3段階計画であると主張している。AL78はファントム、センサー、ACM、TXをより密接に接続します。これはベター氏の戦略的な話であり、米国の認証された運用計画ではありません。

6 人間に関する質問

ベターは、これらのシステムを、民間人の脆弱性と壊滅的なエスカレーションに関する警告として提示する。彼の議論を理解するには、技術的な語彙と証拠の限界の両方が必要である。最終的な比較では、ドキュメント化されたテクノロジと、氏が割り当てた特別な用途を区別する。

出典 · AL60 (30.11.1980); AL73, 項目 2; AL78 (27.08.1982).

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD05 · ページ 8/8

技術と主張の比較

用語と役割。文書化された原則は、請求されたすべてのアプリケーションを検証するものではない。
文書化された用語集 — コンテキストペテロ・ベターの主張
F-117などのステルスレーダー回避機が記録されている。[J]
AL73は、より過激なプログラムのカバーとして公共のステルス研究を解釈します。[F]
ファントム・アインシュタインの歴史的統一の試みは、ここで呼び出された完成理論を導いていない。[L]
AL73は、航空機の周りの光とレーダーをリダイレクトするフィールドを主張します。検証されたデバイスはここに確立されていません。 [F]
慣性測定から推定されるインナーは、誤差を蓄積します。[M]
AL73は、盲目的に飛行したとされる機体に慣性誘導を割り当てる。[F]
レーザージャイロ。リングレーザージャイロは回転を測る装置であり、標的を追尾するレーザーではない。[いいえ] [N]
AL73は、レーザージャイロはファントム誘導問題を解決すると主張している。[F]
CEIR赤外線センシングとコンピュータ処理は本物です。特定の検出器は独自の仕様を必要とします。[O, P]
AL72は1982年1月12日に宇宙圏の熱検出とレーザー攻撃を主張している。[E]
LADARライダーは、発光レーザー光とその帰還をセンシングまたは範囲に使用します。[O]
AL62は、軌道ステーションの検出器LADAR、レーザー方向、および範囲を呼ぶ。[D]
STS-1 NASAはコロンビアのペイロードベイで飛行試験の計器を記録。[Q]
AL62は最初のシャトル飛行で武装したシールド付き偵察衛星を予測している。[D]
1960年のTXレールの実現可能性テストと後のピースキーパープロジェクトは、明確な記録である。[R, S]
AL55は1980年に秘密裏に鉄道車両をミニットマンに配備した。[B]
ACM ここで引用された情報源は、この反宇宙圏システムを独立して確立していません。
AL60はACMに別の役割を割り当てます:TXが使用される前にコスモスフィアを一時的に破壊します。[C]
プロジェクト2 手紙には、認証済みの米国の作戦計画ではなく、ベターのアカウントが記載されている。
AL73とAL78は、疑わしいシステムとより広い核戦争シナリオに加わります。[F, G]
このページを読んでみる方法
ラベル [A] - [S] はPDFに添付されているSources.txtを参照し、ZIPに含まれています。AL = 音声書簡; INS = 慣性ナビゲーションシステム。我々はハードウェア、物理原理、著者の解釈、特定のデプロイメントの証拠を区別する。

出典 · selected passages, AL37–79; USAF, NASA/JPL, NIST, Honeywell, Einstein Online.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

SD06 · ページ 1/8

ベターが語るロックフェラー派

三つの派閥の関係図

トリオ06-08 •歴史的文脈、俳優、そして権力のシフトの疑惑。

この概要はベターのアーカイブに記載されている3つの競合グループを示しています。3つの州や3人ではありません彼らは、個々の検証を必要とする主張である隠れた権力闘争の著者のモデルを形成する。

06

ロックフェラーのファクション

この論文では

銀行、業界、財団の4人の兄弟。それらに巨大な電力ネットワークのより良い属性調整コマンド。

07

ピーター・ベターの「ボルシェヴィク」

次の資料

彼の話では、元クレムリンはロックフェラーズの同盟者であり、後に彼らを失脚させ、反対した。ラベルは、その通常の歴史的意味とは異なります。

08

「新しいクレムリンの定規」

三部作

ソ連の新しい指導者が「ボリシェヴィキ」を置き換えたと主張する。ベターはこれを、以前の同盟と独立した戦略と休憩に割り当てている。

ストーリーの関連性の変化

ロックフェラーズ+「ボリシェヴィキ」:以前の同盟→破滅と競争の疑い。「新支配者」対「ボリシェヴィキ」

クレムリン族の争いを訴えましたロックフェラーと「新しい支配者」:軍事的および政治的対立の疑い。

トリロジーを読む方法

ドキュメント:日付、官公庁、機関記録。BETER'S CLAIM:秘密の意図と操作の説明。編集コンテキスト:これらの層の比較。A] – [M] はPDFに添付されているSources.txtを参照し、ZIPに含まれています。 [A]

出典 · [A] Bird’s-Eye View; [B] AL36; [C] AL42. Mapa / Map: editorial synthesis.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD06 · ページ 2/8

石油事業から一族の繁栄へ

3世代: 文書化された家族の歴史と後で解釈。

1 1870: 標準的なオイル

ジョン・D・ロックフェラー・シニアと彼のパートナーは1870年にスタンダード・オイルを組織した。石油精製と流通は、家族財産の経済基盤を提供しました。[D]

2 1882年:信頼

スタンダード・オイル・トラストは1882年に企業利益を連結した。その規模は産業史に記録されており、ベターは後にこれを世界大国の基礎と解釈した。[D, A]

3 1911年: 独占禁止

1911年に最高裁判所はスタンダード・オイルの解散を命じた。ベターは、その後の企業分離は統一された支配を隠蔽したという主張は、裁判所の発見ではなく、追加的な主張である。[D, A]

4 ウェルスとフィランソロピー

ロックフェラー・シニアは慈善家として有名になった。寄付は永続的な制度を作り出しました。それらの存在は資源と影響を文書化する; それ自体が隠された命令鎖を確立するわけではない。[D]

5 第2世代

ジョン・D・ロックフェラー・ジュニアとアビー・オルドリッチ・ロックフェラーには、アビー、ジョン3世、ネルソン、ローレンス、ウィンスロップ、デイヴィッドという6人の子供がいた。家族はベターの4人組の指導者集団よりも大きかった。[E]

6 家族 紫 事実

音声書簡36と42では、ベターは4人の兄弟を世界的なカルテルの調整されたリーダーシップにします。これは彼の解釈的枠組みであり、家族の中性の定義ではない。[B, C]

出典 · [D, E] Rockefeller Archive Center; [A, C] Beter

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD06 · ページ 3/8

四人の兄弟とそれぞれの役割

ベターの説明で割り当てられた役割のほかに、公開伝記。

1 インナーグループ

ベターはジョン3世、ネルソン、ローレンス、デイヴィッドと繰り返し名前を付ける。弟のウィンスロップをこの内面から除外する。選択は、彼の派生物モデルを反映しており、家系図全体を反映しているわけではない。[C]

2 ジョン d. ロックフェラーIII

ジョン3世は人口評議会、アジア協会、リンカーンセンターの設立に貢献した。ベターはアジアとアフリカの基盤と影響力を通じて調整を割り当てます。公的機関の役割は、その広い指揮権を証明しない。[F, A, B]

3 ネルソン・ロックフェラー

ネルソンはニューヨーク州知事および副大統領を務めた。ベターは彼をラテンアメリカと情報機関の責任者として、大統領の職を追及した。[G, A, C]

4 ローランス・ロックフェラー

ローレンスの文書化された仕事はベンチャー投資と保全であった。ベターはこれを、航空宇宙、防衛、航空会社、株式市場全体で主導的な役割に拡大する。二つの記述は異なる明快な状態を持つ。[H, A]

5 デビッド・ロックフェラー

デヴィッドは1969年にチェイス・マンハッタンの会長兼CEOとなり、1981年に引退した。ベターはより広い銀行と情報機関の役割を割り当てる。銀行のリーダーシップは文書化されており、秘密の命令を主張するには、別の証拠が必要である。[I, A]

6 レベルを区別する

親戚、信託人、ビジネスパートナー、そしておそらくは協力者も、それぞれ違う関係にあります。この文書は、ベターと人と機関のつながりに従って、これらのカテゴリを分離します。

出典 · [A–C] Beter; [F–I] Rockefeller Archive Center

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD06 · ページ 4/8

影響力はどう描かれたか

所有権、機関的なリーダーシップ、および隠れた調整の主張。

1 産業資本

石油富が歴史的な出発点です。より広い企業ネットワークを、1つの協調カルテルとして扱う。請求の追跡には、各企業と期間の所有権記録が必要です。[D, B, C]

2 銀行の連絡先

デビッドの国際銀行業は、幅広いビジネス上の連絡先を提供しました。コンタクト、ファイナンス、および運用管理は、明確な提案であり、会議または融資だけでは、秘密派に従順を確立しません。[私は] [I]

3 財団について

音声書簡36は教育と政治を再構築するための道具として主要な基礎を描いています。これがベターの主張です補助記録と受託者任命は、提案されたシステム全体を証明することなく、特定の関係を文書化する。[B]

4 文化とアジア

ジョン3世の著作には、アジアを中心とした文化交流や制度が含まれていた。より優れたパワーのための闘争の枠組みを通してそのような活動を読みます。公的な使命と主張される秘密の目的は別々に検討する必要があります。[F, B]

5 政策フォーラム

デイビッドは外交評議会の議長を務め、1973年に三国間委員会の創設を援助した。このようなフォーラムはエリートネットワークを文書化する。彼らの存在は、世界統一政府を示さない。[I, J]

6 制御を確認するには?

日付指示、決定記録、取引、独立した裏付けを探します。同様の関心は協力を説明する可能性がある。ベターが説明する集中型のコマンドを自動的に確立することはできない。

出典 · [B, C] AL36/42; [D, F, I, J] institutional histories

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD06 · ページ 5/8

1974〜1975年：対立の始まり

金、大統領継承、そして最初の主張はカルテルの亀裂を主張した。

1 音声書簡フレーム

1975年7月15日付のオーディオ・レター2では、ベターは4人の兄弟が握力を失うと主張している。彼は、予定を混乱させる力として、彼らの計画を公開します。[K]

2 フォートノックス

ミントは1974年9月23日に議会検査を行い、翌日から監査を開始すると発表した。金の盗みと、目に見えない中央高架橋を隠していたと、ベターは主張した。彼の主張は検査記録とは別である。[L, K]

3 デバイス優先度

ニクソンが辞任した後、フォードは大統領に就任した。ネルソン・ロックフェラーは1974年12月19日、修正25条の成立により副大統領宣誓を行った。これらの出来事は、周囲の物語を盛り上げます。[M]

4 新たな憲法を疑った

ベターは、米国の憲法命令を独裁政権に置き換える計画だと主張している。音声書簡2は経済の混乱とネルソンの野望をその計画に結びつける; 独立した検証を提供していない。[K]

5 戦場としてのメディア

より優れた評価は、制御されたメディアシステムが弱まっていることを示す兆候として解釈される。編集上の批判は観察可能である; 事前集中的なコントロールの主張は、批判そのものを超えて証拠を必要とする。[K]

6 期限を逃したと主張

1975年7月、ベターはネルソンが6月までにフォードを置き換えるつもりだったと語っている。フォードの大統領の継続は、その物語の後退となる。疑わしい期限が切れたとしても、計画が存在することは確定しない。[K]

出典 · [K] AL02, 15 July 1975; [L] U.S. Mint; [M] U.S. Senate

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD06 · ページ 6/8

1976〜1979年：同盟の崩壊

ベターの逆転の連続は、文書化された死を別々に識別した。

1 秘密の同盟?

ベターはクレムリンとのロックフェラー同盟について「ボリシェヴィキ」と記している。そして、新しい指導者が同盟国を取って代わったと主張する。これらの分類は彼の物語に属し、ソビエトの継承の標準的な説明ではありません。[B, C]

2 水中ミサイル危機

音声書簡36は、1976年のソ連水中ミサイル危機を兄弟の軍事裏切りとして思い出させる。ベターの主張では、これは独立して確立された冷戦エピソードではなく、リンクである。[B]

3 空間ウォード接続

文書の概要は、1977年の収穫月の海戦と関連している。これは派集三部作と資料 04 を結びつけるものであり、共有物語は独立した相関ではない。[A]

4 1978年7月10日

ジョン・D・ロックフェラー3世は自動車事故で亡くなった。音声書簡36は、彼の損失を兄弟の調整に激しい打撃と解釈します。死とベターの政治的解釈は異なる主張である。[F, B]

5 1979年(昭和27年)26年

ネルソン・ロックフェラーは1月26日に亡くなった。彼の記録記録には心臓発作が記録されている。音声書簡 42では、ベターは隠された撮影を主張する。ここでレビューされた資料は、その主張を独立して証明していません。[G, C]

6 残り2

音声書簡42では、デイヴィッドとローレンスが、弱体化したリーダーシップユニットの生存者として紹介される。ヘンリー・キッシンジャーがネルソン役を演じるかもしれないと推測している。これはベターが提案していた継承であり、定員の任命ではない。[C]

出典 · [B, C] AL36/42; [F, G] historical biographies

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD06 · ページ 7/8

没落のあとに何が残るか

時代を越えた家族ラベルではなく、変化する主張として派生物を読みなさい。

1 2つの異なる質問

公には何を行ったのでしょうか?ベターはどのような秘密調整をしますか?伝記は最初の質問に答える; 2つ目は、疑わしい手術に固有の証拠を必要とする。

2 公共の成功

1977年1月、ネルソン副大統領が任期を終え、ウォルター・モンデールがそれに続いた。ベターの秘密権力の変化に関する話は、その世襲と並行して進行するが、公式の移行は秘密のアカウントを検証しない。[M]

3 同盟はライバルになる

アーカイブの概要では、兄弟は後に彼らを背負った「ボリシェヴィキ」の味方を失って歓迎したと述べています。この逆転は資料07を動機付ける。ラベルはベターの派派生物の疑いにちなみ、国籍や宗教全体を指すものではない。[A]

4 ネットワークは人を生き残せる

概要では、カルテルは兄弟の直接指揮権の喪失と後の再編成を生き残る。銀行や財団の継続的な存在と、この秘密の連続性が疑われる証拠とを比較しないでください。[A]

5 文脈でタイトルを読む

1973年のジョン3世による著書『第二アメリカ革命』は、社会の変化と官民間の協力に関するものである。ベターは革命的な陰謀の枠組みの中でその句を扱います。共有フレーズは共有の意味を確立しない。[F, B]

6 次へ: 資料 07

次の巻は、ベター派が「ボリシェヴィキ」と呼ぶもの、すなわち、その起源、同盟の変遷、そして歴史的ボリシェヴィキとの区別である。資料08は彼の「ニュークレムリン・ルール」を調べます。

出典 · [A–C, F, M] archive overview, AL36/42 and historical records

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD06 · ページ 8/8

出来事と解釈の年表

イベントの日付は、その疑わしい原因を自動的に証明しません。

日付イベント — レコード解釈 — リンク

1870–1882 · 標準的なオイル;信頼の形成。 [D] 家族の歴史経済基盤。

1911 · 裁判所の命令の標準的なオイルの分解。 [D] ピーター・ベター: 統一された力は味方された主張します。 [A]

1973 · 三国間委員会; John III の本。 [J, F] フォーラム、本、秘密の計画の主張を区別する。

1974-09 · 金の点検および監査を発表して下さい。 [L] ピーター・ベター: 隠されたボルトと金の盗難。 [K] [K]

1974-12-19 · ネルソンが担当社長に就任。 [M] ピーター・ベター: 優先権を得るためのステップ。 [K] [K]

1975-07-15 · 音声書簡2の日付。 [K] ピーター・ベターは、兄弟の力で初期の亀裂を報告します。

1976–1977 · 同盟の中断の期間。水中危機と収穫月:ピーター・ベターの説明。 [A・B] [A, B]

1978-07-10 · John IIIは車のクラッシュで死にます。 [F] AL36: 損失は兄弟の調整を弱めます。 [B]

1979年1月26日　ネルソン・ロックフェラーが死去。伝記は死因を心臓発作としている。[G] ベターはAL42で、ロックフェラーは銃撃されたと主張した。[C]

1979-01-31 · 音声書簡42の日付。 [C] ピーター・ベターは、弱くされたリーダーシップと可能な成功について説明しています。

次の資料の質問

ベターは、疑わしい同盟国をライバルに転換した理由をどう説明するだろうか?資料07は彼の「ボリシェヴィキ」派、レーベルの起源、そしてその権力基盤のシフトを調査する。このタイムラインはソース読み込みをガイドします。秘密操作を検証しません。

出典 · [A]–[M]: Sources.txt — úplné odkazy priložené / full references attached.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

SD07 · ページ 1/8

ベターのいう「ボリシェヴィキ」
歴史上の名称から物語の中の派閥へ

第三部 06-08/パート2: 人、用語、同盟の交換。

ベターは「ボリシェヴィキ」と言うと誰を意味するのですか?この文書は、ロシア革命党から、ワシントンとクレムリンとの紛争に影響を受けたと主張される秘密グループへの意味の変化に従っている。

1

歴史ある動き

1903 / 1917

レーニンの政治派生物とその後のロシアにおける権力の奪取。この層は、歴史的記録と機関を通して検査される。

2

ピーター・ベターのネットワーク

起源と同盟

アーカイブは、グループにクロスナショナルの継続性とロックフェラー同盟を属性としている。そのアイデンティティは、民族や宗教全体に対して割り当てることはできない。

3

アレグのアメリカ人の事実

1978–1982

ベターの物語では、味方の失脚がアメリカで勢力を握り、ロックフェラーに対抗し、クレムリンのライバルと戦争を計画した。

この資料の物語のアーク

クレムリンとの戦い→アメリカ権力圏への参入→ロックフェラーとの対立→反撃と戦争の延期が主張される。これはベターの説明にあるシーケンスであり、秘密のイベントの確立されたシーケンスではない。

ソースの2つの層

音声書簡sとアーカイブの概要はベターが主張しているものを示しています。歴史的および公式記録は、日付、人々、および公共イベントをチェックするのに役立ちます。それ自体は隠れた原因を証明しません。参照[A]-[W]はPDFに添付されているSources.txtにリストされ、ZIPに含まれています。

出典 · [A–H, I] Beter archive / historical terminology. Prehľad / Overview: editorial synthesis.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD07 · ページ 2/8

同じ言葉をめぐる二つの歴史

ボリシェヴィキとベターの後の党派ラベル。

1 1903: パーティの分割

1903年にロシア社会民主労働者党に分裂したボリシェヴィキの名前が由来である。レーニンの党首は、厳格に組織された革命党を支持した。名称は政治的な名称から始まった。[私は] [I]

2 レニンと革命

レーニンは1917年にボリシェヴィキを主導した。しかし、ベターの後の説明では、同じ名前が、元の革命世代よりもずっと早く動作する秘密ネットワークを識別している。[I, B]

3 1917年(昭和19年)10月

ボリシェヴィキは暫定政府を破った。支配の固めには民事紛争と抑圧が含まれていた。この記録的な闘争は歴史的背景を与えており、ベターの後の超国家派を確立させるものではない。[J]

4 スタリンと集中化

スターリンの下では党派国家の支配、パージ、強制が拡大した。ソ連の文書記録には、これらの機関とその犠牲者が記録されている。単に変化しない秘密グループの話に置き換えることはできません。[J]

5 1956年:デ・スタリン化

1956年2月25日、フルシチョフはスターリンを党大会で非難した。ベターは後にスターリン期後のより深い派生物変容の証拠として扱う。スピーチそのものが、より狭い歴史的事実を立証する。[K, B]

6 意味の変化

この文書がベターの「ボリシェヴィキ」と書いているとき、それは彼の疑わしい派生物を意味する。全てのソビエトの公務員、共産主義者、ロシア人、移民、または宗教コミュニティのメンバーを意味するものではありません。

出典 · [I] Britannica; [J] Library of Congress; [K] NARA; [B] AL28

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD07 · ページ 3/8

アーカイブに見る起源の物語

ソースは、クレームを証明することなく、クレームされたものを文書化することができます。

1 レトロスペクティブな概要

アーカイブの「バード・アイ・ビュー」では、ベターの物語を3つの派生物を中心にまとめている。2番目のラベルは「ボリシェヴィキ・シオニスト公理」である。公文書の分類は、制度上の名前ではなく、公文書の分類である。[A]

2 1917年の2つのイベント

ロシア革命とバルフォア宣言を結びつける。イギリスはパレスチナのユダヤ人の国営住宅を支持すると表明した。同年の彼らの発生は共通の方向性を確立していない。[A, L]

3 財務・政治

概要は、両方の動きの起源をロスチャイルドの利益に帰し、ロックフェラーの力と結びつけている。この包括的な共通起源主張は、特定の財政的および組織的証拠を必要とします。[A]

4 ハザール物語

中世カザリアから近代的な秘密政治への連続性も示唆している。中世の人口の歴史は、現代のユダヤ人、共産主義者、シオニストの動機や集団的罪悪感を確立することはできません。その連続性はここでは証明されていない。[A]

5 神話の歴史

アメリカ合衆国ホロコースト記念博物館は、ユダヤ人と共産主義を同一視する反ユダヤ陰謀論神話として「ジュデオ・ボリシェヴィズム」を記録している。歴史は、後の政治文書で同様の集団的告発を評価する際に重要である。[M]

6 人々は、単一の空白ではありません

ユダヤ人、イスラエルの市民権、シオニズム、ソビエトの市民権、共産主義の所属は、異なるカテゴリーです。責任は、識別可能な俳優と行動に属し、継承されたアイデンティティではありません。この区別はイラストも導く。

出典 · [A] Bird’s-Eye View; [L] Balfour Declaration; [M] USHMM

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD07 · ページ 4/8

モスクワからワシントンへ？

追放の疑いと以前の同盟の崩壊。

1 1953年 旋回点として

音声書簡28では、スターリンの死後、ベターはライバル党の台頭を追跡している。彼は、勝利者と主張される者を「霊的共産主義者」と呼び、政治的組織と宗教的アイデンティティを結びつけている。[B]

2 スピーチが示しているもの

1956年のスターリンの非難は文書化された。ベターはこれを、別の与党グループの兆候と捉えている。文書化された政策シフトから隠れた宗教的買収に移行するには、追加の証拠が必要である。[K, B]

3 brezhnev-era クレーム

ベターの1977年11月の記録では、クレムリンのリーダーシップはナショナリストであり、もはや国際的なパトロンに従わなくなったと描写されている。これは彼のソビエト政策の説明であり、その月の政府の変更は公文書化されていない。[B]

4 エミグレーションは証拠ではないです

音声書簡 40は、移動中の「ボリシェヴィキ」を追放されたカドルとして描写している。米国の外交記録は、ソ連の移民制限と貿易に関する論争を文書化する。移民はソ連を去ったからといって秘密工作員に分類することはできない。[C, N]

5 アライアンスが進む

ベターによれば、この失脚した集団はアメリカ国内で同盟国に入り、ロックフェラー兄弟から権力を握った。この動きは、彼の2つの超大国物語を米国内の紛争に転換する。[C]

6 宇宙戦リンク

1977年9月の収穫月の敗北は、米国のレバレッジの決定的な損失として扱われる。資料03と04は物語をカバーしており、文字を繰り返すことは独立した裏付けを与えない。[B, C]

出典 · [B] AL28; [C] AL40; [K] NARA; [N] FRUS emigration records

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD07 · ページ 5/8

1979年：新たな「四人組」

名前付きオフィスホルダーとそれらに関する別々の疑惑。

1 28 フェブルリー 1979

音声書簡43はロックフェラーの指導者が解任され、即興で4人制の集団が政府を支配していると主張している。ベターはこのグループを「4人からなるアドホックなギャング」と呼んでいる。買収の申し立てはここでは確立されていない。[D]

2 Zbigniew brzezinski(ジビノイド・ブレジンスキー)

カーターの国家安全保障顧問。ベターは彼を4人の指導者と疑われる人物に据える。文書化された外交政策チームには、サイラス・ヴァンス国務長官を含む他の主要人物も含まれていた。[D, O]

3 W. マイケル・ブルーメンタール

1977-1979年、財務長官。ベターは、彼のビジネス背景を、想定される電力ネットワークにリンクします。財務省の伝記は資本主義と民間政策を記述しており、ソビエトの国家社会主義と単純な識別を複雑にしている。[D,Q]

4 Harold ブラウン

公職:防衛長官、1977-1981、科学および防衛研究のキャリアを持つ。ベターは、核ファーストストライクアジェンダへの参加を主張する。国防庁は、疑惑の派に加盟を確立できない。[D, P]

5 ジェームス・シュレッサー

公職:最初のアメリカエネルギー長官、1977-1979、CIA長官および国防長官。より良い中央規制を彼の想定のグループへのリンクにします。これらのキャリア事実と事実解釈は、区別され続ける必要がある。[D, R]

6 異なるパワーベース

ベター氏は、この新4人はロックフェラー兄弟の私立コーディネーティングネットワークに欠けていると言います。彼の話では、彼らは計画は引き継ぐが断片化される。共有オフィス、メンバーシップ、または知人だけでは、彼が提案するコマンド構造を証明することはできません。[D]

出典 · [D] AL43; [O–R] State, Defense, Treasury and Energy records

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD07 · ページ 6/8

外交、ガイアナ、バチカン

いくつかの設定は派生物の物語で繰り返される;それぞれに独自の証拠が必要である。

1 SALT II(ソルトII)

密戦計画を通じて武力協議を解釈する。1979年6月18日、カルターとブレジネフがSALT IIの契約を締結し、批准はされていない。条約記録と隠された目的ははっきりしている。[B, S]

2 キャンプダヴィッド

カーター、サダット、ベギンは1978年9月17日にキャンプ・デヴィッド協定に加入した。ベターの以前の証言では、サダトの外交は戦争への道である。符号付きフレームワークは、その解釈を評価する上で不可欠な文脈である。[B, T]

3 ガイアナ — ジョーンズタウン

音声書簡40は、ソビエト連邦のミサイル基地と、ジョーンズタウンの後ろにあるアメリカとイスラエルの軍事作戦を主張している。FBIは、ジム・ジョーンズ氏の集団に関係したレオ・ライアン容疑者と大量死を記録。秘密裏に主張されていることは、ここでは証明されていない。[C, U]

4 バチカン

音声書簡42は、反ロシア計画に奉仕する「俳優教皇」を主張する。バチカンの伝記は1978年10月16日のカロル・ヴォイティワの選挙を記録。代用法王の主張に対する支持は提供されていない。[W, V]

5 中東接続

1982年までに、ベターはレーガンとベギン政府を戦争戦略と関連付けている。これは、名前付き政治指導者に関する告発であり、アメリカ人、イスラエル人、ユダヤ人に一般化してはならない。[G]

6 一つのストーリー、別々のケース

外交協定、刑事捜査、教皇選挙など、さまざまな記録が必要です。ある物語にそれらをリンクしても、別の物語の根拠になるわけではありません。Guyanaは、独自のDossier 10を受け取る。

出典 · [B, C, W] AL28/40/42; [S–V] treaty, diplomatic and institutional records

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD07 · ページ 7/8

1979〜1982年：対抗策と限界

ダブルス、プロジェクトZと開始しなかった戦争の説明。

1 ダブルスの戦争

1979年5月、音声書簡46は有機ロボットを党派闘争に導入した。ベターは4人の役人の交代を主張する。これらの生物学的代替物は、資料01で別々に調査された彼の未検証の説明の一部である。[E]

2 クレムリンのカウンターフォース

ベターは、ロシアの情報と代替作戦を、アメリカ軍の戦争計画の障害として描いている。彼の主張するモスクワの保護的役割は、秘密操作の解釈であり、引用されている歴史的記録によって確立された発見ではない。[E]

3 1982年 新規アライメント

音声書簡79は、ロックフェラー=クレムリンがアメリカ派に限定した協力を思い出させる。このモデルでは、昨日の対戦相手は、共通の敵に対して調整することができます。主張は文書化された外交協定ではない。[G]

4 プロジェクト z

音声書簡73では、開始、退廃、支配という三段階の核戦略が想定されている。疑わしい「ファントム」機が資料05と接続している。写本はベターの説明を文書化しており、プログラムの動作証明ではない。[F]

5 1982年9月

ベター氏は、9月17日に予定されている攻撃は中止されたと話す。音声書簡80では、国内情勢への転換について記述しています。秘密に防止されたイベントとして非イベントを説明するには、独立した証拠が必要である。[G, H]

6 次: 新しいクレムリン

資料08は第三派に従った:その宗教的起源、ソビエトのリーダーシップ継承と戦略的な役割を主張する。共用年代記では、公的な歴史とベターの説明の区別を維持しながら、3つの論文をすべて比較します。

出典 · [E–H] AL46/73/79/80; editorial comparison

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD07 · ページ 8/8

ベターの説明はどう変わったか

歴史的背景、音声書簡の日付と検証のための質問。

日付・出来事と出典・意義または主張

1903 · Bolshevikのラベルは現れます。 [I] 民族的なカテゴリではなく、政治的な事実。

1917 · ロシアにおける電力の清流。 [J] 後続のカスタット接続は、別々の証拠を必要とします。

1953–1956 · スタリンの死; Khrushchevのスピーチ。 [K] ピーター・ベターがライバル・アクション・ストーリーに組み込まれています。 [B]

1977-11-21 · 音声書簡28の日付。 [B] クレムリンの「スピリチュアル・コミュニスト」の主張。

1978-11-30 · 可聴周波手紙40の日付。 [C] 軍の話としてガイアナの疑惑の転置。

1979-02-28 · 音声書簡43の日付。 [D] ピーター・ベターがアメリカの「4つの新しいギャング」と名付けました。

1979-05-28 · 音声書簡の日付 46. [E] 有機性ロボットが闘争に入ります。

1982-03-31 · 音声書簡の日付 73. [F] 三相プロジェクトZの説明。

1982-09-30 · 音声書簡の日付 79. [G] 9月17日攻撃の拒否

1982-11-03 · 音声書簡80の日付。 [H] 主張された国内ターン; クレムリンのストーリー展開が続く。

さらなる研究が確立しなければならないことは何ですか?

誰が特定の指示を出しましたか?現代の文書には何があるか?独立した認証はありますか?公職、個人的な背景、および物語の繰り返しは、そのような証拠の代用品ではありません。資料08はこの鎖をベターの「ニュークレムリン・ルーラーズ」と比較する。

出典 · [A]–[W]: Sources.txt - úplné odkazy priložené / full references attached.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

SD08 · ページ 1/9

「クレムリンの新たな支配者」

クレムリンの壁の内側にいるとされた第三の派閥

トリオ06-08 / 最終部分:起源、戦略、人々との比較。

ベターの「ニュークレムリン・ルーラーズ」とは?彼の話では、隠されたキリスト教の力の輪は古いパートナーを置き換え、ソ連の優越性を彼らのものにします。この文書は、比較できる過去の記録と並んで、この説明に従っている。

1

起源と買収

音声文字 28/38

宗教団体、1917年の同盟、そして3つの段階の闘争が疑われる。スターリンの死とスターリン化は、この記録に隠された重要性を獲得する。

2

地球と宇宙戦略

音声文字38/文脈

宇宙圏、月基地、軌道兵器、戦後の命令が提案されている。金星と星間旅行という野心的なビジョンへとつながっています。

3

特定のテストと合成

1982年11月80日 - 音声文字

アンドロポフの継承は、正確な主張、一般の期待、結果の比較を可能にする。閉会ページは3つの派と、その変化する同盟を結びつける。

この資料の読み方

派生物ラベルはベターのアーカイブから来ています。ロシア人、キリスト教徒、ソビエトの役人などは指定していない。画像は編集上の視覚化であり、描かれた秘密のイベントやデバイスの存在を証明しない。

検証のソースと限界

ベターの写本は彼が主張したことの証である。外部アーカイブ、現代的なレポート、NASAは別々のコンテキストを提供します。時系列マッチは隠れた原因の証拠ではありません。完全な参照[A]-[T]とメモはSources.txtに添付され、ZIPに含まれています。

出典 · [A–E] Beter archive; [F–O] external records; [P–T] trilogy context.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD08 · ページ 2/9

秘密裏に権力が移ったという主張

ベターの原点:信仰、革命、そして3段階のキャンペーン。

1 宗教的な起源

ベターは2世紀以上前のロシア人キリスト教の無名宗派を記述している。秘密の統治組織としてのその存在は、教会の確立されたアイデンティティではなく、彼の主張です。

2 1917バーゲン

彼の説明では、革命の間、これらの「精神的な共産主義者」はボリシェヴィキと同盟し、その後抑圧を可能にしたことを後悔した。この秘密同盟は革命そのものを超えた証拠を必要としている。

3 ステージ1:蓄積された力

AL38は、患者の内部キャンペーンを提示します:徐々に影響力を構築しながら、同盟の中に留まります。ベターはグループの政治的戦略を宗教的償いとして位置づけた。

4 ステージ2:ライバルを削除

ベターは1953年にスターリンの死をライバル派を清算する転換点として扱う。スターリン化は歴史的に記録されており、この隠された命令構造は別の主張である。

5 買収が完了しましたか?

1978年9月のAL38では、ベターはクレムリンの内部サークルと上級軍の階層にボリシェヴィキは含まれていないと述べています。彼はまだ共産主義である機関の事実解釈を提示している。

6 ステージ3:グローバル紛争

彼は、この支配者に、世界規模で宗教的に正当化された戦争をアトリビュートした。説明には、省略レトリックが含まれています。暴力を裏付けるものでも、そのようなプログラムが存在するという証拠でもない。

出典 · [A] AL28; [B] AL38, 項目 1; [I] Soviet archives

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD08 · ページ 3/9

登場人物と割り当てられた役割

誰が本当に支配したのかというベターの説明から、公職を区別する。

1 スタリン: 分岐ライン

ベターの物語では、スターリンの死はライバル党の優勢の喪失を示している。これは、公共の歴史的出来事をはるかに大きな秘密史的主張のヒンジに変える。

2 Khrushchev:可視信号

ベターはフルシチョフのスターリング解除を新党の台頭の兆候と解釈している。政策変更だけでは、それを指示している人々の宗教的な忠誠を識別できない。

3 Brezhnev:オフィスとアレッショナ

AL80は、本当のブレジネフが7年1月1978年に死んだと主張し、ダブルスに置き換えられました。1982年11月10日、彼の死が記録されている。これらの説明は矛盾している。

4 Ustinov: 代表的な内部のリーダー

ベターはドミトリー・ウスティノフ国防大臣にブレジネフの死後の実権を握る。彼の公的な防衛の役割は、この秘密の継承を独立して確立するものではない。

5 ゴルシュコフ:次の名前

AL80は、ウスティノフの後、セルゲイ・ゴルシュコフ提督を隠されたリーダーシップの列に置き、その後に集団支配を行う。これはベターの提案された命令であり、党首の公式な継承ではない。

6 Andropov: 知性とパワー

より良いことは、Yuri AndropovをKGBからライバルのカドルを取り除くことの中心にします。1982年11月に党首として現役を引退したことで、具体的な比較検討ができた。

出典 · [B] AL38; [C] AL80, 項目 3; [K–M] succession records

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD08 · ページ 4/9

支配の手段

主張されている宇宙3つから文書化された軍事宇宙プログラムまで。

1 コスモスフィア

ベターの証言では、球面のプラットホームをホバリングするとクレムリンは決定的な軍事的到達力を得る。写真や工学的な仕様ではなく、芸術的な再現が、この主張の現れです。

2 月面基地

月面基地は、彼の宇宙飛行の別の脚を形成している。派生物の物語は、初期のハーベストムーン・資料と地球外への闘争と結びつけられている。

3 軌道インターセプター

ベターの第3の要素は、武装したコスモスインターセプター衛星である。実際のソビエトの衛星の存在は、これらの主張された能力や彼が説明した秘密の戦いを確立しません。

4 ロボットの代替品

AL46は、有機ロボットをパワー闘争に加える。代替の物語は、内部的にほぼすべての公共の行動を説明することができ、テストには独立した生物学的およびドキュメンタリー的な証拠が必要である。

5 文書化とは

NASAの歴史的記録では、民間人のサリュートステーションと軍事的なアルマーズステーションを区別している。サリュート3号と5号はアルマズ族に属していた。本当の分類プログラムは重要な文脈であり、物語全体の検証ではありません。

6 検証境界

個々の特別な機能について、識別可能なハードウェア、ミッション記録、独立した観察を要求します。軍事機密はギャップを残します。ギャップだけは、競合する可能性よりもベターの説明を選択しません。

出典 · [B] AL38; [D] AL46; [J] NASA, Salyut / Almaz

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD08 · ページ 5/9

戦後の地球と宇宙

AL38の長距離ビジョンは、政治の支配から他の惑星まで及ぶ。

1 瞬間を選ぶ

ベター氏は、クレムリンが勝利を最大化し、自身の損失を最小限に抑えるために戦争を延期すると述べています。彼は紛争後の世界に関する計算を、固定攻撃時刻表よりも重要であると提示している。

2 状態の階層

彼の命令は、世界単一政府ではない。依存国や戦略的従順を通じてソビエト連邦の支配を拡張し、様々なレベルの地方自治を可能にしている。これが彼の予測である。

3 経済更新

AL38は、災害後の民間企業、個人化された農業、精神的な再生を予測します。約束された再生と大量暴力の対比は、ベターの物語における道徳的緊張であり、戦争の正当化ではない。

4 チュンガスカ:2つの説明

1908年の爆発を、不自由な地球外探査機やソ連の宇宙野望と結びつける。NASAの歴史的記録では小惑星の空爆が記述されている。彼の宇宙船の説明は、確立された科学的説明ではありません。

5 Venus: 提案された目的地

AL38は金星を、月を越えた最初の惑星コロニーターゲットと名付けている。NASAは、極度の熱と圧力を説明している。これらのミッションは秘密の決済プログラムを確立しません。

6 銀河の地平線

より優れたものは、いくつかの先進文明への信仰と、将来の星間旅行を支配者に帰結させるものである。宇宙は人類の自己破壊に代わる、約束された代替物となる。これが彼の説明の投機的な地平線だ。

出典 · [B] AL38, 項目 2–3; [N] NASA Tunguska; [O] NASA Venus

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD08 · ページ 6/9

宗教をめぐる主張と記録

宗教活動は観察可能であり、秘密管理は個別の証拠を必要とする。

1 グラデーション・リベラライゼーション?

文書概要は、宗教的発展を、キリスト教指導者が慎重に政策を変える兆候と解釈している。これは公に記録された出来事を、存在が主張されている隠れた動機と結び付ける説明である。ただし、出来事の記録だけでその結び付きが証明されるわけではない。

2 憲法的な言葉遣い

1977年ソビエト憲法第52条は、無神論的な宣伝とともに、良心と宗教的崇拝の自由を認めている。教会と州を分離している。憲法上の言い回しは執行と区別しなければならない。

3 抑圧の記録

ソ連の文書資料は宗教生活の抑圧と監視を文書化する。キリスト教の内輪に関する主張は、すべての制限を単なる迷彩として扱うのではなく、この制度上の記録に直面する必要があります。

4 モスクワのビリーグラハム

1982年5月、モスクワでビリー・グラハムが説教を行った。彼の訪問は検証可能な出来事であり、アーカイブの宗教的変化の解釈に現れます。秘密の支配宗派を識別しない。

5 簡単な画像が少ない

同じ報告では、宗教的囚人の問題を提起する制限と抗議者について記述されている。グラハムの好意的な印象とこれらの制約は同じ歴史的絵画に属する。黙って削除するべきではありません。

6 集団的アトリビューションを避ける

ベターの主張する内輪は、全てのキリスト教徒、全てのロシア人、または教会全体と同等にしてはならない。人の信条や国籍は、秘密の政治組織に参加する証拠ではありません。

出典 · [E] Bird’s-Eye View; [F–H] religion records; [I] Soviet archives

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD08 · ページ 7/9

1982年11月：検証可能な事例

予測とイベントがどこにあるかなど、正確なクレームと日付を比較します。

1 AL80の日付

文書化は1982年11月3日で、アンドロフが公の指導者となった。元の流通を検証することは、事前の出版の主張を強化する。

2 退職予測

ベターは、実在の男がすでに何年も前に死んだと主張しながら、ブレジネフの秩序ある自発的な引退を予測している。これらは明確な主張であり、後継者の命名とは別に評価しなければならない。

3 実際に続くもの

1982年11月10日、ブレージネフは死去した。11月12日、アンドロポフは総務大臣に就任した。文書化された移行は、AL80の自発的な退職予測ではなく、死後のものである。

4 すでに公開コンテンダー

UPIは1982年5月30日、アンドロポフが世襲候補として広く注目されていると報告した。したがって、11月に彼を命名することは、それ自体では、秘密の統治評議会へのアクセスを示すものではありません。

5 記録の外交

11月15日の会議記録では、アンドロポフがアメリカ代表団と連続性と関係について議論している。ベターの宗教的指揮体制ではなく、実際の外交上の遭遇を記録している。

6 3つのファクトレーション、アライメントの変更

AL79-80では、ベターのアカウントは、攻撃を中止し、Project Zの優先順位をシフトさせると仮定されている。

出典 · [C] AL80; [K–M] succession; [P–Q] AL73 / AL79

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD08 · ページ 8/9

変化するモデルの中の三派閥

この表のすべての派生物の特徴は、ベターの説明を要約している。

ロックフェラーズ・ピーター・ベターの「ボルシュヴィクス」新クレムリン・ルーラー

欧米の金融、企業、政治ネットワークを基盤とする。

全国ネットワーク(英語版) - 後にアメリカに進出した。

国と軍事の指導力の中でロシアの宗教的サークルを疑わしい。

ツールファイナンス、経済的なつながり、政治的影響、秘密協定。

潜入、制度的管理、戦争計画の疑惑。

宇宙の優越性、知性、ロボティクス、戦略抑止力。

目的 自身のパワーブロックの主導的な位置を保持または復元します。

クレムリンのライバルを破り、元客よりも優越性を得る。

ライバル派を排除し、ロシアの戦略的支配を確立します。

結びつき

ソ連の同盟が破滅したと疑われ、後に戦争に対する協力は限定された。

ロックフェラーの仲間から独立のライバルへ。

内部共存からライバルの追放まで。

アライアンスは永続的なアイデンティティではありません

各音声書簡の日付を追跡します。ある段階で協力するグループは、後で互いに反対する可能性があります。AL79は戦争計画に対する限定的な収束について記述しており、これは全ての目的に対する合意を意味するものではない。

検証: 各接続には、特定のドキュメント、アクタ、日付、独立した認証が必要です。この表は、世界の証明された秘密組織ではなく、物語をマッピングします。

出典 · [B–E, P–R] / editorial synthesis of dossiers 06–08.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

SD08 · ページ 9/9

三部作に共通する年表

歴史的マイルストーンと請求日は、各行で区別されます。

日付・出来事と出典・意義または主張

1917 · ロシアにおける電力の革命と発作。 [S] ピーター・ベターがイベントにカスタット・アライアンスを取り付けます。 [B,E]

1953–1956 · スタリンの死;脱塩。 [T] AL38 では、疑わしい事実の転換点。 [B]

1975–1977 · シリーズが始まります。破裂のテーマが成長します。 [E,R] 元の力の整理の衰弱を主張しました。

1977-11-21 · AL28のアーカイブ日付。 [A] ピーター・ベターが「スピリチュアル・コミュニスト」を導入

1978-09-29 · AL38のアーカイブ日付。 [B] アクションの起源、3つの段階、戦後の世界と空間。

1979 · AL43とAL46。 [D,R] アメリカン・ライバル・リーダーシップとロボイドを主張。

03-05.1982 AL73 グラハムのモスクワ訪問。[F,G,P] プロジェクトZは主張であり、訪問は文書化されたイベントです。

1982-09-30 · AL79のアーカイブ日付。 [Q] ピーター・ベターは9月の攻撃をキャンセルしました。

1982-11-03 · AL80のアーカイブ日付。 [C] Andropov と Brezhnev の退職の予測。

1982-11-10/15 · 死、成功と外交。 [K-M] 公用語は、特定のクレームのテストを許可します。

オープンエンド — 次のdossier

この三部作はベターの解釈の地図であり、ベターの秘密の歴史は確認されていない。次の文書はフォークランドとサウスジョージアに集中できる:まず文書化された戦争、それからアーカイブの主張と正確に比較される。

出典 · [A]–[T]: Sources.txt - úplné odkazy priložené / full references attached.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 9 ↗

フォークランド諸島とサウスジョージア島

一つの戦争をめぐる二つの見方

特別文書09 / 大西洋、ニュージーランド、および隠された艦隊の疑い。

1982年のフォークランド戦争では、政治的、海軍的、地上的な歴史が記録されている。ベターは、原子力大災害の後、秘密基地をめぐる闘争と艦隊を世界のために準備している。このドキュメントでは、特定の場所、日付、イベントを通じて両方のアカウントを比較します。

1

パブリックキャンペーン

1982年4月〜6月

侵略、イギリスの反応、サウスジョージア、シェフィールド、サンカルロス、スタンレーでの降伏。実際の活動と人間の損失は、年代学の基礎のままです。

2

ピーター・ベターの隠された戦争

音声文字 73-75

プロジェクトZ、地下基地、重複した船、コスモスフィア、ロックフェラー派とクレムリン派の間の戦術的な協力が疑われた。これらの関係はそれぞれに証拠が必要である。

3

特定の比較

船、日付、文書

HMSシェフィールドについては、海軍調査とビーム武器アカウントを比較してください。ニュージーランドについては、HMNZS カンタベリーの文書化されたサービスと機密施設を区別してください。

地理は基地の証拠ではありません

フォークランド、サウスジョージア、サウスアイランド、スチュワート島、アンチポッズ諸島は、それぞれ異なる位置にある。漫画の洞窟や施設はベターの主張を描写している; 画像や計画は検証されていない。

出典と図版

音声書簡の写本はベターが主張したものを確立する。現代の文書、アーカイブ、制度的な履歴は、別々の検証と文脈を提供する。キャプションは編集パラフレーズ、画像は新しく作成されたイラストです。完全な参照はSources.txtに添付され、ZIPに含まれている。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD09 · ページ 2/8

公開記録に見る戦争

フォークランド/マルヴィーナスとサウスジョージアは1982年の選挙戦ではそれぞれ異なる地域である。

1 紛争のアーキペラーゴ

イギリスはフォークランド諸島を管理し、アルゼンチンはそれらをマルヴィナと名付けた。主権論争と島民の状況は、戦闘に不可欠な政治的文脈を提供する。

2 1982年4月2日

アルゼンチン軍は軍勢を率いてフォークランドに侵攻した。マーガレット・サッチャー率いるイギリスの政府は軍事反応を選んだ。侵略は、秘密の理由の証拠ではなく、文書化されたキャンペーンを開始します。

3 外交・展開

イギリスは海軍の任務部隊を派遣した。国連安全保障理事会決議502はアルゼンチンの撤退を要求した。アレクサンダー・ヘイグは4月30日にワシントンがイギリスへ公然と移る前に仲介を試みた。

4 南ジョージア州

アルゼンチンの占領の後、4月3日に別島は別の劇場となった。その山々、元捕鯨集落、フォークランドからの距離は、シーケンスを再構築する際に重要となります。

5 サンタフェとヘリコプター

4月25日、イギリスのヘリコプターが南ジョージア近郊のアルゼンチン潜水艦サンタフェを攻撃した。航空および海軍の作戦は、ベターが地下基地攻撃を主張したという記録とは別に記録されている。

6 島が移り変わる

イギリス軍は4月25日にサウスジョージアを奪還した。この公開の成果は、ベターが隠された作戦が既に終わったという主張と比べる日付を与えている。

出典 · [D–G] public chronology; [H] diplomacy

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD09 · ページ 3/8

隠された艦隊という物語

AL74は南大西洋紛争を第2計画の第3段階に結びつける。

1 異なるフレームワーク

1982年4月30日付のベターズAL74は、この危機を3つの秘密派間の闘争として位置づけている。領土紛争は、核戦争計画を中断する努力の目に見える表面になる。

2 キャタストロフィーの後、予備発電

南部の海軍基地は、北半球で破壊を生き残るために作られたと主張している。予備艦隊はその後、生き残った世界を支配する。これが彼の提案された動機です。

3 1960年代の建設プログラムを主張

AL74は、洞窟の基地は隠された造船と保護された寝具を組み合わせたと述べています。ベターは閉鎖されたアメリカの造船所の設備がそれらを着せていると主張する。転写文に建設文書は提供されません。

4 重複した戦艦

ベターは、原子力船を含むアメリカ海軍艦艇の秘密の複製について説明している。これらの主張されている船は、彼が呼び出す名前の公文書化された船と区別しなければならない。

5 限られた石炭条件

彼の説明では、ロックフェラーの利益とニュークレムリン支配者は、彼の主張するアメリカの「ボリシェヴィキ」派に協力した。彼は、完全な和解ではなく、戦術的な休戦を明示的に記述している。

6 プロジェクトZ接続

目的は、プロジェクトZの最終フェーズである戦後の支配を阻害することにある。AL74は、南の基地はロックフェラーのコントロールから抜け出し、ライバルの手に入ったと述べています。その転送は、もう1つの検証されていない要素です。

出典 · [A] AL74, 項目 1–2; [C] AL73, 項目 2

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD09 · ページ 4/8

サウスジョージア島からニュージーランドへ

下の場所はベターの主張に属し、イラストはサイト証拠ではありません。

1 主張された大西洋基地

ベターはサウスジョージア州の北西端近くに巨大な隠れた海軍洞窟がある。彼は島の遠隔性と険しい地形を隠蔽の利点と解釈している。

2 割り当てられた操作

AL74はアルゼンチンの包囲戦中にロックフェラーとロシアが合同したチームが侵入し、隠された施設を攻撃したと主張している。公営着陸と秘密裏に訴えられたチームは、別々の主張です。

3 20 4月 ピーター・ベターの記述で

洞窟の破壊は4月20日とされ、ソ連の中性子兵器に帰せられている。放射線調査、難破船在庫、独立したサイトレコードは、請求に同行しません。

4 サウスアイランド

太平洋の設置は2つのエーゲサイトに分けられます。ピーター・ベターは、ニュージーランドの南島の南西部に1つを配置し、山々が海に近づいています。確認済みの工事記録を一切供給していません。

5 スチュワート島 — Rakiura

スチュワート島にあるアングレム山の下に2番目の施設がある。地名も本物であり、巨大な隠された海軍作品は、名前そのものが確認できないという明確な主張である。

6 Antipodes の展開

AL74は、7隻の隠された水上船がニュージーランドの避難所を離れ、対仏海諸島の近くに集まったと述べています。この運動は、南半球での彼の物語の中で2度目の戦いを舞台にした。

出典 · [A] AL74, 項目 1–2

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD09 · ページ 5/8

太平洋と不可視化の主張

ベター氏の技術的主張とニュージーランドの文書化された支持は、はっきりしている。

1 コスモスオーバーヘッド

より優れた監視とターゲティングをソ連の宇宙に割り当てます。彼は目に見えない船を見つけるために「サイコエネルギーレンジファインディング」を呼び出します。写本は再現可能な技術的証拠ではなく、物語的な記述を提供する。

2 組み合わせた攻撃

ソ連潜水艦が攻撃を完了し、架空のプラットフォームが拠点を供給したと、彼は言います。文書では、海軍の関与を確立せずに、この主張されている役割分担を説明している。

3 日付は、ケアを必要とします

AL74は4月23日午後2時ごろワシントンで太平洋戦線を日没直後に行う。日付は、ニュージーランド近郊では4月23日ではない。

4 要求された盾問題

ベター氏は、視界の悪い分野は、通常の観測やコミュニケーションから船を隔離し、特別なリンクを必要としていると述べています。この制限は、電磁気工学の実証ではなく、彼の投機的技術モデルに属する。

5 ニュージーランドが行ったこと

ニュージーランドはイギリスを公に支持した。HMNZS カンタベリーはインド洋でイギリス海軍の資源を解放した。この文書化された支援は、隠れたニュージーランド艦隊の証拠ではありません。

6 クレームの確立は?

建設契約、検証済み画像、船のアイデンティティ、乗組員の記録、独立して検査された残骸がベースストーリーをテストすることができる。辺境の海岸線と外交上の調整だけでは、その明らかな負担を負担することはできません。

出典 · [A] AL74; [I–J] New Zealand records

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD09 · ページ 6/8

英駆逐艦シェフィールドをめぐる異なる説明

名前付き船と文書化された調査は、比較を具体的にします。

1 文書化された攻撃

1982年5月4日、シェフィールドはアルゼンチンのエクゾーセトミサイルに攻撃された。イギリスの調査では、右翼側へのAM39の攻撃が判明し、攻撃により火災と死者が出た。

2 ダメージと損失

20人が死亡。船は放棄され、後に牽引されて沈没した。攻撃の日付を後の沈没と分離することは、損失全体を1つの即時イベントに回すことを避ける。

3 ピーター・ベターの代替

AL75は、ソ連の宇宙圏からの粒子ビームの損傷を原因とし、アルゼンチンの航空機はミサイルを使用しなかったと述べています。これは、調査のExocetの発見と直接矛盾する。

4 実際のお問い合わせを読む

調査の結果、衝突箇所、警告、損傷、消火などに関する詳細な情報が確認できる。編集された報告書には限界があるが、未解決の詳細はそれ自体ではビーム兵器を確立するものではない。

5 驚きは武器の署名ではありません

混乱、遅延した警告、重度の火災は再建のための問題です。原因を秘密技術として特定することはできません。驚きの表現だけに頼るのではなく、物理的な証拠を比較してください。

6 人々の見晴らしさを

乗組員の損失と救助活動は、解釈に関する論争に関係なく、現実のままです。劇的な視覚化は、証拠を置き換えたり、死者を好ましくは小道具にしたりしてはならない。

出典 · [B] AL75; [K–M] Sheffield records

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD09 · ページ 7/8

結末と残された疑問

歴史的キャンペーンは終了し、証拠に関する問題は別々に残る。

1 サン・カルロス

イギリス軍は5月21日にサンカルロスに上陸した。ベターはソ連の宇宙と潜水艦部隊に対する欺きで上陸をオーバーレイする。着陸の現実は、これらの追加参加者を検証しません。

2 地上キャンペーン

イギリス軍は困難な地形と激しい戦闘でスタンレーに向かって進んだ。文書化されたキャンペーンは独自の運用年代記を持っています。それは目に見えない戦争のアカウントの下で消えてはいけません。

3 6月14日

スタンレーのアルゼンチン軍は1982年6月14日に降伏した。イギリスの支配は回復した。アルゼンチンの約束された報奨金と軍事的成功の可能性に関する以前の主張を評価する際、この結果は維持されなければならない。

4 人件費

一般的に記録されている死者はイギリスのサービス員255人、アルゼンチン人649人、島民3人である。これらの損失は、競合する戦略的な物語に限らず、人々や家族に帰属します。

5 ハイグとより広いストーリー展開

より良い戦いをハイグ、核戦争の競争と核戦争の時間表に結びつけます。公的な外交記録は調停と政策選択を文書化する; 秘密の事実説明は追加の証拠を必要とする。

6 2つの質問は、一つではなく

ベターは何を主張し、どの証拠がそれぞれの主張を支持していますか?最初の答えは彼の日付付き写しによってである。2つ目は、彼の証言と矛盾する証拠を含む独立した記録との比較である。

出典 · [B] AL75; [D–H] campaign and diplomacy; [N] AL76

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD09 · ページ 8/8

出来事と主張の年表

記録された出来事はベターの物語の日付と区別される。

日付・出来事と出典・意義または主張

1982-04-02/03 · 島のアルゼンチン産みずみ。 [D,E] 公共イベント; 隠された動機は、割り当てです。

1982-04-03 · 国連の決断502。 [G] アルゼンチン軍の撤退を要求する。

1982-04-05 · 英国のタスクフォースが出発します。 [F] 長距離海軍キャンペーンが始まります。

1982-04-20 · 洞窟ベースの攻撃を疑った。 [A] ピーター・ベターの記述の日付, 統一.

1982-04-23 · * アレグされた太平洋の戦い。 [A] ※ワシントン日、現地日は異なります。

1982-04-25 · 英国軍は、サウスジョージア州を取り戻す。 [E] サンタフェと操作の寄生虫。

1982-04-30 · AL74;英国のための米国サポート。 [A,H] トランスクリプトの日付と別の公開イベント。

1982-05-04 · ヒット: HMS Sheffield. [K-M] 問い合わせ: ブースト; ピーター・ベターはビームを割り当てます。

1982-05-21/31 · サン・カルロス;後にAL75。 [B,D] 5月21日着陸; トランスクリプト日 31 5月.

1982-06-14 · スタンレーのサーレンダー [D,H] キャンペーンの文書化された結果。

検証を継続する方法

基地については、建設および運用記録、船舶、アイデンティティーおよび乗組員、攻撃、物理的なトレースおよび独立したレポートを求めます。イベントの日付、記録日、出版日は3つの異なるものです。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

ガイアナとジョーンズタウン

惨事と「秘密戦争」説

特別資料10 /人民寺院、ソビエト連絡先とAL40。

ガイアナとジョーンズタウンは、1978年11月の政治的介入、支配的なコミュニティ、大量死をまとめている。ベターはソ連のミサイル基地とアメリカとイスラエルの襲撃に関する主張を追加します。この文書は、彼のバージョンに従って、それを検査して挑戦できるドキュメントを伴います。

1

地域・地域

1955–1978

ガイアナの独立、バーナムとジャガンは、秘密裏に政治的介入し、人民寺院の起源とそのメンバーがジョーンズタウンに移ったことを記録した。

2

伝統と軍事的解釈

1978年11月18-30日

ライアンの訪問と殺害、3つの場所での死、そして回復任務。ベターが主張する基地、襲撃、隠された貨物を傍らに持つ。

3

ドキュメントと特定の制限

連絡先、身元確認、解剖

ソ連の連絡先の記録は本物です。ジョーンズの身元と限定された解剖は、単に物語全体を受け入れられたり拒否したりするよりも、より正確な質問を支持する。

犠牲者達は自分の物語を持っている

総数は918名であり、ジョーンズタウン、ポートカイトマ、ジョージタウンがある。全ての者が自発的に死んだわけではない。イラストは非グラフィックで、ドキュメンタリー写真や軍事作戦の証拠ではありません。

出典と図版

音声書簡の写本はベターが主張したものを確立する。現代の文書、アーカイブ、制度的な履歴は、別々の検証と文脈を提供する。キャプションは編集パラフレーズ、画像は新しく作成されたイラストです。完全な参照はSources.txtに添付され、ZIPに含まれている。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD10 · ページ 2/8

ガイアナと人民寺院

政治史とコミュニティの起源は、内戦の主張の前に来ています。

1 新しく独立した状態

ガイアナは1966年5月26日に独立した。1965年にすでに独立したガイアナについて、AL40は年代的に間違っている。その日付を訂正しても、他の主張は解決しません。

2 バーンハムとジャガン

フォーブス・バーナムとチェッディ・ジャガンは中央政治のライバルであった。冷戦は、国への外部の関与を恐れています。彼らの競合関係は、特定のポリシーと記録を通じて検査されるべきであり、隠れた1つのコントローラに還元されるものではない。

3 カバートの関与は文書化されます

機密解除されたアメリカ記録には、バーナムを含む反ジャガン党への密かに支持が記載されている。これが政治的介入の真偽である。ベターがソ連の核基地を主張したことは、決して確立していない。

4 民俗寺が始まります

ジムとマルセリン・ジョーンズは1955年にインディアナポリスに人民寺院を設立するのを手伝った。その魅力は人種統合、共産主義的ケア、社会正義の約束などであった。メンバーはリーダーを超えて人生と野望を持っていた。

5 カリフォルニア年

1965年に北カリフォルニアに移り、後に都市部を拡大した。政治的な視認性と社会的プログラムは、強迫と虐待の疑いとともに成長した。国民の影響力はそれ自体が知能の支配の証明ではない。

6 農業プロジェクト

1974年に人民寺院のメンバーはガイアナ開拓地の開発を始めた。1977年の大規模な移民は、小さなプロジェクトを混雑したコミュニティに変えました。ジョーンズタウンの開発はベターの軍事的解釈とは独立して記録されている。

出典 · [B–E] Guyana and Temple history

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD10 · ページ 3/8

11月18日までの経緯

犠牲者の物語とライアンの訪問は、あらゆる解釈において見えるようにしなければならなくなる。

1 隔離されたコミュニティ

ジョーンズタウンは共同作業と理想主義的な希望を、孤立と支配を増大させた。武装した警備員、限定的な出発、脅迫のアカウントは、親戚が外部介入を求めた理由を説明します。

2 忠誠と恐怖

生存者の証言では集団死の強制とリハーサルが記述されている。全ての犠牲者を、意欲的な参加者と呼び、抵抗した子供たちと、不平等な権力を行使したジョーンズを消し去る。

3 警告は公式に届きました

11月20日、国務省の覚書がライアンの旅の直前に苦情や領事訪問、警告を記録している。事前の軍事的トラップを想定することなく、制度上の障害を評価する基盤を提供する。

4 レオ・ライアンの代表団

ライアン下院議員が住民の懸念を調査するため訪れた。代表団と一緒に出発するようにと頼んだ者もいた。彼らの要求は、個人が単なるプロットデバイスではなく、出口を求める行為でした。

5 ポート・カイトウマ

11月18日、滑走路で発進する代表団を攻撃した。ライアンと4人が殺害された。殺人と生き残った証人は、文書化された刑事捜査の一部を形成します。

6 3つの場所、918の死

合計でジョーンズタウンで909人、ポートカイトマで5人、ジョージタウンで4人が死亡している。「大量自殺」だけでも不十分です。子供たちが殺害され、強迫観念は説明にとどまる必要があります。

出典 · [E–H] testimony, reporting and official records

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD10 · ページ 4/8

ミサイル基地があったというベターの主張

1978年11月30日付のAL40は、彼の以前の警告に基づいています。

1 以前の割り当て

AL40ベターは1974年以来、ガイアナでソ連のミサイルについて警告していたと述べています。クレームの再発はストーリーの継続性を確立します。反復は独立してインストールを確認しません。

2 要求された戦略的目的

彼はガイアナを、米国の標的とパナマ運河を脅かす前方ソビエトの立場として提示します。この核の役割は、ガイアナの本当の地理学や冷戦時代の政治関係とは異なっている。

3 アキンソン — タイムリー

ジョージタウンに近い空港は、ベターの物語と実際の交通手段を結びつけている。ミサイルの発射と発射の前後で発射された。実際の飛行場は、彼がそれに割り当てた軍用貨物を検証しません。

4 別々の分散コンプレックス

AL40は飛行場北西、その間を広くジョーンズタウンと接している。書き起こしには分散したサイトとコマンドセンターが記述されている。これは口頭での主張であって、検証済みの調査ではありません。

5 ジョーンズは、疑わしい機器として

ベターは情報機関が人民寺院に侵入したと主張し、ジョーンズを操作して隠密作戦を行った。主張は、識別可能な俳優と記録を通じて評価され、ジョーンズの虐待的行動によって確立されるものではない。

6 2つの証拠レベル

文書化された米国の秘密政治的介入と文書化されたテンプル-ソビエトの連絡先は、関連する文脈です。ミサイル基地、攻撃、または単一の調整陰謀を自動的に確認することもない。

出典 · [A] AL40, 項目 1

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD10 · ページ 5/8

感謝祭の襲撃という主張

このページでは、認証済み操作を再構築しません。

1 カリブ海の多様性

ベターは1978年のキューバにおけるソ連のMiG-23機に対する論争を、転換と解釈した。彼の話では、キューバへの注意はガイアナに対する計画された動きを隠蔽するのを助けた。

2 回復は、割り当てられたカバーになります

ジョーンズタウンで起きた死亡事故は、アメリカの航空機と人員をガイアナに連れて行く機会を生んだと、彼は言います。実際の復旧任務は文書化されており、カバーとしての使用は個別の裏付けが必要である。

3 1978年11月23日

AL40は11月23日感謝祭にアメリカとイスラエルの共同攻撃を仕掛けた。ソ連軍の陣地を破壊。写本は、独立した戦闘報告書ではなく、この疑惑の源泉です。

4 なぜソ連の介入はありませんか?

ベターは、秘密保持による報復がないことと、ハーベストムーンの後、基地の戦略価値が下がったことを説明している。これは彼の広範な説明の内部説明であり、襲撃の確認ではありません。

5 貨物配分

弾頭と軍事的損失がボディーバッグのエアリフトに混入され、ダバーとさらなる移動を結びつけたと主張する。飛行活動だけでは貨物を確立することはできない。

6 カウントの変更は識別されません

ベターは、隠蔽論議の一環として早世数を増加させる。修正された数は調査する問題であり、特定のバッグが弾頭またはコマンドを保持したことの証拠ではありません。

出典 · [A] AL40, 項目 2; [G, H, N] public response

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD10 · ページ 6/8

ソ連との接触とジョーンズの運命

オリジナルレコードは、より大きなストーリーと矛盾しながら接続を確認することができます。

1 コンタクトは現実だった

1978年にジョージタウンのソビエト大使館とFBIの文書会議を通じて公開された寺院記録。本当の外交関係は、記録に書かれていることを超えてそれを延長することなく認識されるべきです。

2 エミグレーションが議論されました

メモには、コミュニティをソ連に移すための提案と、執政官のフェオドル・ティモフェーエフとの接触が含まれます。合意された移転や作戦上のミサイル基地協定ではなく、議論を文書化する。

3 文脈内の文書を読む

ジョーンズの医療援助も繰り返しの主題であった。9月の会議メモで、Timofeyevはメンバーの死に関する提案を拒否したと報じられました。これは、1つの所定の軍事計画へのすべての接触を減らす試みを複雑にします。

4 記録は、オムニサイエントではありません

寺院会議のメモは作家の視点を反映しており、自身の疑いや誤りを含んでいる可能性がある。FBIのファイルに彼らのリリースは、FBIの発見内のすべての声明をしない。

5 ピーター・ベターのエスケープストーリー

AL40は、ジョーンズがガイアナを脱出し、アフリカを旅してイスラエルへ行ったと主張する。旅程はベターの主張であり、この文書はそれを実際の旅として検証していない。

6 本人確認記録

ジェームズ・ウォーレン・ジョーンズの米国の解剖報告では、指紋と歯の比較による識別が記載されています。これは置換要求に直接挑戦する。信頼できるリビュタルは、エスケープストーリーを繰り返すだけでなく、これらのメソッドとレコードに対処する必要があります。

出典 · [A] AL40; [I–L] Soviet contacts and identification

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD10 · ページ 7/8

法医学的証拠、その限界と追悼

特定の代替案の証拠から不完全な調査を区別する。

1 死者を返すために

11月21日付の共同チーフ命令は、亡くなったアメリカ人をドーバーに戻させる。これは回収任務の具体的な記録であり、ベターが主張する秘密の核貨物を記載していない。

2 早期報告が不完全だった

11月20日付け覚書には、まだ約400人の遺体が報告されている。後の合計は、回復と識別記録を通じて再構築する必要があります。初期の見積もりと最終合計は、さまざまな種類の情報です。

3 限られたオートメーション

アメリカ合衆国では7回しか大規模な解剖が行われた。これは法医学記録における真の制限である。それ自体は、代替軍事作戦を死因とみなしていない。

4 名前、匿名番号ではなく

FBIの身元記録は、多くの回収された遺体を名前付き人間に結びつけている。犠牲者の弾頭や戦闘員を代用する請求は、この個々の証拠に関与し、どの識別が異議を唱えられているかを正確に説明しなければならない。

5 生存者は不可欠です

口頭での歴史、手紙、公式ファイル、物理的な記録など、さまざまな質問に答えます。それらを読み、制限と矛盾を認めます。劇的な説明は、コミュニティを経験した人々を黙らせるべきではありません。

6 この dossier が確立するもの

ベターは秘密戦争に関する詳細な説明を公表し、本当の秘密政治とソビエトの連絡先が文脈を提供する。ここで調査された情報源は、独立してミサイル基地、コマンド襲撃、ジョーンズ脱出を確立していない。被害者は、証拠を導いた慎重な記憶に値します。

出典 · [H, K–N] investigation, autopsies and identification

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD10 · ページ 8/8

出来事と主張の年表

記録された出来事はベターの物語の日付と区別される。

日付・出来事と出典・意義または主張

1955 · 人民寺開設 [D] インディアナポリス、後にカリフォルニアに移転

1964–1968 · 政治的介入;独立性。 [B,C] ガイアナ独立 26 5月 1966.

1974 · ガイアナ州の決済開発 [D,E] ピーター・ベターがミサイルの警告をここに日付表示します。 [A]

1977 · 大規模会員マイグレーション [D,E] 住民に対するコミュニティの成長と圧力。

1978 · ソ連大使館と会議。 [I,J] 移転および医療支援について議論した。

1978-11-14/18 · ライアンの旅行とポートカイトマ攻撃。 [F–H] 11月18日(土)に3拠点で死亡

1978-11-20 · 予備の公式記念品。 [G] 400体についてはまだ報告しています。

1978-11-23 · AL40に襲われた襲撃日。 [A] Commando クレーム、検証済みの戦闘レポートではありません。

1978-11-30 · AL40のアーカイブ日付 [A] ベース、レイド、貨物、およびアレグされたジョーンズエスケープ。

1978-12-15 · 米国は7人の犠牲者を自治させます。 [K,L] ジョーンズのレポートは、識別方法を示します。

コンテキストから証拠まで

本当の情報介入は、後になっても確認できない。大使館の連絡はミサイル基地ではありません。不完全な調査は検査に値するが、それ自体は1つの代替理論を選択しない。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

SD11 · ページ 1/10

フォートノックス、金、ドル

扉の向こうの金

特別文書11 / 金の歴史、疑惑と文書、1944-1982。

フォートノックスは金属のストアであり、信頼のシンボルです。ピーター・デヴィッド・ベターは、密かに金と貨幣の力を奪った物語の中心にした。この文書は、彼の主張、現代的な訪問、監査報告、そしてゴールドフィンガーを通じた文学的回顧に従っている。

1

ドキュメンタリーの背景

ブレトン・ウッズから1971年まで

金、為替レート、ロンドンゴールドプール、金の窓の閉まり。実際の通貨変動は、なぜ準備金の質問が注目を集めたのかを説明します。

2

ピーター・ベターのケース

配送、デュレル及び公募キャンペーン

予備役が取り除かれたという疑惑、1965年の未上場の出荷物、1974年の訪問、独立した調査要求があった。

3

制御と解釈

文書、範囲、結論

GAOレポートは、実際のスコープに従って読み取られるべきです。ゴールドフィンガーは質問を投げかけることができるが、ベターがフレミングの意図を証言することはできない。

イラストは証拠ではありません

ストレージ、トランスポート、通信シーンは編集上の視覚化である。正確な施設計画、認証された出荷写真、または参加者全員の検証済みの肖像画ではありません。

出典と図版

音声書簡の写本はベターが主張したものを確立する。現代の文書、アーカイブ、制度的な履歴は、別々の検証と文脈を提供する。キャプションは編集パラフレーズ、画像は新しく作成されたイラストです。完全な参照はSources.pdfとSources.txtに添付され、ZIPに含まれている。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD11 · ページ 2/10

金、ドル、そして信頼

主張の前に:なぜ地金準備金が公共のシンボルとなったのか。

1 建物と約束

ノックス砦はアメリカの財政力の強力な象徴となった。しかし、建物、その内容の所有権、ドルを取り巻く通貨規則は3つの異なる主題です。

2 戦後のフレームワーク

ブレトン・ウッズ・システムでは、通貨をドルに、ドルを金に結びつけた。その運営は国際的信頼と公的通貨の手配に依存しており、保管庫への公的アクセスは重要ではなかった。

3 ロンドンゴールドプール

1961年に8つの中央銀行が、公式の金価格を守るためにロンドン・ゴールドプールを創設した。1968年3月に崩壊した。ベターは、これらの実際の通貨操作を秘密の盗難のカバーと解釈する。

4 1971年8月15日

ニクソン大統領は外国の公用保有者のためにドルを金に転換することを中断した。通貨規則の変更は文書化されており、預金が密かに空白になっているという証拠はそれ自身ではない。

5 ピーター・ベター が引数を入力

ベターは、彼の著書『ドルに対する陰謀』と後に出版されたオーディオ・レターズで、金、インフレ、政治力を結びつけた。ノックス砦の主張は、その広範な説明の繰り返しの基礎となった。

6 今後のお越しのご質問

どこで、いつ、誰がコントロールしたのですか?これらの質問は、棚卸し、譲渡、アッセイ、監査レポートなど、比較可能な記録と劇的なストーリーを結びつけます。

出典 · [D,F] institutional monetary history; [A–C] Beter’s account

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD11 · ページ 3/10

視察と告発

公的な訪問と在庫は別々の出来事でした。

1 1974年9月23日

議会のメンバーと報道陣がノックス砦を訪れた。ミントの発表は9月24日から始まるこの訪問を目安にした。プレスツアーはそれ自体は監査ではありません。

2 訪問者が見ることができるもの

目に見える地金の山との遭遇は、強力な公共イメージを提供しました。ベターはこの画像が証明したことに挑戦し、訪問者が欺くディスプレイを見せられたと主張した。

3 隠れたコアを疑った

AL02は、内部記憶領域と外部表示部とを別々に記述する。これはベターの建物に関する説明であり、認証済みの設計図ではない。イラストは意図的に概念的です。

4 タムの原稿

AL01では、ベターはスタンリー・タトムと、その名も「無ければ」と書かれた章に付随する写本を起用した。この文書は、この写本を認証していない。

5 代替金属クレーム

AL02は、金色の表面の下に異なる金属を隠す可能性があると主張している。フォートノックスの偽造品バーはここでは提供されていません。図示された比較は、回復した標本ではない。

6 比較する2つのレコード

GAOは物理的な在庫とアッセイ作業を報告します。有用な比較は、記載されている主張と公表された監査方法、スコープと調査結果との比較である。

出典 · [A,B] AL01–02; [D,E] Mint announcement and GAO report

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD11 · ページ 4/10

金の輸送と文書の記録

1965年の転送は、ベターの通信記事の中心にある。

1 1965年1月20日

ベターは、ノックス砦を金で出発する4台のトラクタートレーラーについて説明している。日付と船団は彼の主張の要素である。この図面では、出荷の検証済み写真を再構築しません。

2 Jeffersonville 到着地 ニューヨーク

彼の証言は、インディアナ州ジェファーソンビルの鉄道輸送を通じて、ニューヨークアッセイオフィスに向かって貨物を送ります。施設間の移動と国有権の消滅は異なる主張である。

3 エドワード・デュレルの役目

ベターは、ビジネスマンのエドワード・デュレルを、役人に質問し、その回答を保存させる永続的な調査官として提示する。AL56では、問い合わせを求めるリスナーのモデルとなる。

4 Brooks は引用語句として応答します

AL02は、1975年6月19日付のミント・ディレクター・メアリー・ブルックスの回答を引用し、1.76百万オンス以上の罰金トロイを挙げている。ベターの引用を引用する; 元の手紙はここでは認証されていない。

5 紛争リスト

ベターは、この移送は供給された出荷リストから欠如しており、より広範な撤去プログラムの証拠として不一致を扱います。推論にはリストとカバレッジ,元の応答が必要である。

6 受入エントリのフォロー

完全な問い合わせは、発送、輸送、受領、およびその後の所有権を接続します。転送文書だけでは、すべての後続のイベントを決定することはできない。未説明のギャップは、発明された結論で満たされるのではなく、調査されるべきである。

出典 · [B,C] AL02 and AL56; original correspondence not independently authenticated here

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD11 · ページ 5/10

監査が調べた範囲

1975年のGAO報告書では、金保有の特定の限定的な試験が行われている。

1 選択されたコンパートメント

GAOは、コンパートメントを選択し、在庫が始まるまで選択を差し控えたと報告しています。13区画のうち3区画は全数を受信し、残り3区画は視界検査が行われた。

2 カウントのスケール

委員会は91,604バールを数え、預金金の約21%を占めていた。これはかなりのサンプルであり、フォートノックスのすべてのバーの完全な新鮮なアッセイではなかった。

3 重量と記録

このレポートでは、サンプルメルトの計量、すなわち単一の注ぐバーのグループ、および在庫記録との比較について説明しています。総重量と細金含有量は別個です。

4 試料の採取方法

GAOは、アッセイの前にコード化された代表バーの上部と下部から小さなチップを記述する。細かさはミントの許容範囲内で減少した。より良いものは、そのようなサンプリングの妥当性に異議を唱える。

5 カウント間の制御

シールと保管手順は、1つの在庫を次の在庫に接続するのに役立ちます。コントロールの記録を提供する一方で、信頼性は手順の一貫性に左右される。

6 探知と推奨

GAOは、フォートノックスの保有は記録と推奨される循環型在庫と一致したと結論付けた。結論は明確な明確化の基盤を持ち、無視も無制限の確実性に拡張もしてはならない。

出典 · [E] GAO FOD-75-10, pp. 1–3 and appendices; [B] Beter’s criticism

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD11 · ページ 6/10

1975〜1976年：激しくなる論争

金政策、新しい主張、そしてベター氏が引用した政府の反応。

1 IMFが物語に入ります

AL04キャストは、隠蔽の一環としてIMFゴールドの販売を提案した。IMFレコードは、金の通貨の役割を減らすという、別の目的を記録している。1976-1980では、25百万オンスがメンバーに、25百万がオークションプログラムにかけられました。

2 空のボールトからアレクシファイド・リフィルまで

AL03では、ベターは新しい主張を追加します:借りた金は、疑わしい内部金庫に戻されると考えられています。物語のテストが変わります。金の発見は、彼の説明では、以前に起こったことは解決しなかった。

3 放射線依存症

AL05-06 堆積物に放射性物質に関する主張を導入する。その告発をサポートする認証済みテスト結果はありません。写真のメーターは、提案されたチェックを象徴しています。それは測定された危険の記録ではありません。

4 ピーター・ベターとしての会議は、それを説明する

AL06は、代表オティス・パイクとリディット・ジェネラル・ジョン・L・ライアン・ジュニアとのミーティングを1975年9月に再発しました。ピーター・ベター氏はライアン氏は、彼の悪い説明をサポートしました。これは、独立して検証された分ではなく、会話の彼の報告を残します。

5 トランスクリプト内の拒否

AL07 は、メアリー・ブルックスが21 11月1975に宛てた手紙を引用している:彼女はプルトニウム貯蔵を拒否し、保管庫の取り決めを議論した。AL08は、ウィリアム・サイモン財務長官によるさらに否定的なことを引用している。引用されたオリジナルは、ここでは独立して認証されていません。

6 ダールのオープンレター

AL08は1976年1月7日、ジョン・B・コンラン下院議員へのデュレルの訴えを再現し、郵送物、記録、監査に関する告発を組織した。裁判所の起訴状や司法上の判決ではなく、市民の告発と訴訟要求である。

出典 · [K] AL03–08; [M] IMF Annual Report 1980

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD11 · ページ 7/10

フレミング、『ゴールドフィンガー』、そしてベター

小説は答えを証明せずに問いを組み立てることができる。

1 戦時の経験を持つ作家

イアン・フレミングは第二次世界大戦中にイギリスの海軍情報機関で働いた。その本当の背景は彼のスパイ行為の関心を説明するのに役立つ; それは偽装された操作としてすべての架空のプロットを認証しません。

2 精密なバイグラフィカル補正

AL56はフレミングを元MI5将校と呼んでいる。軍情報局で使用された伝記資料は、海軍情報部で彼の戦時中の職を識別している。これらの機関は、カジュアルに同じ組織として扱われるべきではありません。

3 ゴールドフィナーガー、1959年

小説は金、刑事計画、ノックス砦の脆弱性を中心にしています。出版社はそれをフィクションと認識している。その存在は、被験者がベターのキャンペーンの前に人気のある想像力に入ったことを示している。

4 ピーター・ベターが提案したキー

AL56では、デヴィッド・ロックフェラーがゴールドフィンガーのモデルであり、この物語は実際の金銭的陰謀を示唆していると主張している。これはベターの解釈であり、フレミングの意図に関する実証済みの発見ではない。

5 警告から気を散らすまで?

ベターはフレミングのフィクションが心を開いたと論じ、その後のスクリーン処理で同じ可能性をばかげているように思われる。芸術的な音色の差だけではその操作は確立できない。

6 2つのジャンルを別々に読む

小説は登場人物、サスペンス、想像上の動機を提供します。歴史的事例には、追跡可能な記録と裏付けが必要です。似ていることは研究を刺激するかもしれないが、その研究を置き換えることはできない。

出典 · [C] AL56; [H,I] Fleming biography and publisher's book record

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD11 · ページ 8/10

金は誰のものか

会計、継続監査、および公的キャンペーンの遺産。

1 証明書はバーではありません

連邦準備制度は、1934年の法律の下で譲渡された金の所有権を国庫に委ねていると説明している。連邦準備制度は金の証明書を受け取った。口座に表示されているため、連邦が物理的なバーを所有しているわけではありません。

2 値と市場価値を予約

口座で使用されている法定金価格は、市場価格の変化とは異なります。評価ルールを名乗ることなく2つを比較すると、最初の問題が考慮されている謎が生まれます。

3 1978年のフォローアップ

1978年5月のGAO報告書では、フォートノックスとデンバーで継続する金監査が適切に行われ、在庫管理が適切であることが判明した。また、硬貨の廃棄物と余剰金の基準について、別途懸念を提起した。

4 キャンペーンは引き続き継続

1980年7月のAL56までに、ベターは再びデュレルの書簡を強調、ウィリアム・プロキシミア上院議員への注目を喚起した。彼の調査に対する持続的な要求は議論の歴史に属している。

5 リスナーの実践的な質問

ドキュメントはどのクレームをサポートするのですか?オリジナル、日付、著者、コンテキストを保持します。回答のない手紙は別の質問の正当性を示すかもしれないが、沈黙だけでは提案された説明を証明することはできない。

6 耐久のレッスン

ベターはノックス砦を信頼と集中力に関する物語にした。その物語を調べる最も強力な方法は、実際の主張を保存し、証拠がまだ欠けている記録と状態をはっきりと比較することです。

出典 · [B,C] AL02 and AL56; [G,J] GAO 1978 and Federal Reserve

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

SD11 · ページ 9/10

1981年まで続いた運動

ゴールドコミッションの公開結論への通信と予測から。

1 Proxmireおよび検査官の一般

AL61では、1980年9月にプロクミア上院議員が介入し、財務省監察官総監が報告した。氏はその範囲とリリースの遅れを批判する一方で、リスナーに強い質問を求めるよう求めている。

2 2つの合計は1つの測定ではないです

AL62は、フォートノックスの出荷と海外での純金販売を比較し、その差を金不足と呼んでいます。設備とネットの国際販売の相互移動は和解を必要とし、異なる合計を差し引いても盗難は成立しない。

3 手数料に関する予測

AL67では、ベターは、公共の転換性のない限られた金支援計画を予測するとともに、その計画の一部として金委員会を描写する。これは1981年8月に公表された予測であり、後に発表された結果と比較される。

4 ニューヨーク州に移転

1981年後半、AL70は、ニューヨーク検定局からウェストポイントへの出荷を、別の盗難を隠したと主張する。新聞も報道している。イラスト付きの船団も引用されたニュース記事も、転用を主張する認証は行われていない。

5 1982年3月31日:報告書

金委員会の過半数は、当時の状況下でのインフレ対策として金の基準を復活させることを推奨しなかった。監査プログラム継続を受け入れ、年次監査の完全実施要求など反対を記録。

6 レコードが私たちに残っているもの

ベターの選挙運動、公式な反応、公式委員会内の反対は、すべて歴史の一部です。役割は異なる。公正な説明は、その最も劇的な告発を確立された出来事として提示することなく、論争を保存します。

出典 · [L] AL61–62,67,70; [N] Gold Commission, 31 March 1982, pp. 11–12,16–17

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 9 ↗

SD11 · ページ 10/10

出来事と主張の年表

記録された出来事はベターの物語の日付と区別される。

日付・出来事と出典・意義または主張

1944 · Bretton Woodsの会議。 [F] 戦後のシステムのためのフレームワーク。

1959 · Goldfinger が公開されました。 [I] 小説、ペテロ・ベターの解釈が後日登場。

1961–1968 · ロンドンゴールドプール。 [F] ドキュメンタリーの介入。

1965-01-20 · 紛争のある輸送。 [B,C] ピーター・ベターの記述の日付。

1971-08-15 · ゴールドウィンドウを閉じます。 [F] 外国の正式な所有者のために中断された転換。

1974-09-23/24 · 訪問し、在庫が始まります。 [D] 2つの別々のイベント。

1975-02-10 · GAO 報告書 FOD-75-10. [E] サイクリティカルカウントの検索と推奨。

06-07.1975 AL01とAL02。[A,B] ベターは金の主張を発展させる。

1975–1980 · 争訟、返信、さらに監査。 [C,G,K] ピーター・ベターのキャンペーンが続行します。

1981–1982 · AL61-70; 手数料レポート。 [L,N] 予測および公表された結論。

お問い合わせ先

認証された元の対応、出荷リストの正確なカバレッジ、および受信記録のマッチング。ベターのドキュメント引用を文書自体から区別し、確立した証明からオープンな質問を見てみましょう。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 10 ↗

SD12 · ページ 1/8

1976年の「海底ミサイル危機」という主張

海面下の兵器

特別文書12 / 疑惑、海軍戦略と証拠、1971-1977。

1976年の夏に、ピーター・デヴィッド・ベターは、ソ連がアメリカと同盟国沿岸付近にミサイルと爆弾を隠して海底から発射していると宣言した。彼は警告を、ソ連海軍の真の成長、海底武器管理条約、そして共同司令官ジョージ・S・ブラウン将軍の議長に結び付けました。この資料は文書化された設定と検証されていない物語を分離する。

1

ドキュメント設定

条約、潜水艦、監視

1971年の条約では、核兵器は海底に投下された。ソサスは潜水艦を聴き、実際のソ連弾道ミサイルは潜水艦によって運ばれ発射された。

2

ピーター・ベターの警報

AL14-17とAL23

ベターは、独立兵器が底に据え付けられ、場所が公表され、海軍が密かにそれらを削除したと説明した。これらの主張に対して、独立して検証可能なドキュメントは提供しなかった。

3

ブラウンおよび接触

手紙 否定 会議の疑い

ベター氏はDIAとブラウン将軍からの否定的な反応を引用し、ブラウン氏と会ってデータを提供したと述べた。その会議の独立した記録は見つからなかった。

兵器が水中に残っている

ベターの主張のイラストは、海底に完全に水没または停泊しているミサイルと爆弾を示しています。工学図面でも、そのような装置が存在する証拠でもない。正確な座標は意図的に省略される。

出典と図版

音声書簡の写本はベターが主張したものを確立する。現代の文書、アーカイブ、制度的な履歴は、別々の検証と文脈を提供する。キャプションは編集パラフレーズ、画像は新しく作成されたイラストです。完全な参照はSources.pdfとSources.txtに添付され、ZIPに含まれている。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD12 · ページ 2/8

海底の兵器をめぐる主張

1971年の条約から1976年のベターの警告まで。

1 実際の治療

1971年2月11日、アメリカ合衆国、ソ連、イギリスはシーベッド・アームズ・コントロール条約を締結した。核兵器などの大量破壊兵器は、沿岸海域を超えて禁止された。

2 重要な差別化

条約では、独自の海底地帯に12海里の境界が使用されました。1976年、アメリカ合衆国は一般的に3マイルの領土海を主張し、1988年にはその主張を12マイルまで延長した。

3 1971年の発見。

AL14ペテロ・ベターでは、バンクーバー島付近のウレックを検索するダイバーは、コンクリートブロックに誤ってチェーンされたミサイルを発見したと述べた。トランスクリプトは、このエピソードのソースです。独立した回復記録は供給されません。

4 SOSUSが何をしたのか

シーザー計画とソサスは潜水艦を検知し追跡するための固定音響監視局を創設した。水力発電網は音を聞き取り、海底に眠っているすべての無音物体を識別できる万能スキャナではなかった。

5 1976年7月19日

ベターのAL14は、アメリカとカナダの海域に10発のミサイルと4発の爆弾が置かれたと主張した。彼は正確な調整と、参謀総長からの要求された行動を提示した。

6 クレーム、未確認発見。

水中で完全に封鎖された武器を海底に停泊させています。認証済みオブジェクトは描かれず、この資料は操作座標を繰り返すことはない。

出典 · [A,F,G,I] AL14; treaty, SOSUS and maritime limits

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD12 · ページ 3/8

AL14：警告の始まり

海底兵器をサプライズ攻撃の物語に結びつけた。

1 キューバのアナログ

1962年のキューバ危機:キューバの陸上に駐留するソ連ミサイルに対する文書化された対立から始まった。その後、彼は未発見の海事続編を提案したが、同等の写真や偵察は提供しなかった。

2 底の武器

彼の中心の物体は潜水艦発射ミサイルではなかった。海上に封鎖され、鎖、ブロック、アンカーによって海底に保持された、自律型短距離ミサイルである。

3 カバーとしてのOceanography

ベターはソ連の研究船が配置場所を調査し、配備活動を隠したと主張した。転写は、読者が検査できる容器のログ、回復したコンポーネントまたは実験室のレポートを名付けません。

4 ターゲットと恐怖

目標となったのは、港湾、海軍基地、造船所、主要な海路への接近であった。このターゲットリストは冷戦戦略において物語的であるが、ターゲットの妥当性は隠れたデバイスの証拠ではない。

5 公の要求

ベターの方法は直接的であった:カセットを録音し、場所を公開し、リスナーに公務員を書いてもらい、検索を要求する。音声書簡は、未検証のインテリジェンススタイルのレポートを、公的な動員キャンペーンに変えた。

6 証拠の境界

AL14はベターの主張の日付、文言、構造を確立します。ダイバー、回収されたミサイル、ソビエトの命令、北米当局による主張されている隠蔽を独立して確立するものではありません。

出典 · [A,F,G] AL14; institutional treaty and SOSUS histories

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD12 · ページ 4/8

AL15：海上の駆け引き

本当のソ連海軍の成長は、世界的な主張の枠組みになります。

1 本物の青い水チャレンジ

セルゲイ・ゴルシュコフ提督の下で、ソビエト海軍は1970年代に世界的な発展を遂げた。米国海軍の歴史では、海上戦線、潜水艦、水上部隊、核任務への関心が高まっている。

2 キャリアと潜水艦

ベターは空母中心のアメリカ海軍と潜水艦やミサイルを中心とするソ連軍とを対比した。対照的な点が、両方の艦隊が単純なペアが示唆するよりも多種多様であったにもかかわらず、本当の戦略的な議論を反映していた。

3 実際の海ベースのミサイル

ソ連の弾道従順な潜水艦はSLBMを運び、自分のチューブからそれらを立ち上げました。米国での評価を受けたYankee-とDelta-classの潜水艦は、沿岸の海底に休む未定のランチャーではありません。

4 AL15は地図を拡大します

1976年8月2日、ベターは、疑惑を募らせ、多くの国々で物語を広めた。彼は、艦隊、港、および海路を同時に攻撃するための手段として、分散した沿岸機器を扱いました。

5 組織的なアイデアとして驚き

シナリオは真珠湾の論理を借りました:隠れた準備、警告を却下する役人、集中した軍隊への突然の攻撃。独立した検証ではなく、物語に劇的な一貫性を与えます。

6 なぜ座標が省略されるのか

AL15は正確な位置を多数印刷した。繰り返して行うと、起源を証明せずに操作的な精度が増す。この文書は、読者を完全な写本に導きながら、領域と戦略カテゴリを要約する。

出典 · [B,J,K] AL15; U.S. Navy history and declassified SLBM assessment

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD12 · ページ 5/8

ブラウン将軍への書簡

否定、ペンタゴン会議の疑惑、および認証の問題。

1 誰がブラウンだったのか

ジョージ・S・ブラウン将軍は1974年7月1日から1978年6月20日まで参謀本部議長を務めた。彼の事務所はベターの公募の代行者となった。

2 AL16の正式な対応

ベターはDIAの公式なボビー・R・インマンとブラウンに帰した手紙を再現した。どちらも、彼の主張を支持する証拠は見つからなかったと、調査は述べた。元のファイルは認証が必要となる。

3 ピーター・ベターの返信

彼は否定を拒否し、別の手紙を送り、軍事チャネルは重要な情報を配信できなかったと主張した。意見の相違は、証拠が存在するかどうかから、機関がそれを抑制しているかどうかへとシフトした。

4 1976年9月16日

ベターは、ブラウンと1時間以上ペンタゴンで会ったと述べ、地図と特別な記録を届けた。会議や疑惑の内容が確認できた独立した記録は見つからなかった。

5 denialを吸収する物語

否定は無知や妨害の証拠となり、私的な会議は秘密の行動の証拠になる可能性がある。この構造は、競合する結果が同じストーリーに折り畳まれる可能性があるため、クレームをテストしにくくする。

6 文書化されたブラウン

公式伝記ではブラウンの階級、日付、戦略的な武力の働きが確認されている。また、1974年と1976年の彼の発言についての公的な論争も記録している。ベターの水中兵器作戦は裏付けられていない。

出典 · [C,D,H] AL16–17; official JCS biography of George S. Brown

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD12 · ページ 6/8

AL16〜17：撤去と再配備の主張

物語は警告から秘密裏に行動に移る。

1 秘密の除去

AL16では、ベターはリスナーからの圧力がカナダ、イギリス、アメリカの軍隊が装置を回収するのを助けたと主張した。操作名、船舶記録、認証された復旧写真は請求に同行しません。

2 正しい視覚フレーム

海面からの回収を描写した物語では、海面下からクレーンやダイバーが持ち上げるまで水中で完全に作動する。ベターの主張では、沿岸にミサイルが展示されていることは何も説明されていない。

3 代表的なミニサブ

ベターは、小型でソナー吸収型のソ連潜水艦が海底ミサイルを配備し運用できると説明した。後に、チェサピーク湾で1人が故障したと主張した。単独で識別された残骸や乗組員の記録は提供されない。

4 レッドフライデー

1976年10月1日、AL17は政治的な交渉が除去を中止し、ソ連がミニサブを回収することを許可したと主張した。「レッドフライデー」契約はベターの物語の一部であり、文書化された条約や公的な執行法ではない。

5 聴衆の拡大

ベターは繰り返しリスナーに合同首長を書いてブラウンを支援するよう頼んだ。観客参加は物語の一部となった: 手紙は行動への圧力と行動が続いた間接的な証拠の両方として提示された。

6 運ばれないもの

AL17は、無関係な陰謀論と危険な健康指導を含んでいる。これらの主張は、この資料の外側にあり、繰り返されません。歴史的分析は安全でないアドバイスを増幅する必要がない。

出典 · [C,D] AL16–17; claims attributed only to Beter

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD12 · ページ 7/8

AL23：拡大する主張

1977年4月までに、この疑惑は拡大したが、検証は行われなかった。

1 より大きな在庫

AL23ベターは、多くの沿岸ミサイル、五大湖の武器、ダム近くの爆弾を主張した。物理的証拠の公開なしにスケールは劇的に増加した。

2 味方された行動の主張

同氏は、イギリス海軍と南アフリカ当局が、情報を受けた多くの装置を撤去したと述べました。これらのエピソードはアサーションに帰せられており、検証可能な操作ファイルは提供されない。

3 茶色は捕虜として

さらにベターはブラウンが事実上の自宅監禁下にあり、軍法会議を脅かされていると主張した。ブラウンの公式経歴は1978年6月まで続き、公式伝記はそのような制限ではなく論争を記録した。

4 2つの技術、2つの質問

海上発射弾道ミサイルと音響監視はよく記録されている。彼らの存在は、緊張した海底戦地を確立し、ベターの別個の海床武器の分類を示さない。

5 条約の語る事項

海辺条約は主禁令から外れ、主権を侵害しないように12マイルの海岸地帯を残した。その法的設計は、外国の権限で他国の海域に武器を植える許可ではなかった。

6 責任ある結論

冷戦の恐怖、カセット時代の代替メディア、機関の不信の記録として歴史的に重要な危機です。利用可能な情報源はベターの作戦と実際の海軍の状況を記録したが、隠された武器庫は確認されていない。

出典 · [E,F–K] AL23 compared with institutional and declassified sources

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD12 · ページ 8/8

出来事と主張の年表

記録された出来事はベターの物語の日付と区別される。

日付・出来事と出典・意義または主張

1971-02-11 · シーベッド条約の署名

1972-05-18 · 御馳走は力に入ります

1976-07-19 · 可聴周波手紙14

1976-08-02 · 可聴周波手紙15

31.8 - 1。9点1976年8月31日 - 9月1日 否定状

1976-09-16 · 代表的な会議

1976-09-25 · 可聴周波手紙 16

1976-10-26 · 可聴周波手紙 17

1977-04-24 · 可聴周波手紙23

確認が必要なこと

検証可能な操作ログ、ソナー記録、復元されたデバイスの写真、文書化された保管チェーン、認証された通信。ベターの物語の写しは、彼が述べた操作ではなく、彼が言ったことを確立する。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

SD13 · ページ 1/10

革命と危機の間のイラン

革命と危機の間のイラン

特別文書13 / シャー、ホメイニ、石油、人質、ベターの解釈、1953-1981。

イラン革命は真空から現れなかった。1953年のクーデター、シャーの権威主義的な近代化、抑圧、石油の力、強いアメリカ国交に続いた。1979年11月4日、アメリカ大使館に学生が入居したとき、ピーター・デヴィッド・ベターは危機を隠された派生物とテヘランの戦いの物語にまとめ上げた。この文書は文書化されたイベントとベターの主張を、明確に2つのレイヤに分けている。

1

文書化された歴史

1953年のシャーと革命

米国の公式文書は、モサデックの削除におけるCIAの役割を確認。シャーの後の支配は近代化、石油、武器の購入を権威主義的抑圧と結びつけた。

2

危機の危機

1979年11月4日-1981年1月20日

大使館の差し押さえ、444日間の拘留、制裁、ICJの判決、イーグル・クローの失敗、アルジェリアの仲介などが広く記録されている。

3

ピーター・ベターの層

AL52-54及びAL58-59

ベターは、隠れた派生物が革命、人質、戦争を指導したと述べた。彼の主張するテヘランの戦い、代役指導者、イラクへの金贈与は、独立した確認を欠いている。

二つの層、1つの物語

テキスト内の赤い CLAIM マーカーは、音声書簡から ベター の解釈を識別します。文書化された出来事は外交記録、裁判所の判決、文書、機関史に根ざしている。

出典と図版

音声書簡の写本はベターが主張したものを確立する。現代の文書、アーカイブ、制度的な履歴は、別々の検証と文脈を提供する。キャプションは編集パラフレーズ、画像は新しく作成されたイラストです。完全な参照はSources.pdfとSources.txtに添付され、ZIPに含まれている。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD13 · ページ 2/10

1953年の長い影

文書化された秘密作戦はイランの政治の未来を形変えた。

1 油と水着

モハマド・モサデック首相は、イランが石油を支配する象徴となった。その結果起きた対立は、冷戦の恐怖に対する国内憲法上の闘争に加わった。

2 カバートプラン

機密解除されたCIA覚書では、1953年7月に承認されたキャンペーンはモサデックの敗北とシャー政権下の親西部政府を求めたと述べられている。ベターの再建ではなく、歴史が記録されている。

3 8月19日

CIAが支援する政治的圧力、プロパガンダ、反モサデック勢力への支援は政府を倒すのに役立ちました。シャーは権力を拡大して復帰し、ファズロッラー・ザヘディ将軍は首相となった。

4 耐えた記憶

1953年、多くのイラン人にとって、外国の勢力が国家のリーダーシップを決めることができるという証拠となった。この記憶は後にワシントンに対する疑いを一層高め、1979年の大使館危機の理解を形作った。

5 Shah のステート

その後の数十年間、君主制は中央集権的な権威であった。経済変化と国家建設は現実的だったが、政治参加は狭まり、治安当局は組織的な反対を押し付けた。

6 証拠境界

1953年の運用は公式記録によって支持されている。イランのイベントがすべて同じ俳優によってリモートでスクリプト化されていることを証明しているわけではありません。

出典 · [A,B] FRUS Iran 1951–1954; CIA Directorate of Plans memorandum

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD13 · ページ 3/10

国王、石油、武器、統制

近代化は加速し、その下の圧力も加速した。

1 **白い革命**

土地改革、教育、健康プログラム、女性参政権がイラン社会の一部を変革した。利益は不均一であり、急速な都市化はコミュニティを混乱させ、君主制は政治分野を支配した。

2 **油力発電**

石油収入はインフラと国営の野望に資金を供給した。イランは原油価格の上昇と石油収入の抑制を推し進め、エネルギーをワシントンやヨーロッパとの関係の中心に据えた。

3 **激しく成長する**

シャーはアメリカ製の高度な航空機と武器を大規模に購入した。アメリカの公式記録では、軍事費がイランの吸収能力を超えたという戦略的支持と懸念が示されている。

4 **サバクと恐怖**

治安当局は、監視、投獄、および乱用された相手。現代のアメリカの歴史では逮捕と残虐行為の疑いが認められ、君主制は批判を否定した。

5 **脆いバーゲン**

ワシントンはイランを地域の柱とみなした。シャー族は安定、石油、戦略的なパートナーシップを結んでおり、アメリカ合衆国は武器と政治的な支援を提供した。社会と政治の対立が収束するまで、この取り決めは耐久性があったようだった。

6 **原因は一つも無い。**

聖職者、リベラル派、民族主義者、労働者、学生、左派は、異なる理由でシャーに反対した。革命を1つの外国のプロットに減らすことで、連立の多様性とイランの内部紛争は消滅する。

出典 · [C,D,E] FRUS energy and arms records; Library of Congress country study

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD13 · ページ 4/10

1978〜1979年：王制の崩壊

集団抗議やストライキや国家暴力があらゆる予測を上回った。

1 喪のサイクル

予報と死亡は、翌日の採掘のデモを生成し、次々に給餌します。モスク、バザール、大学、オポジショニングネットワークは、全国の群衆を動員するのを助けました。

2 ブラックフライデー

1978年9月8日、治安部隊はテヘランのジャレー広場で抗議者を殺害した。損失の推定は異なるが、流血は危機を深化させ、妥協の見通しを狭めた。

3 オイルワーカーストライキ

ストライキは石油生産を阻害し、収入を奪った。経済と政府機械は停滞したが、反対要求は改革から君主制の終了へと移行した。

4 シャーの葉

1979年1月16日、モハマド・レザ・パフラヴィがイランを出発した。彼の最後の首相シャプーア・バフティアールは憲法の秩序を守ろうとしたが、広範な支持は得られなかった。

5 Khomeini のリターン

アヤトッラー・ルホッラー・ホメイニは2月1日に亡命から帰還した。彼の宗教的権威、政治的組織、妥協のない言論は、革命の支配的な指導者となった。

6 革命が勝ち抜いた

君主制は2月に崩壊したが、革命の結果は未定のままであった。革命組織と聖職者ネットワークは、リベラル派と世俗派の同盟国を着実に置き換えた。

出典 · [E,F] Library of Congress Iran study; State Department institutional history

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD13 · ページ 5/10

大使館と444日間

文書化された発作は、世界的な対立の中心となります。

1 シャーはアメリカに入ります

シャは1979年10月22日にアメリカ合衆国に入院した。イランでは、1953年の記憶が再びワシントンが政治的変化を逆転させる恐れをかきたてた。

2 11月4日

学生はテヘランのアメリカ大使館を占領し、外交官や職員を拘束した。ホミニーは軍事行動から国家支援の国際危機へと転換し、占領を支持した。

3 ファイルと分光器

捕虜は人質を出し、大使館の文書を再構成した。この占領は反アメリカ動員と国内闘争の両方に役立ち、イラン暫定政府の穏健派を弱めた。

4 冷凍資産

11月14日付けの大統領令12170号は、アメリカ合衆国管轄下のイラン政府財産を封鎖した。経済的な圧力は外交と並んで大きな道具となった。

5 裁判所の規則

1980年5月24日、国際司法裁判所はイランが外交上の義務の違反を継続し、大使館の解放と復旧を命じたと裁定した。

6 人件費

Fifty-two Americansは、究極の容量で444日を過ごしました。彼らの拘留は、メタファーや隠された理論ではありません。危機の中央文書化された害です。

出典 · [F,G,H,I] State Department, National Archives, ICJ and FRUS

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD13 · ページ 6/10

AL52：「テヘランの戦い」説

目に見える危機を目に見えない戦争に変える。

1 CLAIM: マネージド革命

ベター氏はCIAと石油利害関係がホメイニの上昇に寄与し、シャーを撤去するためにカセット流通を利用したと述べました。主張は外国介入の実際の履歴から借りていますが、検証可能な運用記録は提供していません。

2 CLAIM:戦争への6つのステップ

AL52は、イラン、サウジアラビア、人質、海軍の動きを、核攻撃の6段階計画に手配した。ベターの解釈は、機密解除された戦争計画ではなく、その順序であった。

3 CLAIM: Khomeini を超えてカプター

革命的な学生やイラン当局に限らず、隠されたエージェントが大使館の押収を支配したと論じた。独立した命令記録や識別された操作員は告発に付随しない。

4 CLAIM: 秘密の事実

ベターは、政府を通じて戦うライバルのロシアと西洋の派兵を描いた。我々は、彼の説明の構成を保持するが、出来事を説明したり、明らかな基準を満たさない民族陰謀の一般化を省略する。

5 CLAIM:テヘランの戦い

タイトルは首都と人質に対する隠れた闘争を示唆している。ベターは戦闘記録、ユニットID、損失記録、あるいはそのような戦闘のために独立して調達した写真を提供しなかった。

6 AL52が証明するもの

1979年11月30日、ベターはこれらの主張をし、現在のニュースをいかに早く吸収したかを証明した。隠された役者や操作を証明していない。

出典 · [J] Peter David Beter, Audio Letter 52, 30 November 1979

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD13 · ページ 7/10

AL53〜54：替え玉と秘密の敗北という主張

対照的な予測は物語がどのように拡大したかを明らかにする。

1 CLAIM:シャイン置換

AL53は1979年12月2日にシャーが殺害され、合成二重体が採用されたと伝えた。公式記録では1980年7月27日にカイロで起きたモハマド・レザ・パフラヴィの死が記録されている。

2 テレビインタビュー

より優れたビジュアルディテールは、David Frost氏のインタビューで置き換えの証明として扱われた。テレビの登場は、医学的、法医学的、アイデンティティ証拠なしに、特別な生物学的主張を認証することはできません。

3 CLAIM: Khomeini 殺された

AL54は、ホミニーニが暗殺され、外見上は類似したものとした。1989年6月3日、ホメイニーが死去した。

4 移動説明

公的な人物が見える状態にとどまると、物語は二重に置き換えられ、予測された戦争が起こらなかったとき、秘密の敗北を招いた。そのような装置は、不確定性から理論を保存できるが、証拠は追加しない。

5 CLAIM: サブクラフト戦争

ベターはイランを水中の航空機、軌道兵器、最初の攻撃に失敗したと疑われた。これらのモチーフはSD13を彼の広い宇宙論と結びつけるが、機関的な情報源は隠れたキャンペーンを裏付けるものではない。

6 試験可能なコントラスト

シャーとホメイニの死は、公の場での出来事と記録されている。ベターの置換要求は、ドキュメント化されたタイムラインと矛盾する。

出典 · [K,L,M,N] AL53–54 compared with FRUS and Library of Congress

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD13 · ページ 8/10

デザート・ワン：記録に残る作戦

本当の秘密任務は、計画、残骸、および残骸記録を残します。

1 計画の月

米国は密かにC-130機、RH-53ヘリコプター、砂漠給油所、そしてテヘランでの攻撃を含む複雑な救助を準備した。FRUS は計画とコマンドレコードを保持する。

2 ほこりに

1980年4月24日、8機のヘリコプターがニミッツを出発した。機械的な問題と深刻な塵現象は攻撃開始前の利用可能な力を減少させた。

3 ミッション・オーボラ

作戦ヘリコプターが少なすぎると、指揮官はデザート・ワンで停泊した。撤退中にRH-53はC-130と衝突し、火災や爆発を引き起こした。

4 8 死者

アメリカ人軍人8人が死亡した。航空機の残骸、遺体、負傷した人員、公式声明、および事後調査は、この出来事を文書化された軍事災害としてマークします。

5 証拠が異なる理由

密かに秘密裏に操作しても、命令、ハードウェア、参加者、そして後の記録が生成されました。この明らかな痕跡は、音声書簡に記載されている未支持の隠れた戦いと激しく対照的です。

6 外交の再開

イーグル・クローの後もカーター政権は交渉、制裁、圧力を続けた。失敗は信頼を損ねたが、交渉されたリリースの検索は終了しなかった。

出典 · [O,P] FRUS rescue-mission after-action report and editorial record

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

SD13 · ページ 9/10

戦争、金、人質の解放

AL58-59はイラン・イラク戦争とアメリカ合衆国選挙をカセット物語に落とし込んだ。

1 1980年9月22日

イラクは国境紛争を激化させ、サダム・フセインが1975年のアルジェ協定を拒否した後、イランに侵攻した。戦争は8年にわたる戦争の激化に終わった。

2 CLAIM:$ 8億の賄賂

AL58は、石油派がサダムに盗まれたアメリカ金を支払ってイランを攻撃し、石油の支配を取り戻したと主張する。銀行取引、振込記録、独立したソースは提供されません。

3 文書化された国際的な応答

国連安全保障評議会決議479は、力の使用を中止し、調停を受け入れるために、両方の状態に呼ばれ、9月28日に採用されました。現代的な米国のレコードは、中立性の宣言されたポリシーを示し、ホルムズを開いたままにします。

4 CLAIM:選挙タイミング

AL59は、選挙前の人質解放はカーターを再選するように設計されており、そのライバルエージェントはそれを中断したと述べた。1980年の選挙まで人質は出なかった。

5 アルジェリアの仲介

アルジェリアはイランと米国の仲介者を務めた。その結果生まれたアルジェ宣言は、介入なし、ブロックされた資産、請求、リリース条件に対処した。

6 1981年1月20日

人質たちはロナルド・レーガンの就任式でイランを去った。タイミングは政治的に非難されるようになったが、ドキュメンタリー記録は難しい交渉と法的・財政的な取り決めを中心にしており、ベターの秘密の指揮体制ではなかった。

出典 · [Q,R,S,T] AL58–59; FRUS Iran–Iraq; UN Resolution 479; Algiers records

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 9 ↗

SD13 · ページ 10/10

出来事と主張の年表

記録された出来事はベターの物語の日付と区別される。

日付・出来事と出典・意義または主張

1953-08-19 · Mosaddeq 削除

1973–1978 · オイル、腕および張力

1979-01-16 · シャーが出発

1979-02-01 · Khomeini のリターン

1979-11-04 · 大使館の押印

1979-11-30 · 可聴周波手紙52

24.〜25. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 1980年4月24日〜25日 1980年4月 オペレーション・イーグル・クロー

1980-07-27 · カイロのシャインダイ

1980-09-22 · イラク invades イラン

1981-01-20 · Hostages リリース

レイヤーが区切られた後の残留物

革命、大使館の押収、戦争、外交交渉が記録されている。秘密軍、合成ダブルス、隠れた戦い、金の賄いは検証可能な証拠の連鎖なしでカセットの主張です。ベターが危機をどう解釈したかは、隠れた出来事の過程を証明することではなく、その重要性にある。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 10 ↗

SD14 · ページ 1/8

気象は兵器になりうるか

気象は兵器になりうるか

特別資料14/雲の種まきからアレン、地震、シベリアエクスプレスまで。

天候は、実際に実験的、商業的、軍事的に変更されています。ピーター・デイヴィッド・ベター氏は、こうした限られた取り組みを、沿岸のグリッド、月の梁、宇宙圏、ハリケーン、人工地震といった、グローバルな兵器システムに変えました。この文書は、文書化されたもの、実験的なままのもの、テープ上のクレームとしてのみ存在したものを分離します。

1

文書化された機能

雲、霧、降水

雲の播種とある種の霧の修正は現実であるが、局所的および条件依存的である。Project Popeyeは軍事文書化された先例である。

2

失敗した野心

嵐とハリケーン

米国はハリケーン構造を改変しようとした。自然の嵐周期は効果を模倣し、プログラムの物理的仮定は欠陥を証明した。

3

ピーター・ベターの層

AL25、29、34、54、57、71、79

災害を核電荷、粒子ビーム、宇宙圏に結び付けました。機関筋から確認したシステムから独立した痕跡は見つからなかった。

修正は制御しません

赤いCLAIMマーカーはベターの解釈を識別する。文書化された実験は、人々が雲の微物理に影響を与えたり、局所地震を誘発したりすることを示している。大陸気象システムの司令部は設置されていない。

出典と図版

音声書簡の写本はベターが主張したものを確立する。現代の文書、アーカイブ、制度的な履歴は、別々の検証と文脈を提供する。キャプションは編集パラフレーズ、画像は新しく作成されたイラストです。完全な参照はSources.pdfとSources.txtに添付され、ZIPに含まれている。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD14 · ページ 2/8

気象改変の現実的な限界

雲の種苗が存在し、嵐全体の命令は従わなかった。

1 雲、空白の空ではなく

雲の播種は、氷や滴の形成を促進するために、既存の雲に粒子を導入する。湿度、温度、雲構造によって、澄んだ空気から成熟した嵐を思い起こさせることはできません。

2 実質の軍隊の前例

ポパイ計画は1966年から1972年まで東南アジアの一部で雲を播種し、降雨を延長し道路を遮ろうとした。機密扱いの限定的な外交記録が非機密扱いである。

3 ストームファー

米国はハリケーンでヨウ化銀の種を試験した。後に観察されたのは、過冷却水と、期待した効果を模倣した自然の眼球の変化が少なかった。NOAAはハリケーンを操縦する能力が実証されていないままプログラムを終了した。

4 1974年、役人が言ったこと

州務省の評価では霧と降水量修正作戦または近く運用されていると判断したが、ハリケーン操縦や強風はほとんど理論的に残った。その現代の境界線は重要です

5 法則は能力を追従する

米国法では、国内気象修正活動の報告が要求されており、ENMOD条約は、広範囲にわたる、長期にわたる、または深刻な影響を伴う環境修正を禁止している。規制はリスクを認め、想像されるすべての武器が存在することを証明するものではない。

6 証拠の梯子

提案、フィールド実験、運用プログラム、検証済みの戦略能力は異なるものです。この資料は、秘密そのものを証拠として扱うのではなく、ベターの物語をそのはしごに対してテストする。

出典 · [H–L] NOAA weather modification; FRUS Project Popeye; UN ENMOD

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD14 · ページ 3/8

AL25：地震を意図的に起こせるのか

恐ろしいメカニズムが説明されていますが、検証可能な追跡は伴いません。

1 クレーム: 隠れた料金

AL25は、ソ連のエージェントがアメリカの湖、川、貯水池、ダムの近くに小型の核装置を配置したと主張する。より優れたものは、地震やより広い破壊を誘発できる破壊ツールとしてそれらを組み立てました。

2 ワンソースチェーン

文字は、主張される寸法、方法、および位置を提供しますが、回復可能なデバイス、実験室記録、地震署名、または独立して文書化された除去は表示されません。物語を鮮明に、それは裏付けではない。

3 人間の誘発を誘発できるもの

USGSは貯水池、鉱山、流体排出、地下噴射に関連する地震を記録。これらのプロセスは、感受性障害に対するストレスや間隙圧を変化させ、通常、識別可能な産業活動を中心に発達する。

4 誘導は制御されません

人為的地震は、選択した地震の正確な遠隔コマンドを示唆しない。地質学では、震度、タイミング、故障反応は依然として制約されており、原因となる活動を止めることで、いくつかの誘発シーケンスを減少させることができる。

5 自然災害

地震の大部分は断層に生じる地殻変動の蓄積によって引き起こされます。地震学者は、波形、深さ、余震、地域の地質を比較します。

6 ベディクト

人間の活動によっては地震を引き起こす可能性があることが記録されている。この文書の機関的な証拠は、AL25の核地震装置または制御された大陸サボタージュのネットワークを支持していない。

出典 · [A,M,N] AL25; USGS induced-seismicity and earthquake science

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD14 · ページ 4/8

AL29：サイクロン、高潮、閃光

1977年のアンドラ号の惨事も、月面の光線の説明は証明されていない。

1 壊滅的なサイクロン

1977年11月、アンドラ・プラデーシュ州沖で重度のサイクロンが発生した。WMO資料は、熱帯低気圧と暴風雨の記録の中でこの出来事を扱い、その後の比較で約1万人の死者を挙げている。

2 なぜ海が上昇するのか

低気圧、強力な陸上風、海岸幾何学、潮と波は、内陸まで嵐のサージを駆動することができます。水面破壊はサイクロンの危険性として知られており、外部からの爆発の証拠ではない。

3 CLAIM:月からのビーム

AL29は報告された点滅とサージを、月面基地から発射されたソ連の粒子ビーム試験と解釈した。手紙は目撃者の引用を提供し、その後、機器データや独立した調査なしに因果関係が飛躍した。

4 CLAIM:空気の樽

ベターは、説明されていない沿岸ブームは「宇宙圏」から焦点を合わせることができないビームによるものとしており、説明されていない音は捜査のメリットがあるが、即時回答がないと特定の武器を特定することはできない。

5 観察対症原因

フラッシュ、ブーム、または洪水は観察です。月面兵器の証拠にするのは、タイミング、スペクトル、エネルギー測定、軌道、ハードウェア、文書など、原因を結びつける効果が求められる。リンクはここでは見られない。

6 人間レッスン

予測、避難、避難所、および弾力性のある海岸計画は、サイクロンサージに対する実証された防衛です。災害は、無機兵器のための風景としてではなく、人々と不可解な危険を通して記憶されるべきであると値します。

出典 · [B,O] AL29; WMO tropical-cyclone forecasting guide

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD14 · ページ 5/8

AL34とAL54：「巨大装置」という説明

海岸のグリッド、軌道電荷、月光線は、請求のエスカレートシステムを形成しました。

1 CLAIM:沿岸グリッド

AL34は、アメリカ沿岸に3つの原子力ケーブルシステムについて記述した。ベターは、大気圏を変化させ、ジェットの流れをシフトさせ、独占農業に役立ちました。工学記録や物理的なトレースは提供されません。

2 天気は、実際の電力を持っています

雲は電荷を分け、雷は電流を移動し、イオンは大気中に存在します。これらの本物のプロセスは、隠れた沿岸ケーブルが惑星循環を操ることができるという証拠はありません。

3 CLAIM: スペーストライアドの2脚

AL54は、月面粒子ビームが海水を蒸気に点滅させたと伝えられるメカニズムを拡張し、宇宙圏のグループは、結果として生じる雲を目標に向かって充電し、導いた。

4 エネルギー・スケール

熱帯低気圧は、暖かい海、湿気のある空気、回転、周囲の風と結合した巨大な熱機関です。クラウド内のドロップレットの変更は、結合したシステムを作成、維持、あるいはステアリングすることと同等ではありません。

5 1980年2月 カリフォルニア

AL54は、カリフォルニアとアリゾナ州で、米国の穀物禁輸に対する意図的なソビエトの反応を破壊的な雨と呼んだ。正確な形状と荷電粒子は得られたが、気象データや独立した情報源が嵐を武器に結びつけることはなかった。

6 自己補強の物語

後の手紙では、まるで繰り返しが確認されているかのように以前の手紙を引用した。メカニズムは各イベント後により精緻に成長し、証拠はカセットシリーズの中に残っています。

出典 · [C,D,P,Q] AL34 and AL54; NOAA atmosphere and STORMFURY records

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD14 · ページ 6/8

ハリケーン・アレン：観測記録と主張

航空機、トラック、圧力記録には、自然のカテゴリー5のハリケーンが記載されています。

1 内側から観察

NOAAの研究用機は1980年8月4日から12日まで、アイウォール、雨帯、偵察、降水量、降水量などの飛行を繰り返す。キャンペーンは、遠くからの印象だけでなく、楽器のレコードを制作しました。

2 強力な大西洋ハリケーン

アレンはカリブ海を渡り、5度にわたってカテゴリー5の強度に達した。NOAAの後の技術報告は、暴風雨解析のための軌道、前方速度、圧力、風構造、降水量を再構成するものである。

3 自然な回転および弱まること

ハリケーントラックは周囲の圧力パターンと操舵風に反応します。海の熱、内部のアイウォールサイクル、乾燥した空気、せん断と陸地相互作用によって強度が変化します。予測誤差は外部ステアリングの証拠ではありません。

4 CLAIM: コスモスステアリング

AL57は、ソ連のプラットフォームがアレンをヒューストン、ニューオーリンズ、モバイルに回し、それらを空白にし、流通を混乱させたプロトン雲を作ったと述べた。提案されたコントローラはベターの説明にのみ表示される。

5 なぜSTORMFURYが重要なのか

NOAA独自のハリケーン種苗プログラムは、自然眼球の進化を実験効果と間違えたことがある。難しい教訓は、帰属が制御された証拠を必要とする理由と、劇的なタイミングだけでは不十分である理由を説明します。

6 証拠評論

アレンは例外的でよく観察された。機関記録は、自然の熱帯サイクロンをサポートし、AL57の軌道制御ストーリーに一致する介入を記録していない。

出典 · [E,R,S] AL57; NOAA/NWS Report 35; NOAA Hurricane Research missions

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD14 · ページ 7/8

「シベリア特急」と呼ばれた寒波

記憶に残るニックネームがベターの気象戦争列車の最後の馬車となった。

1 1982年1月

激しい寒さの流行、雪、氷、有害な風がアメリカ合衆国の大半を襲った。AL71は、その本当の天候とフロリダ航空90便の悲劇の中で開幕した。

2 大気中のルート

北極の流行は、大規模な圧力パターンとジェット流が極地空気を南に押し上げることを可能にするときに発生します。極渦は持続性があり、自然に変化し、1977年と1982年を含む多くの歴史的アメリカ寒波を伴う。

3 CLAIM:エアボーンコンベア

AL71は、宇宙航空隊がシベリア航空を攻撃し、高度で太平洋を横断し、北米上空に降ろしたと主張した。観測ネットワークはプラットフォーム、ビーム、または充電廊下を報告していません。

4 警告から再発まで

AL79は、シベリアエクスプレスが戻り、寒冷な気候、太平洋ハリケーン、作物の報復リスクを接続していると述べました。通常の再発は、熱や寒さ、干ばつや雨といった、反対の結果を説明するように設計された理論の内部の証拠となった。

5 3層の層を離れて保ちました

資料:雲の種まき、Popeye、STORMFURY、誘発地震。適当な条件の下で局所降水または霧の効果。ハリケーンを操縦したり、大陸の大気を運んだり、選択した地震を遠隔で起こしたりする。

6 調査ルール

物理と整合するメカニズム、イベント前とイベント中に行われた測定、独立した確認と失敗する可能性のある予測を尋ねます。カセットは、それらがなければ、文化的な人工物であり、気象観測器ではありません。

出典 · [F,G,T] AL71 and AL79; U.S. National Weather Service polar-vortex history

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD14 · ページ 8/8

出来事と主張の年表

記録された出来事はベターの物語の日付と区別される。

日付・出来事と出典・意義または主張

1962–1983 · プロジェクト STORMFURY

1966–1972 · プロジェクト・ポパイ

1977-05-18 · ENMOD 条約

1977-08-26 · 可聴周波手紙25

1977-11 · 1977年11月 アンドラサイクロン

1978-05-26 · 可聴周波手紙34

1980-02-24 · 可聴周波手紙 54

3 - 10。8。1980年8月3-10日 ハリケーン・アレン

1982-01-29 · 可聴周波手紙 71

1982-09-30 · 可聴周波手紙 79

歴史と物語の線

ポパイは、クラウドシーディングプロジェクトと地震の誘発を報告した。アレンの軌道、アンドラサイクロン、1982年の寒い大流行は、測定可能な気象学的な説明をしている。ベターの沿岸グリッド、月光線、宇宙圏、制御された地震攻撃は、未だに支持されていない解釈層である。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

SD15 · ページ 1/8

大韓航空902便

危機に陥った極地航路の大韓航空902便

特別資料15 — 1978年4月20日 — ナビゲーション、インターセプション、生存および競合する説明。

アンカレッジを経由してパリからソウルへの旅は、ソビエト連邦の凍った湖で終わりました。出発と救助の間に大きな逸脱があり、軍事的傍受と死者2人であった。この論文は人間の物語とそれの周りに構築された競合する説明に従っています。ベターの 音声書簡 33は、外交、航空、宇宙史の記録と比較される。

1

イベント

1978年4月20日 - ボーイング707が就航。

KAL902は、別個のケースです。1983年のKAL 007では、航空、航空機、災害が別々に発生した。日付と航空機の身元は別々にする必要があります。

2

ソース

外交官と技術アーカイブ

写本はベターの言葉を確立している。ルーカートとトムセンは外交経験を積んでおり、NASA、NRO、FAA、FRUSは独立してチェック可能な文脈を提供する。

3

紛争

ナビゲーション、シグナル、カウント、意図

ソースが競合すると、違いが見えなくなります。精度には、再建の限界を認め、発見されていないレコードを発明することの減少が含まれる。

この資料の読み方

CLAIMはベターの解釈を特定する。RECORDは、歴史的または技術的なポイントを記録マークします。編集上の質問は、クレームをテストするために必要なものを説明する。全てのシーンは、周期写真や正確な技術図面ではなく、新たに作成されたイラストです。

出典と図版

音声書簡の写本はベターが主張したものを確立する。現代の文書、アーカイブ、制度的な履歴は、別々の検証と文脈を提供する。キャプションは編集パラフレーズ、画像は新しく作成されたイラストです。完全な参照はSources.pdfとSources.txtに添付され、ZIPに含まれている。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD15 · ページ 2/8

極地航路での航路逸脱

1978年4月20日 - 計画中のアンカレッジ停留所であるパリ、そして予想外のソ連行き。

1 パリ発着

ボーイング707がオルリーを離れ、アンカレッジ経由でソウルへ。1978年の902便は1983年の007便事故から切り離した。[H1, H3]

2 航空機

ICAOはボーイング707として登録HL7429として航空機をリストします。写真は新しいイラストです。写真でも、コックピットの正確な構成の記録でもないのです。[H3]

3 計画された交差

計画された旅はアラスカに向かって続いた。代わりに、バレンツ海とソビエト航空に到着。ルートのずれが確立される;動機は別の証拠を必要とします。[H1, H2]

4 北のナビゲーション

FAAガイダンスは極地と磁気信頼性を特別な操作問題として扱う。この一般的な事実は、この航空機の正確な故障を識別しない。[H4]

5 Sunlight は手がかり

太陽の位置はクロスチェックを促すことができ、それ自体が完全なフライトの再構築ではありません。私たちの分析は、時間、方向、楽器、そして各証人が実際に見ることができるものを考慮しなければなりません。

6 敏感な海岸

コラ地域には、重要なソ連海軍と軍事拠点があった。地理は警報を説明するが、敏感な地域を横断しても偵察任務は確立されない。[H1]

出典 · [H1–H4] Pan Am; Rueckert; ICAO; FAA.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD15 · ページ 3/8

迎撃、機体の損傷、生還

民間機が攻撃されたが、ほとんどの乗員は生き残った。

1 インターセプター

ソ連のSu-15戦闘機が機体を迎撃した。後に両者は信号、無線連絡、乗組員の反応について矛盾する説明をした。[H2]

2 紛争の解決

パイロットは無線通話が失敗したと述べ、ソビエト連邦の証言は不服従を主張した。劇的な描画や想像上のコックピット対話は、その不一致を解決することはできません。[H2]

3 ミステリーアカウント

外交官のジョージ・ルーカートとピーター・トムセンはミサイルやロケットの攻撃について述べている。銃撃を勧める。我々はミサイルの説明と意見の相違を明確に示す。[H2, H5, P1]

4 キャビン内

破損した翼と穿孔した胴体は減圧と急速な降下が続いた。乗客2人が死亡した。生存者の恐怖は、すべての地政学理論とは独立して注目に値する。[H1]

5 滑走路の代わりに氷

乗組員は、凍ったカレリア湖に損傷したジェット機を運んだ。着陸で多くの命が守られ、なぜ飛行機がここまで迷ったのかは解決しなかった。[H1, H5]

6 ヘルプとクラスト

エピソードは救助と外交的拘留の両方となった。韓国は、モスクワに大使館がなかったため、アメリカからの援助を求め、日本も援助を求めました。[H5]

出典 · [H1, H2, H5] Pan Am; Rueckert; Tomsen / ADST.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD15 · ページ 4/8

ベターのいう「空飛ぶルシタニア号」

CLAIM: 次のシーンは、回復した証拠ではなく、疑惑を視覚化する。

1 クレーム — アナログ

乗客をスパイ行為のカバーとして役立てるのがよい。彼のルシタニアの比較は道徳的な枠組みを提供するが、航空機がどの装備を運んでいるかを例証することはできません。

2 クレーム — 隠しセンサー

彼は偵察の道具を乗船させる。この概念ラックは、回復したアイテムではなく、私たちのイラストです。説得力のあるテストでは、認証済みインベントリ、写真、または検査記録が必要です。

3 Claim — CIAリンク

CIAの受信機への送信をコード化している。そのリンクを確立するには、傍受されたメッセージは、トレース可能な発信元、タイミング、およびコンテンツを持たなければならない。

4 クレーム — 意図的なルート

彼は偏差を意図的に扱う。どの観測が計画されたミッションとナビゲーション障害を区別するのでしょうか?基地への近接性は、これ単独では答えられない。

5 クレーム — 欠損衛星

彼は、このミッションを、失われた米国のスパイ衛星ネットワークで説明します。この議論は2つ目の大きな主張に依存する。次のページでは、独立レコードに対する軌道前提をチェックします。

6 クレーム — ヴァンスの決定

情報筋は、ヴァンスが合意を遅らせ続けることを許している。一貫性のあるストーリーには、コレクション、配信、受領、変更された決定をつなぐドキュメント化されたチェーンが必要です。

出典 · [P1] AL33, 項目 2.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD15 · ページ 5/8

軌道上の衛星をめぐる前提

実際の宇宙船の名前は、ストーリーの中でそれらに割り当てられたミッションを認証しません。

1 クレーム — コスモス 929

ベターはコスモス929をビームアームのインターセプターとして演じている。イメージは投機的です。宇宙船の識別は識別ラベルであり、ここで示されている武器の証拠ではない。

2 レコード — tks テスト

NASAのハードウェアの歴史は、1977年7月17日に打ち上げられた無人TKSテストとしてコスモス929を識別した。リターンカプセルとFGBモジュールを組み合わせたものです。[H6]

3 画像は原因を必要とします

空の光は、その原因が不確かである間撮影することができます。秘密の戦闘に割り当てるには、独立した軌道、タイミング、物理的な証拠が必要です。このパネルは質問を表しています。

4 記録 — 再考

NROは1971-1986年にHEXAGON偵察計画を行った。パノラマカメラを使い、露光済みフィルムを回収機材で戻していた。ビーム兵器ではなかった。[H7]

5 空の空ではなく、連続性

機密解除された歴史記録は1978年以降も継続している。これは、恒久的な排除の包括的なストーリーと矛盾します。それ自体では、特定の日にすべての能力を明らかにするものではありません。[H8]

6 レコードを区別する

軌道テスト、報告された光、知能理論は、異なる種類の情報である。関連したNASAとNROの記録を参考にして、技術識別を行う。

出典 · [P1, H6–H8] AL33; NASA Mir Hardware Heritage; NRO histories.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD15 · ページ 6/8

モスクワ、ソウル、帰国への道

外交は文書化されており、好意の交換はそれ自身の証拠を必要とする。

1 20 4月/ヴァンスとグロミコ

ヴァンスのケーブル記録によれば、モスクワは、その日、SALT IIについて長い議論を重ね、その後、私的な議論を行った。日付の偶然は本物であり、直接チェックすることができます。[H9, H10]

2 ケーブルが含まれているもの

文書ではミサイルの天井、新しい武器の種類、解体、バックファイア爆撃機について論じている。交渉、意見の相違、妥協案の提案などが示され、902便の発注書は提出されていない。[H9, H10]

3 韓国語 troop 質問

より良いのは、この事件を、韓国からの米国の撤退を遅らせることです。4月21日、政策覚書が、より広いアジア戦略における離脱調整について、個別に議論している。タイミングだけでは交渉は成り立たない。[P1, H11]

4 領事のタスク

トムセンは、ソ連のミハイル・カピツァ大統領が関与するアクセスと解放をめぐる交渉を思い出す。この証言は外交危機管理について記述しており、民間飛行がスパイ行為として委託されたという証拠はない。[H5]

5 パンアム へ helsinki

パン・アム・ボーイング727が、解放されたグループをムルマンスクからヘルシンキへ避難させた。ルッカートは4月23日早朝に正式な引き渡しを行い、パイロットと航海士は拘束されたままとなった。[H1, H2]

6 最後の2つのリターン

飛行士2名は後に釈放され、写真は4月29日にコペンハーゲンに到着した。彼らの声明は拘留と尋問の文脈で読まなければならない。[H2]

出典 · [H2, H5, H9–H11] Rueckert; ADST; FRUS 200, 201, 76.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD15 · ページ 7/8

証拠から判断できる範囲

それぞれのソースに何が答えられるかだけを問うと、劇的なケースがより明確になる。

1 マッチしないカウント

パン・アムの歴史では110回が記録されており、ルッカートの総計は113回である。我々は、矛盾したアカウントから決定的なマニフェストを製造するよりも、矛盾を保っている。[H1, H2]

2 ダメージ対解釈

負傷した翼とキャビンは秘密任務を識別しません。物理的な被害、武器の識別、政治的意図は3つの別々の質問であり、それぞれが適切な証拠を必要とする。

3 ウィッチネスには限界があります

外交官は、両方のコックピット内の観察者ではなく、余波に参加した。彼らのアカウントは重要ですが、記憶、説明、直接観察は交換可能として扱うべきではありません。[H2, H5]

4 人間のスケール

日記のモチーフは、乗客の視点のイラストであり、ファクシミリではありません。恐怖と生存は、陰謀の証拠に転換することなく、この物語の力を説明します。

5 結果の変更は?

認証された注文、検証済みの機器在庫、または追跡可能なインテリジェンス送信は、評価を大きく変える可能性があります。未回答の質問は、そのギャップを埋める許可ではなく、調査する理由です。

6 測定終了

攻撃、緊急着陸、外交救助は記録を越えてサポートされています。調査対象となった情報源では、スパイ行為の解釈は未だに確立されていない。失われた2つの命は修辞的装置ではありません。

出典 · [P1, H1–H12] AL33; Pan Am; ADST; NASA; NRO; FRUS; ICAO.

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD15 · ページ 8/8

出来事と主張の年表

記録された出来事はベターの物語の日付と区別される。

日付・出来事と出典・意義または主張

1977-07-17 · Cosmos 929 — NASA 無人 TKS テスト、ピーター・ベター のポートレイルとは異なり、文書化された役割。

1978-02-02 · FGB の飛行は NASA の記録は Cosmos 929 の軌道セクションの deliberate の deorbit を欠きます。

1978-04-20 · KAL 902はパリ・アンカレッジ・ソウルを出発し、計画された旅程であった。

20-21 4月 カレリア氷への攻撃と着陸 インターセプション、損傷、緊急着陸。

1978-04-20 · ヴァンスズケーブルFRUS文書SALT IIとグローマイコとのディスカッション。

1978-04-21 · アジア戦略Brzezinskiの記念品も韓国の撤退調整を検討しています。

1978-04-23 · Rueckert、ヘルシンキへの避難によると、グループが手渡しました。

1978-04-28 · 音声書簡33 ピーター・ベターは、イベントの8日後に解釈を提示します。

1978-04-29 · 2つの役員は、リリースされたパイロットとナビゲーターがコペンハーゲンに到着します。

1983-09-01 · KAL007 — 別のケースでは、SD15の被験者ではない。

生存は文書化されます。秘密のタスクはそうではありません。

調査された記録は、飛行、攻撃、救助外交の物語を支えています。CIAの秘密任務は確立していない。独立した証人も反対する; 従って不明確な詳細はラベル付けされ、完全なソースレジスタが添付される。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

SD16 · ページ 1/8

スペースシャトル・コロンビア

コロンビア：一つの計画をめぐる二つの説明

1981-1982|STS-1からSTS-4まで|ベター氏の主張とNASAの記録

テレビでは、再利用可能な宇宙船が新しい時代を開く。ピーター・デヴィッド・ベターのテープには、軍事的に宇宙へのアクセスを巡る隠れた戦いが展開されている。この文書は、コロンビア初の4回の軌道テスト飛行を通じて、彼の説明の進化に続いています。

1

試験プログラム

飛行記録、乗組員と技術的な問題

エンタープライズ、熱タイル、エンジンテストから始めます。最初の軌道飛行の本当のリスクは、この話の重要な部分です。

2

代替シナリオ

AL62、64、65、68、70、72、73、76

予測された秘密のペイロード、損害と代替品、そして成功の主張。各段階には日付と証拠の負担があります。

3

軍事関係

STS-4の実際のペイロードと解釈限界

この計画は民間人および防衛目的に役立った。承認された軍事実験は、宇宙との戦闘を証明していません。

時間枠

この文書は、2003年のSTS-107事故ではなく、1981-1982年の早期飛行に関するものである。秘密操作のイメージはベターのシナリオを表している。本物の写真や技術計画ではない。

出典と図版

音声書簡の写本はベターが主張したものを確立する。現代の文書、アーカイブ、制度的な履歴は、別々の検証と文脈を提供する。キャプションは編集パラフレーズ、画像は新しく作成されたイラストです。完全な参照はSources.pdfとSources.txtに添付され、ZIPに含まれている。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD16 · ページ 2/8

宇宙船が飛行を学ぶ

疑惑の前に:本当のエンジニアリングの課題。

1 新たな始まり

1979年3月、コロンビアはフロリダに到着した。再利用可能な有翼宇宙船は、軌道への別のルートを約束したが、その約束を飛行に持ち込むには何年ものテストが必要だった。

2 壊れやすい盾

熱タイルは真の工学的関心事でした。ベターは議論を認めていたが、AL62では遅延はソ連軍の宇宙封鎖のカバーと解釈した。

3 20秒以上

AL62はパッドの短発火を強調しました。NASAは3基の推進試験アセンブリの全期間の発射を含む長年の地上試験も記録している。

4 企業はグライダーでした

1977年には5回のフリー・アプローチ・アンド・ランディング飛行を行った。エンジンはダミーで、表面はヒートシールドを模擬していた。これらの試験は大気であり、軌道ではなかった。

5 2人の男性、最初のフライト

ジョン・ヤングとロバート・クリプペンがSTS-1を乗った。最初の軌道のシャトルテストは、人々を運びました:実質的で珍しい要求の厳しい飛行試験の決定、隠されたペイロード自体による証拠ではありません。

6 1981年4月12日

コロンビアは39A号台から離陸し、4月14日にエドワーズに戻った。NASAは、そのペイロードを飛行試験計器とみなし、ベターは根本的に異なるミッションを説明した。

出典 · AL62; NASA STS-1, MPTA history, Enterprise ALT

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD16 · ページ 3/8

ベターが予測した任務

AL62、1981年2月28日 - STS-1以前に起きた疑惑。

1 発売前

ベターはSTS-1の数週間前に自身のアカウントを紹介した。その前提は、ソ連の宇宙兵器がアメリカの偵察網を破壊し、シャトルはそれを復旧しようとすることであった。

2 軍の動機

彼は、核攻撃の準備に偵察任務を結びつけた。この動機は、より広い地政学的な理論に属しており、引用された手紙は、独立した検証可能な運用記録を提供していない。

3 装甲衛星

彼の提案されたペイロードは、巣詰めしたタングステンシェルで保護され、レーザーで武装した自動偵察戦闘ステーションでした。イラストは概念的なもので、回収された設計や検証済みの宇宙船ではない。

4 シャトルの外での作業

計画された順序で、ヤングとクリップペンは衛星を宇宙に組み立てる。NASAのSTS-1は、組み立てミッションではなく、計器で車両テストを記録する。

5 別のリターン

ベター氏は、ジェミニのようなカプセルがクルーを密かに太平洋に連れて行き、テレビが事前に録画されたシーンを見せたと述べた。これは彼の予測の一部であり、独立した文書化された救助ではなかった。

6 2つの土地の物語

コロンビアが西オーストラリアに密かに上陸し、エドワーズにエンタープライズが進出すると予測した。この当初のシナリオは、コロンビアが破壊されたという後の主張とは別物である。

出典 · AL62 項目 1; NASA STS-1 mission assessment

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD16 · ページ 4/8

STS-1以降の説明の変化

AL64とAL65:傍受、代替および隠蔽の疑惑。

1 舞台としてのテレビ

AL64では、ベターは放送が準備されたオーディオとシミュレーション画像に切り替えたと主張した。解説や曖昧な影の変化は、それ自体がミッション全体が実行されたことを立証しない。

2 代表的な介入

彼はシャトルをインターセプトする7つの巨大なソビエトの「超重」宇宙圏について説明しました。彼の主張する北方飛行経路は、NASAが記録したSTS-1軌道とは異なり、約40.3度傾いている。

3 請求された損失

ベターは中性子ビームがヤングとクリッペンを殺し、車両を妨害したと主張する。NASAは帰国後のキャリアを記録する。死亡の証拠は、この手紙には記載されていない。

4 2003年の事故ではない。

1981年4月にソ連領を分割した。これは、2003年2月1日に行われたコロンビア事故の記録とは異なっており、21年以上後のものである。

5 交換のチェーン

彼はエンタープライズ、人間のレプリカ、隠された代替オービターを呼び出しました。AL65は次のミッションに対する不一致としてフェリー便遅延を解釈した。それぞれの主張は、それ自身の証拠を必要とします。

6 試験可能な差別化

エンタープライズの文書化された構成は、主張されている動力付き軌道下の役割と矛盾する。ミッションレポートと車両記録は検証すべき証拠を提供し、イラストは何も提供しません。

出典 · AL64 all 項目; AL65 項目 2; NASA STS-1 and Enterprise records

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD16 · ページ 5/8

STS-2：短縮された飛行

1981年11月 - 燃料電池の故障と競合する解釈。

1 パッド上の遅延

AL68は、窒素四酸化窒素流出とタイル作業は意図的に停止した。NASAの年代記録では、11月の打ち上げ前の流出、修理、技術的な遅延が記録されている。

2 2人目の乗組員

ジョー・エングルとリチャード・トゥルーリーは1981年11月12日に打ち上げられた。STS-2は、同じオービターが再び飛行できるかどうかを試験し、地球観測機器とカナダのロボットアームも搭載した。

3 なぜ早く戻ってきたのか?

燃料電池が故障した。NASAは計画していた5日間の飛行を2日強に短縮した。記録されている技術的欠陥は、この短い任務が事前に偽装されたというベターの主張と等価ではない。

4 継続的使用テスト

乗組員は、最初の軌道テストを含むテストプログラムの大部分をまだ実施していた。短命なミッションは重大な機能不全と価値のある結果の両方をもたらす可能性がある。

5 ピーター・ベター の新しいバージョン

AL70はエンタープライズが偵察任務を遂行し、改造されたTu-144のビームによって破壊されたと述べた。このアカウントは以前に予測されていた中止を置き換えたもので、引用された飛行記録ではサポートされていない。

6 文書化されたリターン

コロンビアは11月14日にエドワーズに上陸した。ベターは再利用されたテレビ映像と別の代替シャトルについて説明した。繰り返し置換の理論は、全ての反対レコードについてそれ自身の説明よりも多くのものが必要である。

出典 · AL65 項目 2; AL68 項目 2; AL70 項目 2; NASA STS-2

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD16 · ページ 6/8

STS-3：ホワイトサンズへの着陸

1982年3月: 工学試験、気象、そして最初の秘密の成功を収めた。

1 1982年3月22日

ジャック・ルーマとゴードン・フラートンはコロンビアの3度目の軌道テストを開始した。NASAの記録では、軌道傾斜角が38度と、北へ向かう道のりが隠されていることが再び説明されている。

2 要求の厳しい週

飛行には熱試験と科学実験が含まれていた。乗組員の病気や設備上の問題が報告されました。軍事任務が失敗した場合に備えて、そのような報告を準備された言い訳として解釈する。

3 湾にいたのは?

NASAはOSS-1科学パレットとロボットアームの研究を文書化する。AL72では、ベターはレーザー兵器と装甲偵察衛星を予測していた。これらは異なる説明であり、交換可能なラベルではない。

4 要求された成功

AL73では、彼は衛星が配備され、乗組員がカプセルに戻っている間、シャトルは軌道に出発したと述べた。彼はその成功を「プロジェクトZ」戦争シナリオに結びつけた。

5 天気が変更されたプラン

雨はエドワーズを不適当に残した。ホワイト・サンズは代替着陸地点となり、強風が襲来を1日遅れさせた。NASAのアカウントと参加者の口頭記録には、厄介な石膏の粉が記載されています。

6 3 月 30 日: タッチダウン

コロンビアは8日後にノースラップ・ストリップに上陸した。ベターは、秘密基地から代用機が到着するのを見た。ホワイト・サンズの文書化された支援の役割は本物であり、隠されたと主張される艦隊を確立させるものではない。

出典 · AL72 項目 2; AL73 項目 3; NASA STS-3 and John Tribe oral history

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD16 · ページ 7/8

STS-4：記録に残る軍との関係

文書化された防衛ペイロードは、秘密宇宙戦争を検証しない。

1 防衛はマニフェストにありました

STS-4は、アメリカ国防総省が支援する最初のシャトルペイロードを運んだ。NASAの後の歴史では、地球の手足と大気の背景を研究するための赤外線装置であるCIRRISが識別されている。

2 最終テストクルー

ケン・マッティングリーとヘンリー・ハーツフィールドは1982年6月27日に打ち上げられた。彼らのプログラムは、車両試験、防衛研究、民間実験を組み合わせた。シャトルの軍事的接続は、ベターを批判的に検査するために拒否される必要はありません。

3 2つの異なるセンサーの物語

AL76は、核攻撃を確認するために、静止軌道にセンサーを配置すると主張した。文書化されたCIRRIS実験はシャトルペイロードのままであり、故障した。これらのアカウントは混乱してはいけません。

4 パブリックレコードの失敗

固体ブースターケーシングはパラシュートの故障で失われた。タイル内の雨水は、熱試験の変化を促しました。NASAの記録には、欠点と成功が含まれており、完璧なパフォーマンスストーリーではありません。

5 1982年7月4日

4度目の試験はエドワーズの具体的な滑走路で終了した。ベターのAL76は、飛行中の6月30日に記録され、そのタイミングを念頭に置いて、その主張を読みとらなければならない。

6 設立はいつまでも残っていますか?

ベターは詳細な代替話を残した。ここで調べられた情報源は、彼の隠れた損失、代替品、または戦いを確立しません。コロンビアの歴史は1982年以降も記録されており、2003年の損失は別個の出来事である。

出典 · AL76 項目 3; NASA STS-4, CIRRIS, Columbia vehicle history

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD16 · ページ 8/8

出来事と主張の年表

記録された出来事はベターの物語の日付と区別される。

日付・出来事と出典・意義または主張

1977 · エンタープライズ: 5つの無料フライト 大気中のアプローチとランディングテスト。

1981-02-28 · AL62: 秘密のミッション予測 アレグ衛星と別々の乗組員のリターン。

1981-04-12/14 · STS-1: 若い — Crippen は最初の軌道のコロンビア飛行を文書化しました。

1981年4月27日/6日

AL64とAL65 ベターは、車両の損失と代替品を主張します。

1981-09-30 · AL68: カバーとして解釈される次のチャンスの紛争の技術的な遅れ。

1981-11-12/14 · STS-2:Engle — 燃料電池の故障がフライトを短縮します。AL70 は異なるアカウントを追加します。

1982-03-22/30 · STS-3: ルーズマ — フラートン・ホワイト・サンズ; AL72 と AL73 は、比例した戦闘のミッションを記述しています。

1982年6月27日 - 4日

STS-4: Mattingly / Hartsfield DODペイロード; AL76は飛行中に記録されています。

2003-02-01 · STS-107の損失 別のイベント、後続イベント。ピーター・ベターの1981の物語ではなく。

密接に読み、特定の要求をテストして下さい

重要な問題は、独立して検証可能な証拠が主張を支持するかどうかである。軍事研究は本当に秘密であることができます。それはすべての詳細な代替アカウントを確立された事実にしません。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

SD17 · ページ 1/8

スリーマイル島とタイタンII

二つの事故と原因をめぐる二つの論争

1979-1980|民間原子炉と軍事ミサイル|AL45とAL58

制御された原子力技術への信頼に二夜が挑んだ。ペンシルベニア州では原子炉が損傷し、アーカンソー州のサイロでミサイルが爆発した。ピーター・デヴィッド・ベターは両方の出来事において意図を見た。この文書は、文書化された技術的文脈とともに彼の議論に従っている。

1

3マイル島

28 3月 1979/AL45

冷却の喪失、誤解を招く兆候とオペレーターの決定。確立したシーケンスはどこで終わり、サボタージュ告発が始まりますか?

2

ダマスカス — タイタンII

1980年9月18-19日 — AL58

落下した工具部品、燃料漏れ、爆発。ベターはこのシーケンスにソ連の宇宙圏を挿入しました。

3

ソースの比較

記録物語と調査記録

タイムライン、技術文書、武器システム履歴により、各ケースを個別に評価することができます。

どのようなケースを接続します。, それらを区別するもの

TMI-2は民間原子炉であり、タイタンIIは核弾頭を備えた軍用ミサイルであった。どちらも核爆発ではなかった。漫画のシーンは、現代の写真や秘密攻撃の証拠ではなく、新しい編集的な再構築です。

出典と図版

音声書簡の写本はベターが主張したものを確立する。現代の文書、アーカイブ、制度的な履歴は、別々の検証と文脈を提供する。キャプションは編集パラフレーズ、画像は新しく作成されたイラストです。完全な参照はSources.pdfとSources.txtに添付され、ZIPに含まれている。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD17 · ページ 2/8

スリーマイル島のある朝

1979年3月28日:民間人原子炉事故、核分裂ではなく。

1 夜明け前

午前4時頃、ペンシルベニア州ミドルタウン近くでTMI-2が蒸気発電機から主供給水を失った。タービンと原子炉は自動的に停止した。日常的に割り込みが重大事故となった。

2 シュートダウンは終了ではありません

連鎖反応を停止してもすぐに熱は除去されません。オペレーターは冷却を維持する必要があった。原子炉の停止と安全な熱除去の区別は、拡大する危機を理解するために不可欠である。

3 2つの異なる問題

補助的な給水路は当初閉鎖された。別に、プライマリシステムのリリーフバルブが立ち往生しました。第1号は熱除去に、第2号は原子炉冷却材が脱出するのを許可した。

4 誤解を招く徴候

制御室の表示は、リリーフバルブが開いたままであることを示すことはなかった。加圧器内の高い水位は、原子炉容器に十分な水が含まれているという証拠と誤っていた。

5 混乱の決定

オペレーターは緊急噴射を削減し、クーラントポンプの振動を停止しました。NRCアカウントは、誤解を招く情報とトレーニングの不足を通じてこれらの行動を説明する。アクションは冷却を悪化させた。意図は別の質問だ。

6 フェンスの外側

コアは部分的に発見され、深刻な損傷を受けた。外では、住民は不確実性と矛盾する情報に直面しました。損傷した原子炉と公共の恐怖は文書化されているが、彼ら自身はサボターを識別していない。

出典 · NRC Backgrounder; Bulletins 79-05A and 79-06; AL45

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD17 · ページ 3/8

意図的な行為とみたベター

AL45, 27 1979年4月: 実際の緊急事態に関する告発。

1 1ヶ月後

AL45では、ベターはスリーマイル島をガイアナの国内版と呼んだ。彼は原子炉危機を以前のジョーンズタウンの記録と結びつけ、両者を民間人の故意の犠牲とみなした。

2 閉弁を手掛かりとして

ベターにとって、閉じたバルブと冷却の中断は、無実である可能性は高かった。彼は妨害行為を推測した。NRCは誤ったバルブのアライメントも記録していたが、調査と修正が必要な安全上の障害として扱われた。

3 代表的な目的

彼の提案された動機は政治的なものだった: 公共を怖がらせ、原子力発電所を閉鎖し、エネルギー不足を深め、政府の管理を拡大する。彼はこの計画は、彼がボリシェヴィキと呼んだ隠れた派生物に帰せられた。

4 恐怖は物語の一部になります

優れたこの大きなデザインの要素として、公衆警報と混乱するレポートを扱いました。それらは、理解されていない緊急事態時にも発生します。同じ視覚的な結果は、複数の因果説明に適合することができる。

5 文化背景の背景

彼は、中国症候群の時期を事故を取り巻く気候に結びつけた。彼の議論では、映画と災害が互いに補強しました。時間的協会は調整を確立しない。

6 意図した確立は何ですか?

認証された命令、証明された証言、または追跡可能な干渉は告発をサポートする可能性がある。AL45はベターの解釈と匿名情報源を提供しており、TMIで誰が妨害を命令したかの証明は独立して検証できない。

出典 · AL45 項目 1; NRC Bulletin 79-05A

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD17 · ページ 4/8

調査によって何が変わったか

技術的原因、公衆のコミュニケーション、請求の制限。

1 再構築するためのシーケンス

調査官は設備の挙動、オペレーターの行動、およびイベントの年代学から働きました。NRCの説明は、コンポーネントの障害、設計上の弱点、ヒューマンエラーを組み合わせたものだ。ベターが提案した政治的指揮権は、事故の背後には実在しない。

2 問題のインターフェイス

1979年4月 NRC の弾丸はバルブ表示、冷却剤在庫および操作手順に対処した。これらの記録は深刻な弱点が公に認められていることを示している。制御信号とバルブの実際の位置は、同じ証拠ではありません。

3 安心・信頼

混乱したコミュニケーションは工場の向こうで危機を激化させた。その後、緊急計画と調整に関する改革が実施された。公共の信用は説明に値するが、不信は事故のどの説明が正しいかを判断できない。

4 測定結果

NRCのレビューでは、小さな放射性放出と、労働者や一般の人々の間で検出可能な放射線関連の健康影響が報告されていない。その発見は重度の原子炉損傷とは別物です。AL45の医療上の主張は信頼できる健康ガイドではありません。

5 失敗から学ぶ

NUREG-0585は、プラント設計、運用、規制の変更を推奨した。訓練、手順、制御室情報は中心的な教訓となった。技術的なアカウントは、隠れた攻撃者を必要とせずに制度上の障害を露呈することができる。

6 ケースは別々に保たれました

TMI-2は民間の原子炉である。次の事例は、危険な推進剤と核弾頭を備えた軍事ミサイルに関するものである。彼らの共通のテーマは失敗の解釈であり、実証された一般的な操作ではない。

出典 · NRC 79-05A, 79-06, NUREG-0585, Backgrounder; AL45

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD17 · ページ 5/8

アーカンソー州ダマスカスの夜

1980年9月18-19日:タイタンII事故。

1 異なる核システム

タイタン2号は、アメリカ軍の抑止力の一部として地下サイロに存在した。保存可能な液体推進剤は迅速な準備を可能にしたが、厳しいメンテナンス上の危険を生んだ。ダマスカスは原子炉ではなく軍事施設であった。

2 9月18日(火)メンテナンス

ダマスカス近郊の発射施設374-7で作業中に、レンチからソケットが落ちました。事故アカウントは、この落下したツールコンポーネントを燃料リークの開始として識別します。

3 パンクタンク

ソケットはミサイルの燃料タンクに衝突し、穴を開けた。これは文書化されたシーケンスにおける物理的なメンテナンス事故でした。図は、武器設計やメンテナンス手順を再現することなく、そのシーケンスを伝えます。

4 危険時間

人員は撤退し、近隣住民は避難し、専門家は危険な大気を評価した。応答機が急変し、プロペラが漏れた。長い間隔は後にベターの別の説明にとって重要となった。

5 9月19日(水)〜3時

爆発でミサイルは破壊され、サイロは破壊された。これは核爆発ではなく、推進剤の爆発でした。核弾頭の存在は回復を急ぐが、核爆発は起こらなかった。

6 人件費

デイヴィッド・リビングストンが死亡し、他の空軍の人員が負傷した。公式事故概要では、弾頭の回収と放射性汚染の記録はない。損失は原子爆破なしで深刻であった。

出典 · NPS Titan history; DoD accident summary; AL58

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD17 · ページ 6/8

ベターが語った襲撃説

AL58, 30 1980: アーカンソー州の宇宙空間。

1 代替原因

爆発の11日後にベターは、アメリカ軍が1発のミサイルを攻撃した最初のソ連軍であると述べた。彼の話では、燃料流出は意図的な攻撃を事故として装う機会を作り出しました。

2 サイトを上回る待ち時間

ソ連の宇宙空間は、地元の人々が警告され避難している間、高いオーバーヘッドを待っていたと、彼は主張しました。AL58に車両が供給されていることを示す独立した認証された観察記録や運用記録はありません。

3 隔離されたビーム

ベター氏は、荷電粒子ビームがサイロに衝突し、ミサイルの破壊を引き起こしたと述べました。この絵は彼の主張を視覚化している。回復した技術図面、法医学的発見、またはそのような攻撃が起こったという証拠ではありません。

4 新たなミッションを掲げる

また、タイタン2号は軌道を画分的に攻撃するために改造され、新しいコバルト弾頭を装備したと主張した。これらの主張は彼の戦略的な物語に属す。NPSは代わりにW53弾頭を備えたタイタンIIを配備した。

5 秘密は識別されません

ベターは弾頭に対する公式な注意を、その代替品の隠蔽と解釈した。核兵器に関する機密は、限られた公的なコメントを説明することができ、証拠を裏付けることなく、別の弾頭を特定することはできない。

6 2つの音、1つの推論

ビームストライキの支援として連続した爆風が報告され、その後に推進剤爆発が起こった。複数の音が一意に武器を識別しない。その原因を確立するには、聴覚シーケンスを超えて証拠が必要になる。

出典 · AL58 項目 2; NPS Titan history; DoD accident summary

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD17 · ページ 7/8

二つの事例と証拠の確かさ

出来事、説明、および不明な証拠をはっきりとしてください。

1 若返りを調べる

ダマスカス事故のアカウントは、穿刺と燃料漏れから始まります。ベターは隠れた外部攻撃者を追加します。その追加の主張は、追加の証拠を必要とします。それは破壊の規模から自動的に従いません。

2 理論の前の人々

戦略的な議論の背後には、応答者、植物労働者、そして家族が本当に危険な状況にあった。彼らの経験は壮大な復興の背後で消えてはいけません。これらのイラストは、個々の目撃者の認証された肖像画ではなく、尊敬すべき編集シーンです。

3 攻撃のリスクがない。

核兵器は、敵のビームなしで危険な事故に遭う可能性があります。NPSは1963年から1987年までタイタン2号の運行を行っている。最終的に引退したとしても、ベターがミサイル部隊に対して行ったと疑われたこと自体は証明されない。

4 同じ機構ではない

TMIでは、冷却がいかに失敗し、なぜオペレーターが同じように行動したのかが問題だ。ダマスカスでは、メンテナンス事故が爆発的に発展しました。共通の政治的解釈は2つのメカニズムを融合させない。

5 テープが保存するもの

AL45とAL58は、ベターの現代的解釈を、恐怖的な出来事に残している。彼の思考記録としての歴史的価値は、彼のサボタージュと宇宙空間の主張が独立して検証できるかどうかとは別である。

6 記録を開いたままにチェック

ソースレジスターは、ここで使用されているテープ、技術通知、制度上の履歴を識別します。読者は比較を追跡できる。鮮やかなイメージは物語を伝えるのに役立ちます。ドキュメントやテストされた説明の代わりにはなりません。

出典 · AL45; AL58; NRC bulletins and NUREG-0585; DoD; NPS

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD17 · ページ 8/8

出来事と主張の年表

記録された出来事はベターの物語の日付と区別される。

日付・出来事と出典・意義または主張

1963 · Titan II は、サービス NPS: 運用サービスを開始しています。

1979-03-28 · TMI-2の冷却および中心の損傷の偶然の損失。

5/11 1979年4月 1979 NRC 報 79-05A と 79-06: 早期技術レッスン。

1979-04-27 · ピーター・ベターのAL45は政治的に監督されたサボテージの主張を主張しました。

1979-10 · NUREG-0585 安全方針の変更を提起しました。

1980-09-18 · ダマスカス ドロップ ソケット パンク 燃料タンクでリーク.

1980-09-19 · Titan II は、死と怪我を爆破します。核の衰退はありません。

1980-09-30 · ピーター・ベターのAL58は宇宙飛行攻撃と秘密の警戒を主張しました。

1987 · Titan II サービス終了 NPS: 運用期間終了

イベントは、自動的に説明を証明しません

事故はいずれも記録されている。ベターの意図の主張は別々に評価されなければならない:正確な詳細は、自身の提案された原因、俳優、政治的計画を確立するものではない。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

声の主、ピーター・デイヴィッド・ベター

声の主、ピーター・デイヴィッド・ベター

伝記資料|弁護士、作家、録音音声

音声書簡の声の後ろには、プロと出版の歴史があります。この文書はピーター・デヴィッド・ベターがカセット紙に提出した、財政と政治に関する訴訟から従うものである。アーカイブの痕跡は、出版社の伝記的主張や世界出来事の解釈と区別される。

1

弁護士・執筆者

裁判所の意見書・資料・蔵書

ファーリーとイングランドは、特定の法的作業を文書化する。WVUのアーカイブとWorldCatは政治的および出版的なトレースを追加します。

2

カセット上の声

オーディオブック・音声書簡

個々の記録から定期レポートまで: ナレーターとリスナーを直接接続する物理的なメディア。

3

ソースを調べる

伝記は全ての命題を検証しない

独立して確立できるものは何ですか?彼の説明からだけ来るものは何ですか。各タイプのソースは、実際のスコープ内で評価される。

伝記フレーム

伝記的プロフィールでは、1921年6月21日を彼の生誕地と日付として挙げており、出版者の紹介は1987年3月14日に彼の死を記録している。市民登録簿はここでは調べられなかった。シーンは、認証された個人的な出会いではなく、設定とアクティビティを示しています。

出典と図版

音声書簡の写本はベターが主張したものを確立する。現代の文書、アーカイブ、制度的な履歴は、別々の検証と文脈を提供する。キャプションは編集パラフレーズ、画像は新しく作成されたイラストです。完全な参照はSources.pdfとSources.txtに添付され、ZIPに含まれている。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD18 · ページ 2/8

マイクの前に立つ以前の法廷での仕事

1955-1956|実在のお客様、身元確認可能な事例

1 レコードの名前

テープの前には、法律上の仕事がありました。1955年のファーリー判事は、原告の弁護士としてワシントン州選出のピーター・ベターを指名した。

2 カウントされた夜

コーラ・ファーリーは、オルダーソンの連邦女性改革局で働いていた。彼女の主張は、通常の労働週を超えて、無給の一晩の義務を負った。

3 利用可能は自由を意味しませんでした

彼女は眠ることができたが、責任はとどまり、召集された。裁判所はこれらの制限を、自由に使えるプライベートタイムではなく、仕事として扱った。

4 1955年1月11日

裁判所は、彼女は時間外および夜間の差分を受ける権利があり、計算すべき金額は依然としてあると判断した。

5 次のケース

1956年に決定したイングランド対アメリカ合衆国戦では、ベターは他の将校を代表した。裁判所は彼らの動議を承認し、金銭的賞を授与した。

6 これが確立するもの

これらは検証可能なプロの外観です。政府に対してあらゆる訴訟で勝ったという広範な宣伝主張を確立していない。

出典 · H1-H2: Farley / England; H5: biographical profile

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD18 · ページ 3/8

法律、金融、政治

重量の異なる源泉から集めた伝記

1 ワシントン・教育

伝記的プロフィールには、WVUの研究、ジョージ・ワシントン大学法学の学位、1951年の私的実践が記載されている。詳細については、大学認定はされていない。

2 金融法務

プロフィールでは、アメリカ金協会とエキシムバンクと一緒です。現代の報道では、彼は元エキシムバンクの弁護士と呼んでいる。予約書類はここでは審査されていない。

3 事務所の入札

政治も彼の公的な生活の一部であった。WVUアーカイブは、1967-1968日付の知事候補ピーターD.ベター、上のファイルをカタログ化します。

4 アーカイブの正確な制限

ファイルはアーチA.ムーアジュニアの文書に属します:ボックスI.C.-14、フォルダ41。カタログは閲覧されたが、キャンペーンの論文は掲載されなかった。

5 1973年(昭和48年)に本書

WorldCatは、1973年にニューヨークでG. Brazillerによって出版されたThe Conspiracy Against the Dollarを記録。その本は彼の経済的な解釈を印刷で利用できるようにした。

6 ページ上の引数

金融の変化と企業権力の集中を結びつける枠組みです。図書館カタログは論文そのものではなく、出版物を検証している。

出典 · H3-H5; H7; P3

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD18 · ページ 4/8

声はどのように家庭に届いたか

ラジオ出演から自身の媒体まで

1 ラジオを通るルート

1983年のこの番組の紹介は、1974年にラジオでベターを聞いた支持者にこのプロジェクトを追跡したものである。出版社の自伝である。

2 独立したチャネル

その紹介によると、サポーターは1974年9月にAudio Booksを設立した。スタンドアロンオーディオブックスは、毎月の音声書簡シリーズに先行しています。

3 1975年6月21日

AL01は日付と番号で開きます。ベターは、混乱させる見出しの背後にある根本的な展開を説明し、視聴者に直接友人として対処することを約束する。

4 戻りアドレス

AL01の見出しは、オーディオブックをテキサスの法人と識別し、フォートワース郵便番号を与えます。これらは、情報アクセスの証明ではなく、出版の詳細です。

5 3つのトピック、1つの声

最初の号はフォートノックス、フォード、ネルソンロックフェラーを経由する。繰り返し話題になる構造は、リスナーに密集した政治的な物語を通す道を与えます。

6 リスナーとの関係

身近な挨拶、警告、祝福は、個人的な声を生み出します。これはテキストの編集的読解であり、観客の心理学の計測された説明ではありません。

出典 · P1: introduction; P2: AL01

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD18 · ページ 5/8

カセットテープの両面

アーカイブガイド|オリジナル録音、デジタル版、ノート。

1 注意の1時間

報道者は、それぞれの報告を1時間程度と説明している。カセットは、リスナーが一時停止、再生、共有できるような議論をしました。

2 AとB

パート01はサイドA、パート02はサイドB.C-60はサイドあたり30分、60分という名目上の合計値を示しています。

3 低いおよびHQ

LOWは標準デジタル版を意味し、HQは高品質のバージョンです。それらは、追加のエピソードや独立した目撃者ではなく、材料の代替エンコーディングである。

4 通訳前の日付

調査については、問題番号、日付、正確な経過に注意してください。予測の後の記憶は、実際に事前に記録されたものと比較されるべきである。

5 聴覚はセンサスではない

これらのシーンは、普通のリスニングとディスカッションを想像します。彼らは、名前付き購読者、特定の集まり、流通数、またはベターの視聴者のサイズを文書化しません。

6 チェーンを保存

記録、転写、編集の適応を区別してください。クリアなファイル名とカセット側の両方は、後者の読者が要約に頼るのではなく、ソースをリトレースするのに役立ちます。

出典 · P1-P2; current archive conventions supplied by its curator

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD18 · ページ 6/8

情報はどこから来たのか

ベターの声明、公文書、編集評価

1 アトリビューションのフォロー

AL01では、ベターはルイーズ・ボイヤーを情報提供者として識別し、自分が期待していたことを語ります。その写本は彼がこの帰属をしたことを証明している。

2 未名称のソースは名前をつけないまま

機密連絡先が疑われることは、物語の一部である可能性があります。独立した確認可能な記録がなければ、この資料は連絡先や提供された情報を認証することはできません。

3 反復は腐食しません

いくつかのウェブサイトは1つの写本を繰り返すことができる。コピーを別の証人としてカウントすると、単一の主張がそれよりも明白な重み付けになる。

4 予測をテストすることができます

AL01はロックフェラーがフォードに取って代わることを期待している。フォード図書館は、フォードが1977年1月20日まで大統領であり、ジミー・カーターが後を継いだと記録している。

5 認証情報にはスコープがあります

裁判所の意見は、法的外観を確立することができます。カタログ、本の出版物。後に主張される秘密操作の現実を自動的に確立することもない。

6 生産的な質問

劇的な主張のたびに、どの独立した証拠がそれを確認するか、矛盾するかを尋ねます。これにより、イラストが証明の代替となるのを防ぎながら、調査はオープンに保たれます。

出典 · P2: AL01; H8: Ford Library; H1-H4

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD18 · ページ 7/8

声は途絶え、記録は残る

1982年以降|生き残ったもの、そしてその読み方

1 1982年11月3日

AL80は今月初めから、レコーディングへの移行を発表している。ページでは、予定されている別れではなく、進行中のシリーズとして読みます。

2 最終的な規則的な問題

後に、AL80は最後の定期レポートとされ、健康状態が悪化した。その説明は出版社からきている。

3 世界の記録

AL80は、経済、軍事的危険性、クレムリン政治を一つの物語に結びつけている。保存することで、孤立した引用符だけでなく、ベターの進化する解釈を研究することができる。

4 人物と提案

文書化された弁護士と作家は、検証されていない主張を行うことができます。敬意の伝記とは、人の記録と各提案を適切な証拠で評価することである。

5 予測ではなく、アーカイブ

このエディションでは、元のステートメントをソースの状態を特定しながら利用可能にします。資料をデジタルで参照できると比較はしやすくなるが、歴史上のすべての論争に決着がつくわけではない。

6 証拠に戻る

永続的な招待は実用的です:聞いて、通路を見つけ、文書を検査し、比較します。添付のレジスタは、これらの図示ページを超えて読者を継続することができます。

出典 · P1; P4: AL80; H1-H4

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD18 · ページ 8/8

出来事と主張の年表

記録された出来事はベターの物語の日付と区別される。

日付・出来事と出典・意義または主張

1955 · Farley v. 米国オピニオン名 ピーター・ベター 弁護士

1956 · イングランドv.米国別の文書化された補償ケース。

1967–1968 · Gubernatorial候補WVU:キャンペーンファイルカタログ。

1973 · The Conspiracy Against the Dollar WorldCat: G. ブラジル人, ニューヨーク.

1974-09 · 出版者によると、オーディオブックは日付を創設しました。

1975-06-21 · 音声レター01 トランスクリプト開口部の日付。

1982-11-03 · 可聴周波手紙80シリーズの最後の規則的な問題。

1983 · 参照 ダイジェストのパブリッシャーは、独自のシリーズを要約します。

今日のデジタルアーカイブ記録は、適応と区別されます。

審査に開講するレガシー

ベターの法的および出版記録は、調査することができます。彼のテープは彼の時代の独特の解釈を保存。各ステートメントがスピーカーにトレースされることができ、それをテストできる日付と証拠があれば、アーカイブはより有用になります。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

ジョン・F・ケネディとキューバをめぐる情勢

JFK：ダラス、キューバ、ベターの説

1963年11月22日：証拠の検証と解釈

ベターの 音声書簡sでは、ダラスは秘密の世界政治の節目となります。この文書は歴史的文脈を復元し、彼の提案された動機とメカニズムを忠実に提示し、調査記録と比較する。イラストレーションは物語に付随し、証拠を置き換えるものではない。

1

ダラス

ケネディ、コナリー、オズワルド、ルビー

時系列は、文書化されたイベントを後の圧縮や物語の特定のエラーから分離する。

2

キューバおよびカスタットの操作

ブタ湾、モンゴル、ミサイル危機、グアンタナモ

文書化された秘密活動は歴史的文脈を提供する。大統領殺害と関連付けるには、独自の証拠が必要です。

3

ピーター・ベターと調査

AL03, AL21, AL22; Warren, HSCA, ARRE

著者の主張、委員会の現代的な発見、後に記録の開示を区別します。

この資料の読み方

ここではベターが何を根拠に主張したかを検討する。その解釈には異論がある。図版は現場写真でも技術的な復元図でもない。

出典と図版

音声書簡の写本はベターが主張したものを確立する。現代の文書、アーカイブ、制度的な履歴は、別々の検証と文脈を提供する。キャプションは編集パラフレーズ、画像は新しく作成されたイラストです。完全な参照はSources.pdfとSources.txtに添付され、ZIPに含まれている。

出典 · 出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 1 ↗

SD19 · ページ 2/10

ダラス：暗殺当日

1963年11月22日 基本的なクロノロジー

1 ルートの街

1963年11月22日、大統領式モーターケードがダラス中心部を横断した。テキサス学蔵本はディーリープラザを通るルートを見下ろしていた。

2 ショットの前に

ジョンとジャクリーン・ケネディが群衆に挨拶した。ジョン・コナリー知事と妻のネリーが、その前のリムジンの座席に乗馬した。

3 12:30頃まで

ケネディとコナリーを撃った。車はパークランドまで走った。このシーンは編集的な再構成であり、新しいカメラアングルや法医学展示ではありません。

4 社長のダイ

午後1時にケネディの死亡が宣告された。コナリーは一命を取り留めた。同日午後、ジョンソンは大統領専用機エアフォースワンの機内で就任の宣誓をした。

5 2つの場所、ない1

オフィサーJ.D.チップピットはオーククリフ通りで殺害されました。AL03は彼の死を映画館に置き、ウォーレンの証言は、街頭での銃撃と後の逮捕を区別している。

6 オースワルド・イン・カストディ

警察はテキサス劇場でリー・ハーヴェイ・オズワルドを逮捕した。委員会は後に彼を銃手と認定し、その死は暗殺の公判を妨げた。

出典 · H1: Warren, ch. 1; H3: ch. 4; P1: AL03

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 2 ↗

SD19 · ページ 3/10

キューバ：記録に残る秘密工作

1961-1962 : マングース湾とマングース作戦

1 中心部にある島

カストロのキューバはワシントンにとって大きな対立となった。秘密紛争の存在は文書化されており、特定の暗殺との関連は、別の証拠を必要とする。

2 1961年4月17日

CIAが支援するピッグス湾への亡命侵略は失敗した。ケネディは大統領の当初から軍事的・政治的敗北に直面していた。

3 圧力は継続します

モングース作戦は1961年に実施された。その目標は、協調した秘密作戦を通じてカストロ政権を弱体化させることであった。

4 デートCIAの記念品

ウィリアム・ハーヴェイが1962年7月24日にエドワード・ランスデールに宛てた覚書では、キューバ国内での機密抵抗を発展させるための情報収集と努力について記述されている。

5 認可が制限されていました

その覚書はフェーズ1の制限と承認も記録している。計画、認可された行動、完了した操作は、さまざまな種類の証拠です。

6 文書の確立について

CIAとFRUSは、反カストロ活動を確立した。ベターは、ケネディの殺害を組織したという主張を、自らは立証しない。

出典 · H4: State history; H5: FRUS 359; H6: CIA collection

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 3 ↗

SD19 · ページ 4/10

キューバ危機とグアンタナモ

1962年10月|核戦争と外交と基盤

1 写真は、ステークを変更します

1962年10月14日、U-2偵察機がキューバのソ連のミサイル施設を撮影した。危機は急速に拡大する核危機でケネディと直面した。

2 ワシントンの選択肢

政権は軍事的および外交的反応について議論した。ベターは後にこのエピソードをロックフェラー=ソビエトの秘密計画の敗北と解釈し、これは彼の主張である。

3 10月22日

ケネディはミサイル発見と海軍検疫を公表した。演説は、以前に秘密裏に対立したことを一般大衆に知らせた。

4 交渉された後退

入植地は、ソ連のミサイル撤去と、米国の非侵略保証、トルコにおける米国のジュピターミサイルに関する民間の理解を結合した。

5 外交は、主張されたプロットではありません

交渉は和解を説明できる。この危機から国を救うことがダラスの動機になったというベターの主張は確立していない。

6 ガンタモは、独自の歴史を持っています

海軍のリースは1903年に始まり、1934年の条約は協定を継続した。これらの記録は、暗殺と結びついて示されているのではなく、基地の歴史的文脈を説明している。

出典 · H7: Cuban Missile Crisis; H8-H9: treaties; P1, P3

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 4 ↗

SD19 · ページ 5/10

ベターが示した動機

AL03, AL21, AL22|著者の政治解釈

1 1975年8月21日

AL03では、ベターは動機とメソッドを分離する。彼はダラスの後12年近くを話すと、隠された権力構造の障害としてケネディを提示します。

2 比例した電力構造

ロックフェラーの利益を支配とみなし、CIAを彼らの楽器として描いている。委員会は彼の主張の言い伝えであり、文書化された会議ではない。

3 キューバとベトナム

彼の説明では、ケネディはキューバのミサイル計画に不満を持ち、ベトナムからの撤退を通じて別の議題を脅かした。これはベターの提案された動機であり、定評のある評決ではない。

4 影響から告白まで

ベターは、CIAが殺人を手配したと明示的に非難する。他所での秘密活動の証拠はダラスに名前を付けられた俳優を結びつける証拠の代わりにはならない。

5 1977年(昭和27年)にクレームが返還

AL21はCIAの告発を繰り返す。AL22はケネディが殺害された理由として、再びミサイル危機に対するケネディの反応をキャストした。反復は理論の連続性であり、独立な裏付けではない。

6 動機をテストする方法

もっともらしい苦情は殺人命令の証拠ではない。リンクが抜けていると、独立した確認可能な記録、証言、または実行動機につながる物理的な証拠が必要になる。

出典 · P1: AL03; P2: AL21; P3: AL22

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 5 ↗

SD19 · ページ 6/10

技術的仮説とその限界

AL03|建設詳細のない概念的説明

1 プライベートフィルムの解釈

ベターさんは、彼のアカウントは暗殺映画に関する機密分析に基づいていると言います。この文書は、独立してその主張を確立する分析レポートを認証していません。

2 提案された代替

音声書簡第3号でベターは暗殺の公式見解に異議を唱えた。彼の仮説には、独立した物的証拠がない。 [AL03]

3 集中された効果

図はベターの解釈を示したもので、彼が想定した装置の存在を立証する鑑定資料ではない。

4 未確認の技術的主張

録音で確かめられるのは、ベターがそう述べたという点である。主張を検証するには独立した記録や物的証拠が必要だ。

5 どうしても彼の話に関係するのか

ベターはコナリーを、その能力がないと証人を取り除く個別の標的として描写する。この動機は、委員会の弾道的説明と異なる。

6 画像が解凍できない

分離して解釈されるフレームは隠れたメカニズムを識別できない。このアカウントをテストするには、フィルム、医学的発見、車両検査、および物理的な証拠との整合性が必要です。

出典 · P1: AL03; H2: Warren, ch. 3; H10: HSCA

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 6 ↗

SD19 · ページ 7/10

ウォーレン委員会が調べたこと

1964年 証言・医学・弾道・発見

1 ダラス後の調査

ウォーレン委員会は証言と物理的な証拠をまとめた。その報告書は、オスワルドが発砲し、彼やルビーが関わった陰謀の証拠は見つからなかったと結論づけた。

2 証拠のチェーン

その事例にはライフル銃、弾薬箱、回収された弾薬、目撃証言、オスワルドの行動などが含まれていた。これらのカテゴリは、その前置詞の限界とともに一緒に調べる必要があります。

3 2つの傷、別の打撃

報告書はケネディの首から撃ち込まれた傷とは別に頭部の致命傷を治療した。弾丸1発で両軍の全ての負傷が起きたというわけではない。

4 単一bulletの問題

委員会は1発の弾丸が首の負傷とコナリーの負傷の可能性のある原因であると考えた。その説明は相対的な位置と医学的および弾道的証拠を使用した。

5 正解の回収

コナリーは最初の銃声が聞こえた後に殴られたと信じていた。報告書は、証言は他の証拠と並んで議論した。記憶と再構築は同一ではない。

6 Ruby: クロノロジーを復元

1963年11月24日、ルビーはオズワルドを殺害した。ルビー自身は1967年1月3日に3年後に亡くなった。AL03は間隔を圧縮します。日付は明示的なままでなければなりません。

出典 · H1-H3: Warren report; H13: Ruby chronology; P1

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 7 ↗

SD19 · ページ 8/10

下院暗殺調査特別委員会、音響分析、記録公開

1979-1998|異なる問いと使命

1 1979年に異なる結論

HSCAは、ケネディがおそらく陰謀の結果として殺害されたと結論づけたが、その一方で、オズワルドの致命的射殺に対する責任は保たれた。他を突き止めることができなかった。

2 録音の重量

音響分析がその結論の中心でした。HSCAはベターの形式的充電理論を支持せず、CIA、FBI、シークレット・サービスも関与していないと結論付けた。

3 1982年 再評価

全米研究評議会は、この記録を2人目の銃撃犯に対する信頼できる支援として拒否した。暗殺から1分後に、その銃撃が起きた。

4 ARRB は別の仕事を持っていた

1992年の法律は、リリースのためにレコードをレビューする委員会を創設した。1998年に活動終了。ARRBの最終報告書では、ケネディを殺害した人物について新たな判決は出ていない。

5 リリースされたファイルにはコンテキストが必要です

機密解除文書は、申し立て、評価、または操作を記録することができます。コンテンツを確立された事実として扱う前に、著者、日付、目的、および裏付けを読んでください。

6 批判は毛布確認ではありません

HSCAは調査上の失敗と情報共有を批判した。これらの批判は重要であるが、すべての代替理論を真にしたり、ベターの提案メカニズムを同定したりはしない。

出典 · H10: HSCA; H11: NRC 1982; H12: ARRB; H5-H6

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 8 ↗

SD19 · ページ 9/10

消えなかった大統領専用車

AL03クレームの具体的検証

1 ピーター・ベターの主張

AL03は、このリムジンは48時間以内に解体され、破壊されたと述べています。これは、隠された武器の証拠の除去として提示される。

2 博物館の記録

ヘンリー・フォードは、1964年にこの車が証拠として残され、再建されたと記録している。これは2日以内に車両が破壊されることと矛盾する。

3 変更された車

再建は装甲と永久屋根を追加しました。車両は大統領職に戻り、1977年まで使用された。

4 保存したが、修正

博物館は改造されたリムジンを保存。ダラスのインテリアのタイムカプセルではありません。生存と変化は両方とも認めなければなりません。

5 独自のスケールでステートメントをテストする

ある物体に関する矛盾はダラスに関する全ての疑問を解くものではない。これは、この特定の支持主張が事実として繰り返すことができないことを意味する。

6 読者のためのトレイルを残す

ベターの記述は研究に利用できるままです。一番強いのは、彼が言ったこと、記録が示すこと、そして2人がどこを分岐したかという、追跡可能なプレゼンテーションだ。

出典 · P1: AL03; H14: The Henry Ford; H1-H3; editorial method

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る · 9 ↗

SD19 · ページ 10/10

出来事と主張の年表

記録された出来事はベターの物語の日付と区別される。

日付・出来事と出典・意義または主張

1903年・1934年　グアンタナモに関する条約が租借の法的根拠となった。

1961年4月　キューバ亡命者によるピッグス湾侵攻が失敗した。

1961〜1962年　「マングース作戦」は、記録に残る反カストロ秘密工作だった。

1962年10月　キューバ危機の対立は外交交渉で収束した。

1963年11月22日　ダラスでケネディが暗殺された。コナリーは負傷したが、一命を取り留めた。

1963年11月24日　ルビーがオズワルドを殺害した。オズワルドが裁判にかけられることはなかった。

1964年　ウォーレン委員会はオズワルドの単独犯行と結論した。

1975年、1977年　ベターはAL03およびAL21〜22で自説を提起し、繰り返した。

1979年、1982年　米下院暗殺調査委員会（HSCA）は共謀の可能性が高いとした。後の音響分析で録音の証拠としての価値が疑問視された。

1992〜1998年　暗殺記録審査委員会（ARRB）は記録の公開を任務とした。

ストーリーを検証可能に保つ

実際の秘密操作は、別のものを自動的に証明しません。ベターのアカウントは、サポートされていない接続と特定の矛盾を特定しながら、忠実に保存できる。完全なレジスターは読者を漫画から文書に移すことができます。

出典・出典一覧と検証注は英語版PDFに収録。

図版はベターの語った内容を描いたものである。その主張を歴史的に確かめるには、独立した証拠が必要となる。

英語版の図版を見る・10 ↗